

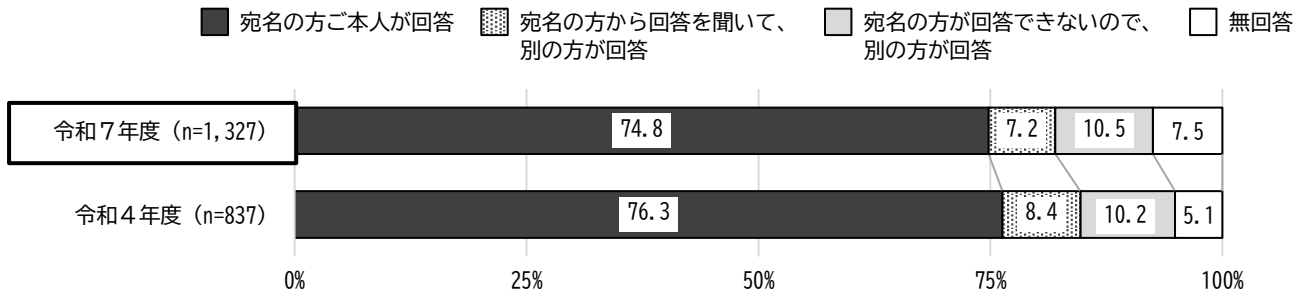
## A 障がい者調査



## 1. 回答者について

問1 この調査票に回答するのは誰ですか。宛名の方から見た関係でお答えください。  
(単一回答)

回答者について前回調査から概ねそれぞれの割合に変化はなく、「ご本人」が7割を超えています。



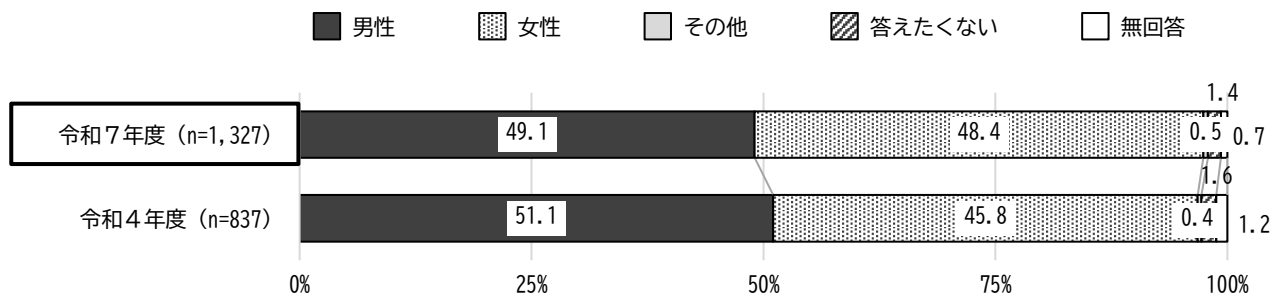
### ■ 年齢・手帳の種類 (単位：%)

		回答者数	宛名の方ご本人が回答	宛名の方から回答を聞いて、別の方が回答	宛名の方が回答できないので、別の方が回答
全体		1,327	74.8	7.2	10.5
性別	男性	651	69.0	10.8	13.8
	女性	642	81.0	3.9	7.5
年齢	20歳未満	24	33.3	25.0	37.5
	20代	179	69.3	8.9	19.6
	30代	226	70.8	9.3	16.8
	40代	253	79.1	5.1	10.7
	50代	435	79.1	5.3	4.4
	60代	196	77.0	8.2	5.6
手帳の種類	身体障がい	379	74.4	8.4	8.2
	知的障がい	258	29.5	19.8	43.8
	精神障がい	650	85.4	3.8	4.0
	難病	166	81.9	4.2	4.2

## 2. ご自身のことや生活について

問2 性別をご回答ください。(単一回答)

性別について前回調査から概ねそれぞれの割合に変化はなく、「男性」「女性」ともに約5割となっています。

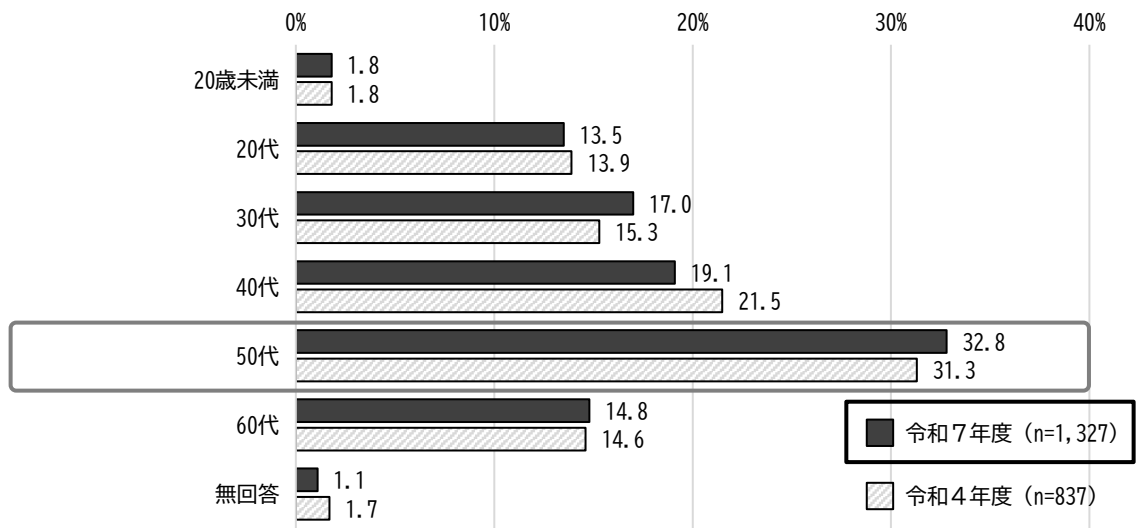


■ 年齢・手帳の種類 (単位：%)

		回答者数	男性	女性	答えたくない
全体		1,327	49.1	48.4	1.4
年齢	20歳未満	24	50.0	50.0	0.0
	20代	179	49.2	46.4	1.7
	30代	226	48.7	49.1	1.8
	40代	253	50.6	47.0	2.0
	50代	435	50.6	48.0	1.4
	60代	196	46.4	53.6	0.0
手帳の種類	身体障がい	379	53.0	45.6	0.3
	知的障がい	258	64.7	34.5	0.0
	精神障がい	650	43.8	52.3	2.5
	難病	166	46.4	51.8	0.6

問3 年齢をご回答ください。(9月1日現在、単一回答)

年齢について前回調査から概ねそれぞれの割合に変化はなく、前回調査同様「50代」が最も多く3割を超えています。



性別・手帳の種類

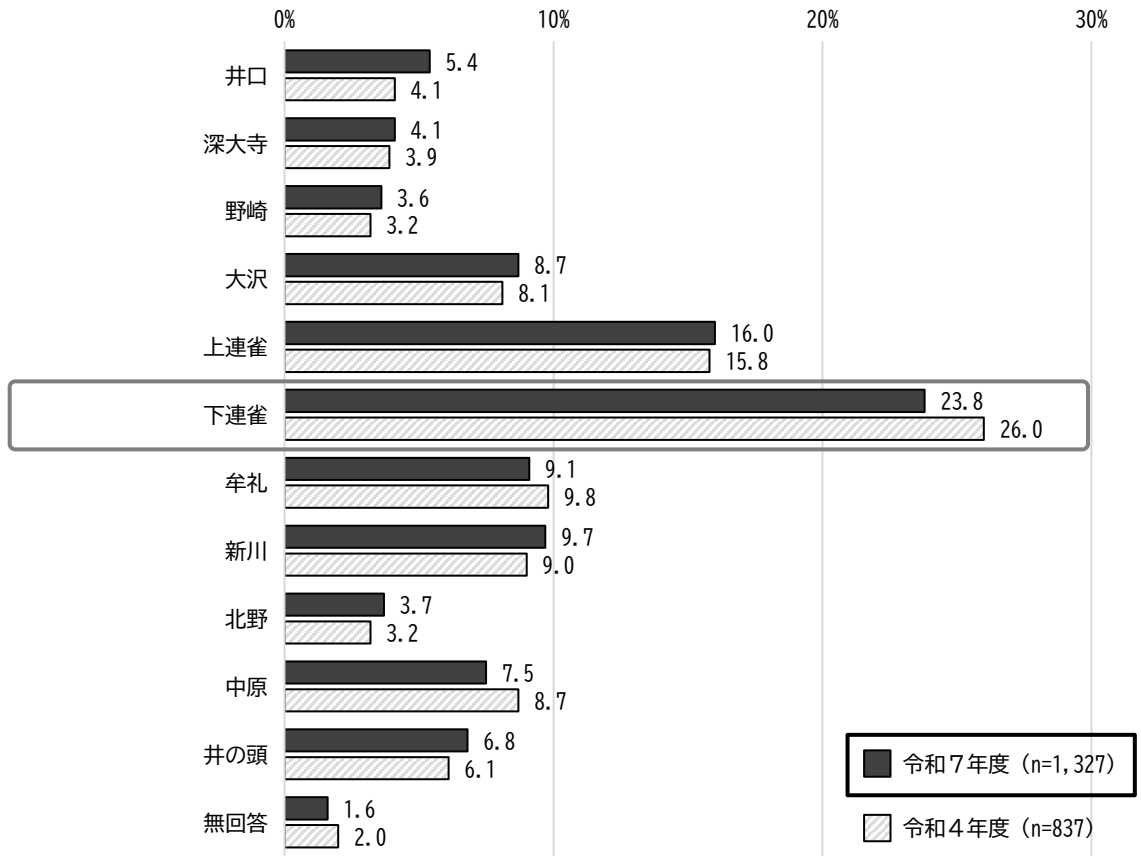
(単位：%)

		回答者数	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代
全体		1,327	1.8	13.5	17.0	19.1	32.8	14.8
性別	男性	651	1.8	13.5	16.9	19.7	33.8	14.0
	女性	642	1.9	12.9	17.3	18.5	32.6	16.4
手帳の種類	身体障がい	379	0.8	5.8	8.7	15.6	42.5	25.3
	知的障がい	258	7.4	28.3	25.6	19.0	15.9	3.9
	精神障がい	650	0.6	14.5	19.1	21.1	33.1	10.9
	難病	166	0.6	5.4	16.3	26.5	33.7	15.7

A 障がい者調査 2.ご自身のことや生活について

問4 住んでいる地域はどこですか。(単一回答)

住んでいる地域について前回調査から概ねそれぞれの割合に変化はなく、前回調査同様「下連雀」が最も多く2割を超えています。

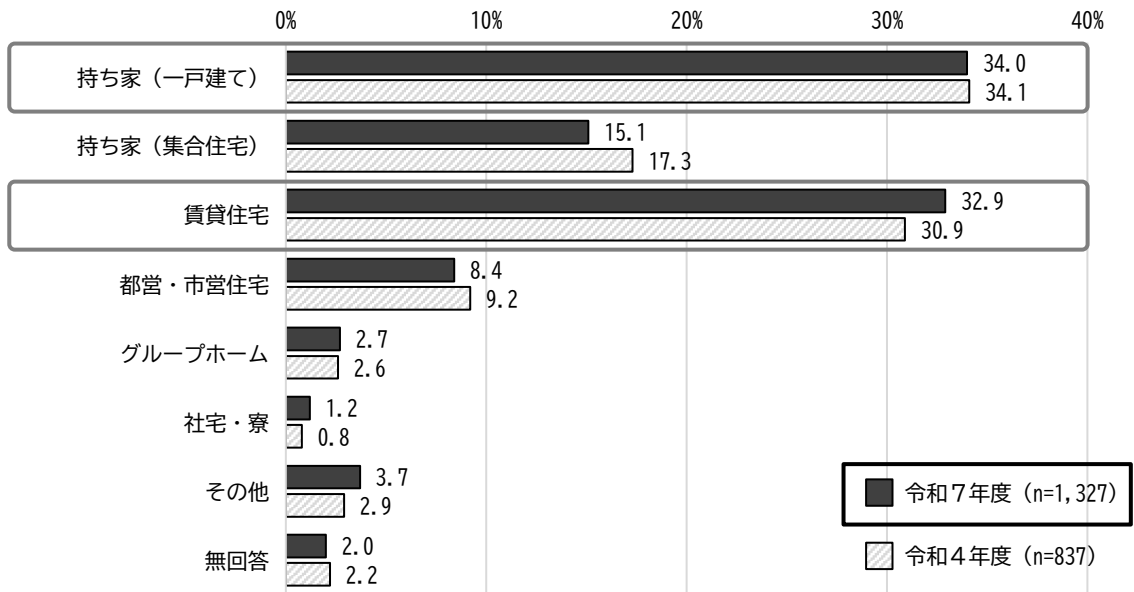


■ 性別・年齢・手帳の種類 (単位：%)

		回答者数	井口	深大寺	野崎	大沢	上連雀	下連雀	牟礼	新川	北野	中原	井の頭
全体		1,327	5.4	4.1	3.6	8.7	16.0	23.8	9.1	9.7	3.7	7.5	6.8
性別	男性	651	5.7	5.4	4.0	10.0	14.7	24.1	8.3	10.8	4.8	6.8	4.8
	女性	642	5.1	3.1	3.3	7.6	17.6	23.8	10.3	8.9	2.5	7.9	8.9
年齢	20歳未満	24	4.2	12.5	4.2	12.5	8.3	16.7	12.5	16.7	0.0	8.3	4.2
	20代	179	5.0	3.9	5.0	11.2	15.1	25.1	8.4	10.1	1.1	7.8	7.3
	30代	226	7.1	4.4	1.3	10.6	18.1	20.8	8.4	9.3	4.9	8.4	4.9
	40代	253	4.0	3.6	2.4	10.3	18.6	26.1	10.7	5.5	3.2	5.9	8.7
	50代	435	4.8	3.9	4.4	5.7	15.4	25.7	9.7	10.3	4.8	6.4	8.0
	60代	196	7.1	4.6	5.1	8.7	14.3	20.4	7.1	13.8	3.6	10.2	4.1
手帳の種類	身体障がい	379	3.7	4.0	2.9	7.7	16.4	22.7	9.8	11.1	5.3	7.9	6.6
	知的障がい	258	6.2	4.7	5.0	13.6	16.3	19.8	7.0	9.7	3.5	8.9	4.7
	精神障がい	650	6.2	4.0	3.2	8.3	16.5	24.2	8.8	9.2	3.1	6.5	8.5
	難病	166	3.6	2.4	3.0	7.2	15.1	25.9	15.1	11.4	3.0	6.0	6.0

問5 現在の住居はどれですか。(単一回答)

現在の住居について前回調査から概ねそれぞれの割合に変化はなく、「持ち家（一戸建て）」、「賃貸住宅」がともに3割を超えています。



■ 性別・年齢・手帳の種類

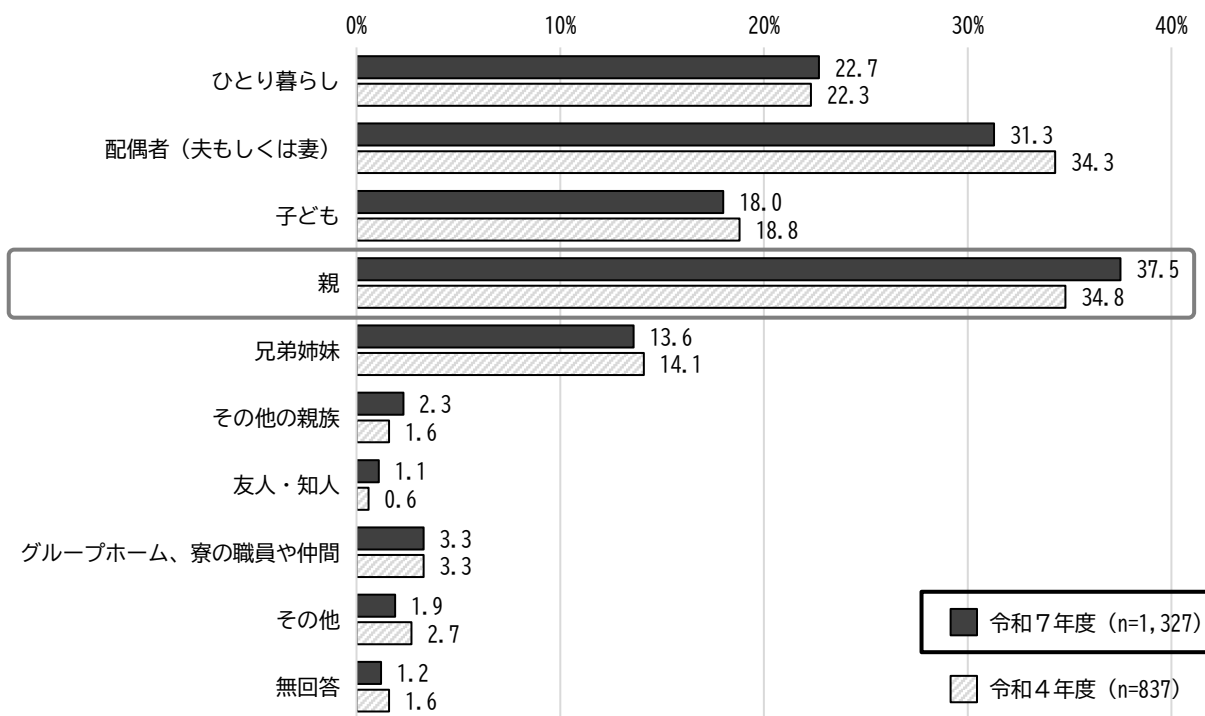
(単位：%)

		回答者数	持ち家（一戸建て）	持ち家（集合住宅）	賃貸住宅	都営・市営住宅	グループホーム	社宅・寮
全体		1,327	34.0	15.1	32.9	8.4	2.7	1.2
性別	男性	651	33.6	16.6	30.3	8.6	3.7	0.8
	女性	642	34.6	14.0	34.6	8.4	1.9	1.7
年齢	20歳未満	24	50.0	29.2	16.7	4.2	0.0	0.0
	20代	179	44.1	10.6	29.1	6.1	3.9	2.2
	30代	226	33.2	11.5	35.8	7.1	3.5	1.8
	40代	253	25.7	17.0	37.5	8.7	2.4	2.4
	50代	435	33.6	16.8	31.7	9.4	2.1	0.5
	60代	196	35.7	16.3	30.6	10.7	3.1	0.0
手帳の種類	身体障がい	379	34.3	15.6	31.9	8.4	1.8	1.6
	知的障がい	258	38.8	14.3	17.8	10.1	10.1	0.0
	精神障がい	650	32.3	13.1	38.5	8.5	1.8	1.4
	難病	166	34.3	21.1	33.1	6.6	1.2	0.6

A 障がい者調査 2. ご自身のことや生活について

問6 一緒に暮らしているのは誰ですか。(複数回答)

一緒に暮らしている人について前回調査から概ねそれぞれの割合に変化はなく、前回調査同様「親」が最も多く約4割となっています。



■ 性別・年齢・手帳の種類

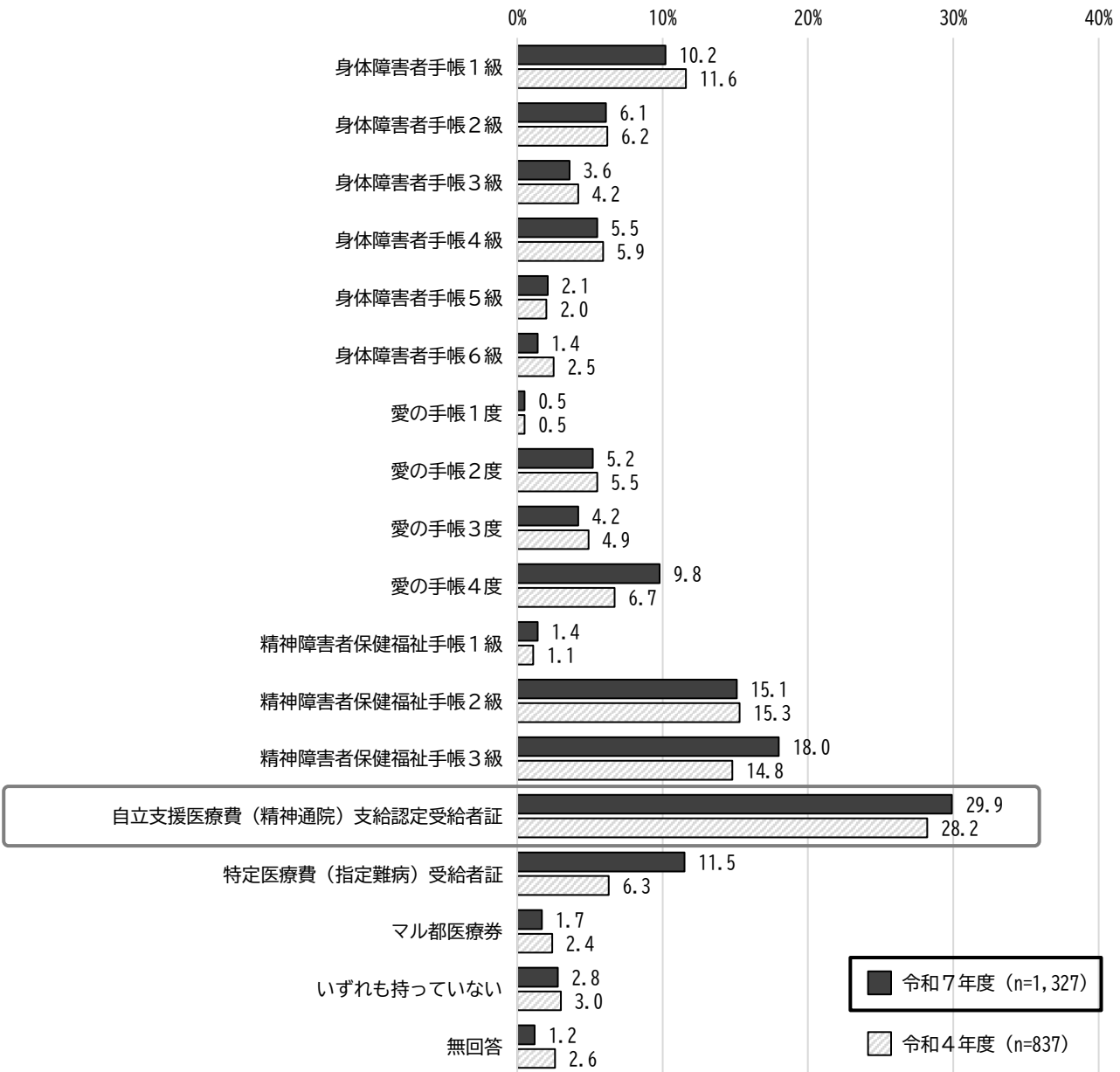
(単位：%)

		回答者数	ひとり暮らし	配偶者 (夫もしくは妻)	子ども	親	兄弟姉妹	その他の親族	友人・知人	グループホーム、寮の職員や仲間
全体		1,327	22.7	31.3	18.0	37.5	13.6	2.3	1.1	3.3
性別	男性	651	24.1	26.3	14.9	42.2	16.0	1.7	0.9	4.3
	女性	642	20.4	37.4	21.3	33.0	11.1	3.1	1.1	2.5
年齢	20歳未満	24	0.0	0.0	0.0	91.7	50.0	8.3	0.0	0.0
	20代	179	11.2	7.3	2.2	72.6	35.8	6.1	2.8	4.5
	30代	226	14.6	25.7	15.9	50.0	14.2	1.3	0.9	5.8
	40代	253	24.5	34.4	22.1	33.2	8.3	1.6	0.8	2.8
	50代	435	26.7	39.1	23.0	27.8	8.7	1.6	1.1	2.3
	60代	196	34.2	43.4	20.4	12.2	6.1	2.0	0.0	3.1
手帳の種類	身体障がい	379	21.1	43.3	23.2	28.2	11.1	2.4	1.6	2.6
	知的障がい	258	5.8	2.7	1.6	76.0	29.5	3.1	0.0	13.2
	精神障がい	650	30.9	27.4	14.3	34.6	11.7	2.0	1.2	1.8
	難病	166	15.7	53.6	39.2	25.9	4.8	1.8	0.6	1.2

### 3. 障がいの状況について

問7 お持ちの手帳等は、どれですか。(複数回答)

所持している手帳について前回調査から概ねそれぞれの割合に変化はなく、前回調査同様「自立支援医療費（精神通院）支給認定受給者証」が最も多く約3割となっています。



A 障がい者調査 3. 障がいの状況について

■ 性別・年齢・手帳の種類

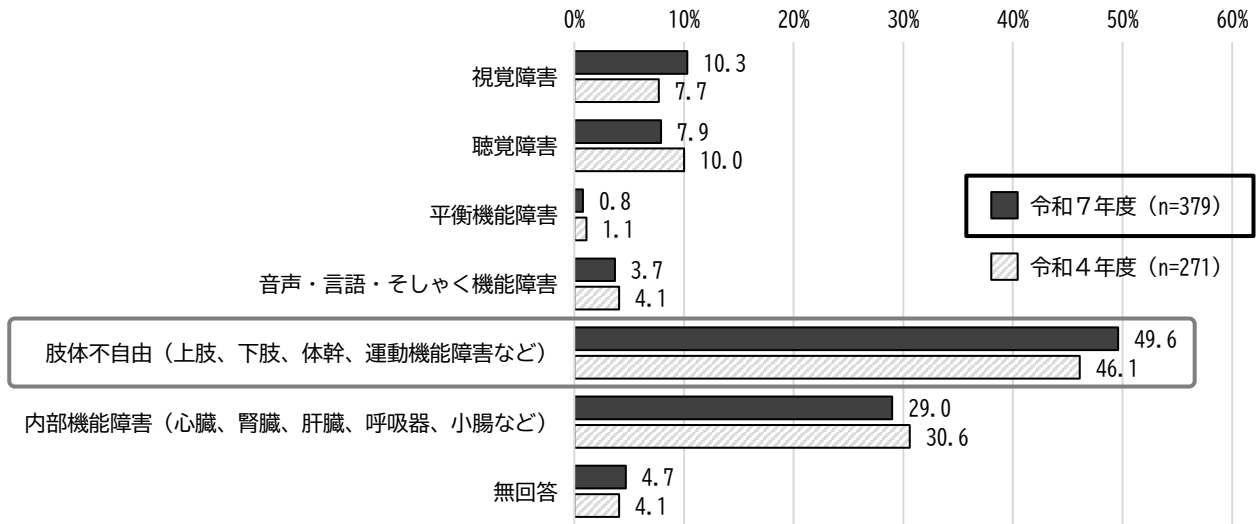
(単位：%)

		回答者数	身体障害者手帳1級	身体障害者手帳2級	身体障害者手帳3級	身体障害者手帳4級	身体障害者手帳5級	身体障害者手帳6級	愛の手帳1度	愛の手帳2度	愛の手帳3度	愛の手帳4度	精神障害者保健福祉手帳1級	精神障害者保健福祉手帳2級	精神障害者保健福祉手帳3級	自立支援医療費(精神通院)支給認定受給者証	特定医療費(指定難病)受給者証	マル都医療券	いずれも持っていない
全体		1,327	10.2	6.1	3.6	5.5	2.1	1.4	0.5	5.2	4.2	9.8	1.4	15.1	18.0	29.9	11.5	1.7	2.8
性別	男性	651	10.3	7.2	4.1	5.8	1.8	1.5	0.3	7.4	5.7	12.3	1.2	12.9	15.4	27.6	10.3	1.7	3.1
	女性	642	10.6	5.0	3.3	5.3	2.3	1.2	0.6	3.3	3.0	7.5	1.7	16.5	19.8	32.2	12.9	1.6	2.6
年齢	20歳未満	24	8.3	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	16.7	12.5	45.8	0.0	4.2	4.2	16.7	4.2	0.0	4.2
	20代	179	3.9	1.1	1.1	2.8	1.7	1.7	0.6	10.6	6.1	23.5	1.1	12.8	20.1	35.8	5.0	0.0	2.8
	30代	226	5.8	2.2	3.1	2.2	0.9	0.4	0.9	9.7	8.0	10.6	1.8	12.8	25.7	34.1	10.6	1.8	2.2
	40代	253	7.1	5.9	4.0	4.3	0.4	1.6	0.0	5.5	4.3	9.5	1.2	16.6	23.7	32.4	16.6	1.2	3.6
	50代	435	14.3	8.5	4.6	6.7	2.8	1.4	0.2	1.8	2.8	5.3	1.1	18.2	13.6	29.7	11.3	2.5	2.5
	60代	196	16.8	9.7	4.6	11.2	4.6	2.0	0.5	1.0	0.5	3.1	2.6	12.2	11.2	19.4	12.8	1.5	3.1
手帳の種類	身体障がい	379	35.9	21.4	12.7	19.3	7.4	4.7	1.1	3.7	1.6	2.6	0.3	4.2	2.9	5.8	9.8	4.2	1.3
	知的障がい	258	4.7	2.3	2.3	3.1	0.8	0.8	2.3	26.7	21.7	50.4	2.3	6.2	5.0	9.3	3.1	1.6	1.9
	精神障がい	650	1.1	1.8	0.9	1.8	0.6	0.5	0.3	0.9	0.9	5.2	2.9	30.8	36.8	61.1	2.5	0.3	0.6
	難病	166	9.0	7.8	6.0	4.2	3.0	0.6	0.6	3.0	1.8	3.0	0.6	4.8	1.8	7.8	92.2	13.3	0.6

※身体障害者手帳をお持ちの方にお聞きします。

問7-1 手帳に記載されている障がいは何ですか。(複数回答)

身体障害者手帳を所持している方の障がいについて前回調査から概ねそれぞれの割合に変化はなく、前回調査同様「肢体不自由(上肢、下肢、体幹、運動機能障害など)」が最も多く約5割となっています。



■ 性別・年齢・手帳の種類

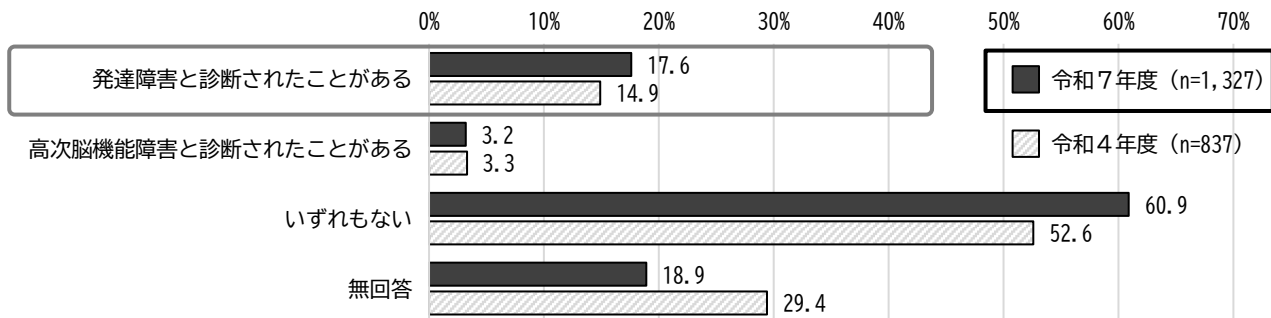
(単位：%)

		回答者数	視覚障害	聴覚障害	平衡機能障害	音声・言語・そしゃく機能障害	肢体不自由(上肢、下肢、体幹、運動機能障害など)	内部機能障害(心臓、腎臓、肝臓、呼吸器、小腸など)
全体		379	10.3	7.9	0.8	3.7	49.6	29.0
性別	男性	201	10.4	6.5	1.0	4.0	43.8	32.8
	女性	173	9.8	9.8	0.6	3.5	57.2	24.3
年齢	20歳未満	3	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0
	20代	22	22.7	13.6	0.0	0.0	50.0	18.2
	30代	33	6.1	6.1	0.0	0.0	42.4	45.5
	40代	59	6.8	6.8	0.0	3.4	50.8	23.7
	50代	161	13.0	9.3	1.9	4.3	47.8	30.4
	60代	96	6.3	5.2	0.0	5.2	54.2	27.1
手帳の種類	身体障がい	379	10.3	7.9	0.8	3.7	49.6	29.0
	知的障がい	31	9.7	19.4	3.2	9.7	54.8	19.4
	精神障がい	39	7.7	7.7	2.6	7.7	61.5	17.9
	難病	46	17.4	10.9	2.2	4.3	37.0	41.3

## A 障がい者調査 3. 障がいの状況について

### 問8 発達障害、高次脳機能障害と診断されたことはありますか。(複数回答)

発達障害や高次脳機能障害と診断されたことがある人について前回調査から概ねそれぞれの割合に変化はなく、「発達障害」が約2割となっています。



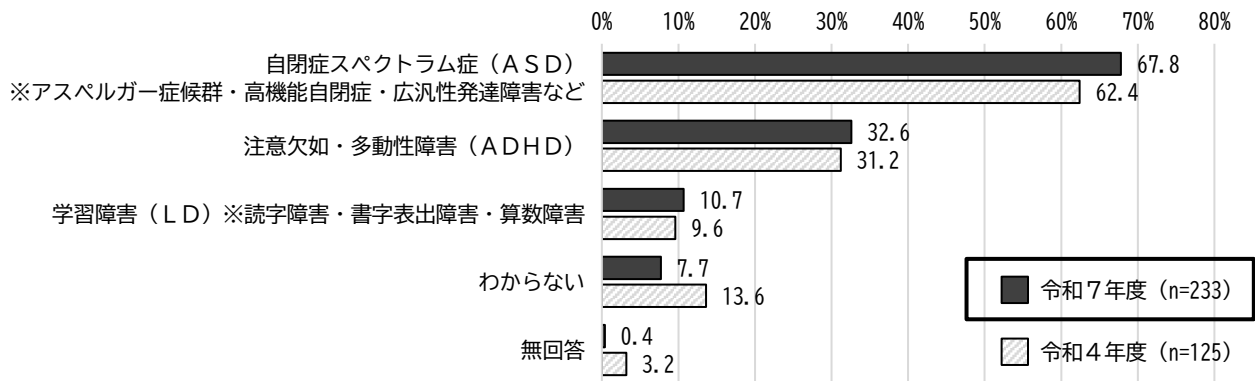
#### ■ 性別・年齢・手帳の種類 (単位：%)

		回答者数	発達障害と診断されたことがある	高次脳機能障害と診断されたことがある	いずれもない
全体		1,327	17.6	3.2	60.9
性別	男性	651	21.5	3.7	57.1
	女性	642	13.6	2.8	65.4
年齢	20歳未満	24	54.2	0.0	41.7
	20代	179	43.6	1.7	46.4
	30代	226	30.5	1.8	52.7
	40代	253	14.6	4.0	62.1
	50代	435	7.1	3.7	67.4
	60代	196	2.0	4.1	72.4
手帳の種類	身体障がい	379	4.2	7.4	69.1
	知的障がい	258	39.9	1.2	32.6
	精神障がい	650	22.2	3.2	59.4
	難病	166	3.6	3.6	81.9

※「発達障害と診断されたことがある」と回答した方にお聞きします。

問8-1 診断されたのはどれですか。(複数回答)

発達障害と診断されたことがある人の診断名について前回調査から概ねそれぞれの割合に変化はなく、「自閉症スペクトラム症」が約7割、「注意欠如・多動性障害」が3割を超え、「学習障害」が約1割となっています。



■ 性別・年齢・手帳の種類 (単位：%)

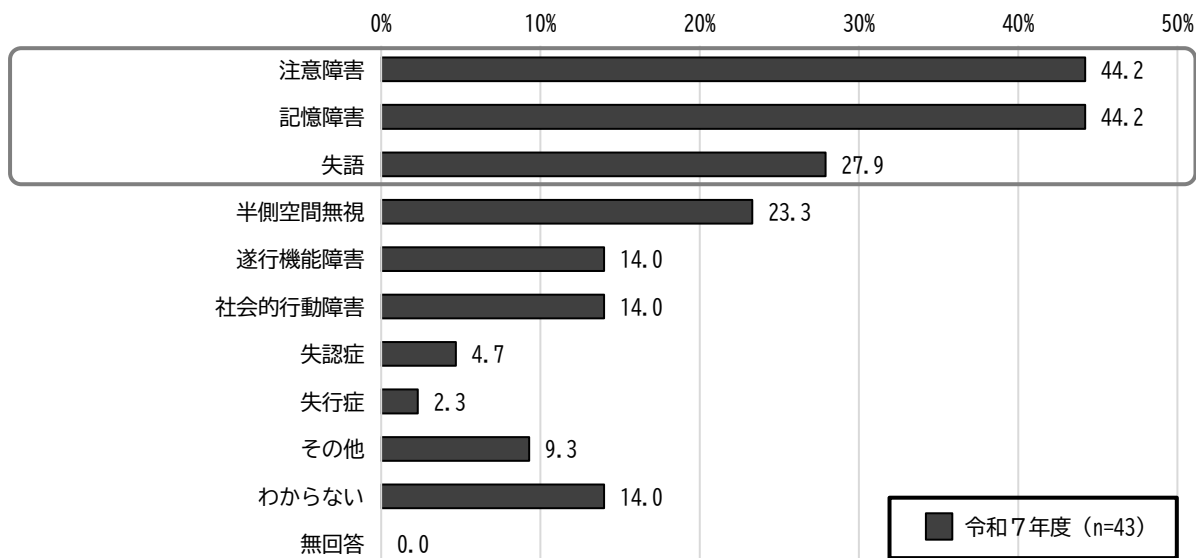
		回答者数	自閉症スペクトラム症 (ASD)	注意欠如・多動性障害 (ADHD)	学習障害 (LD)	わからない
全体		233	67.8	32.6	10.7	7.7
性別	男性	140	75.7	20.7	8.6	6.4
	女性	87	56.3	50.6	12.6	10.3
年齢	20歳未満	13	69.2	30.8	23.1	0.0
	20代	78	74.4	26.9	10.3	5.1
	30代	69	72.5	34.8	5.8	4.3
	40代	37	59.5	32.4	13.5	13.5
	50代	31	51.6	45.2	16.1	12.9
	60代	4	50.0	25.0	0.0	50.0
手帳の種類	身体障がい	16	68.8	6.3	25.0	31.3
	知的障がい	103	76.7	13.6	12.6	7.8
	精神障がい	144	64.6	45.8	7.6	6.3
	難病	6	100.0	16.7	50.0	16.7

## A 障がい者調査 3. 障がいの状況について

※「高次脳機能障害と診断されたことがある」と回答した方にお聞きします。

問8-2 診断された症状はどれですか。(複数回答)

高次脳機能障害と診断されたことがある人の診断名について、「注意障害」「記憶障害」がともに4割を超え、「失語」が約3割となっています。



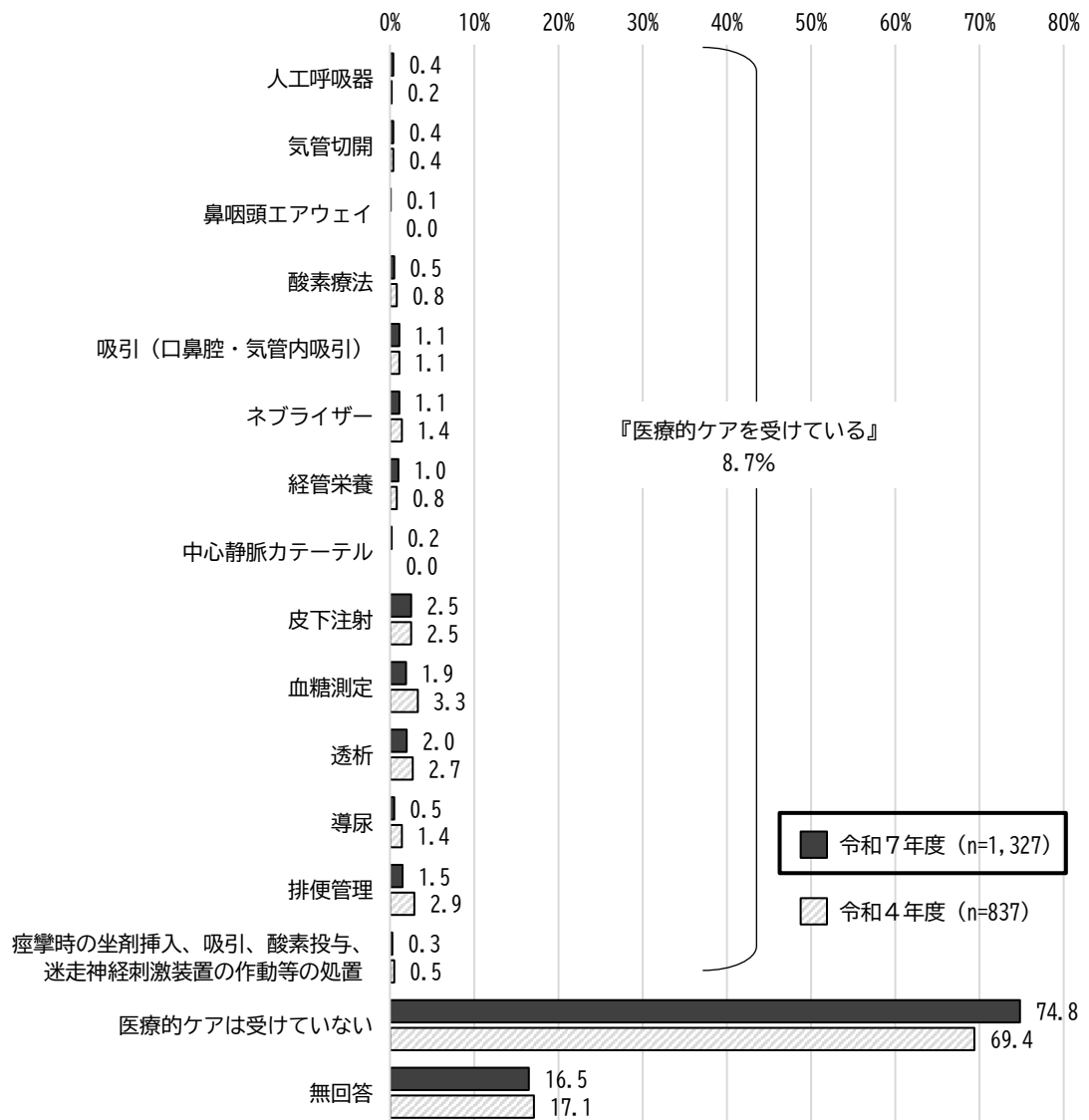
### ■ 性別・年齢・手帳の種類

(単位：%)

		回答者数	注意障害	記憶障害	失語	半側空間無視	遂行機能障害	社会的行動障害	失認症	失行症	わからない
全体		42	44.2	44.2	27.9	23.3	14.0	14.0	4.7	2.3	14.0
性別	男性	24	54.2	45.8	20.8	29.2	16.7	16.7	0.0	0.0	12.5
	女性	18	27.8	44.4	38.9	16.7	11.1	11.1	11.1	5.6	16.7
年齢	20歳未満	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20代	3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7
	30代	4	50.0	25.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0
	40代	10	40.0	60.0	30.0	10.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	50代	16	43.8	43.8	43.8	31.3	6.3	18.8	6.3	6.3	12.5
60代	8	37.5	37.5	25.0	50.0	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	
手帳の種類	身体障がい	28	46.4	39.3	35.7	32.1	17.9	14.3	3.6	3.6	10.7
	知的障がい	3	66.7	100.0	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0
	精神障がい	21	47.6	52.4	23.8	19.0	14.3	14.3	9.5	4.8	19.0
	難病	6	100.0	16.7	33.3	33.3	50.0	16.7	16.7	16.7	0.0

問9 現在、次の医療的ケアを受けていますか。(複数回答)

医療的ケアを受けている人について前回調査からほとんど変化はなく、約1割となっています。



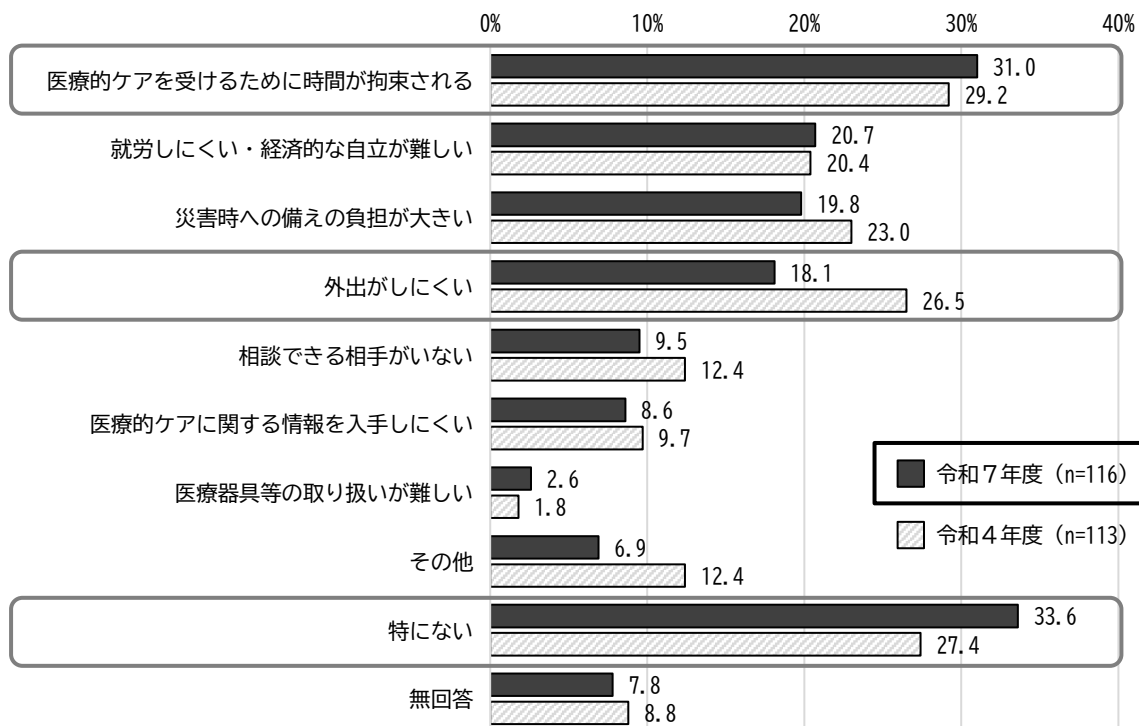
『医療的ケアを受けている』 = 100.0 - 「医療的ケアは受けていない」 - 「無回答」

## A 障がい者調査 3. 障がいの状況について

※医療的ケアを受けている方にお聞きします。

問9-1 医療的ケアを受けていることで、困っていることは何ですか。(複数回答)

医療的ケアを受けていることで、困っていることについて、「医療的ケアを受けるために時間が拘束される」が最も多く約3割となっています。また、「外出しにくい」が前回調査より減少し約2割となり、「特にない」が増加し3割を超えています。



■ 性別・年齢・手帳の種類

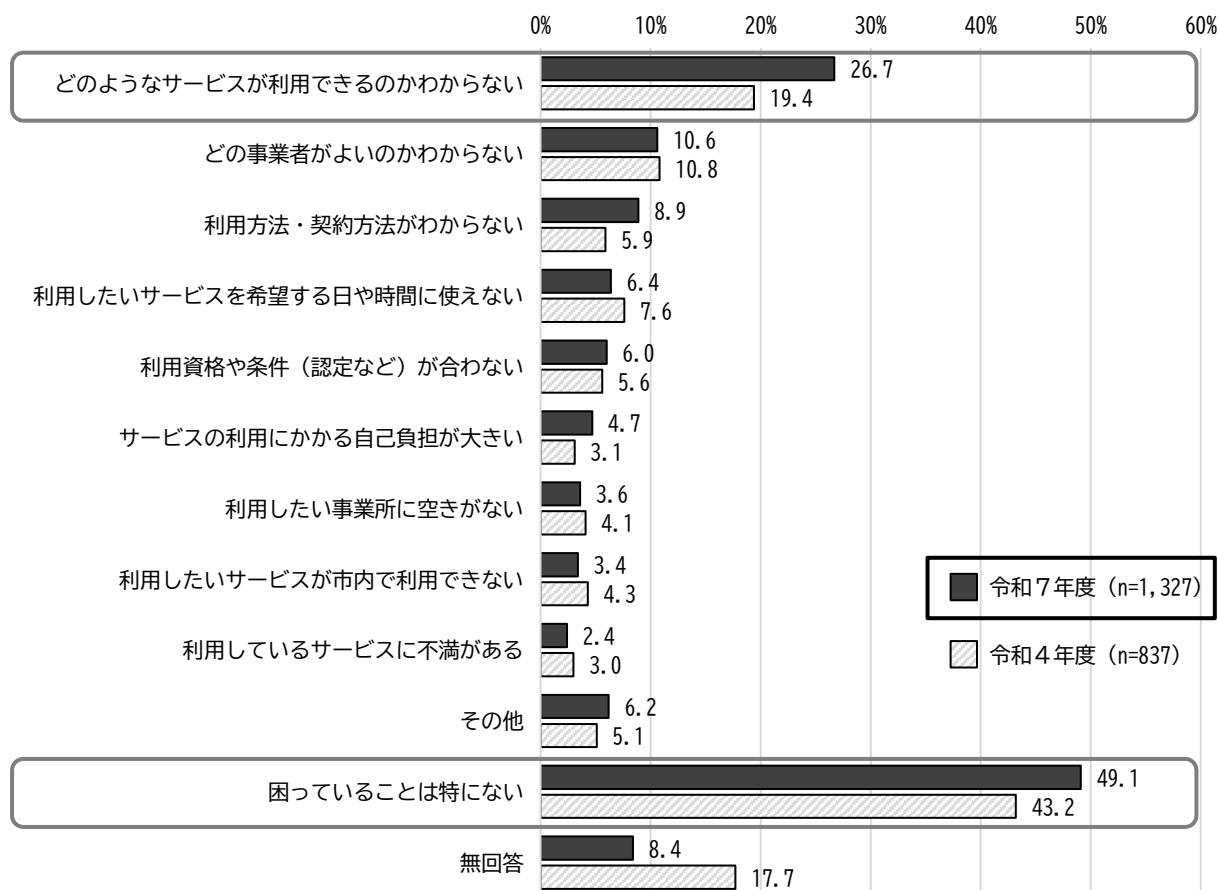
(単位：%)

		回答者数	医療的ケアを受けるために時間が拘束される	就労しにくい・経済的な自立が難しい	災害時への備えの負担が大きい	外出がしにくい	相談できる相手がいない	医療的ケアに関する情報を入手しにくい	医療器具等の取り扱いが難しい	特にない
全体		116	31.0	20.7	19.8	18.1	9.5	8.6	2.6	33.6
性別	男性	65	27.7	21.5	12.3	12.3	12.3	9.2	0.0	35.4
	女性	50	34.0	18.0	30.0	26.0	6.0	8.0	6.0	32.0
年齢	20歳未満	2	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20代	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	30代	12	8.3	16.7	33.3	8.3	8.3	16.7	0.0	50.0
	40代	22	36.4	22.7	22.7	18.2	18.2	9.1	0.0	18.2
	50代	50	32.0	20.0	14.0	20.0	6.0	8.0	4.0	42.0
	60代	27	33.3	18.5	22.2	22.2	11.1	7.4	3.7	25.9
手帳の種類	身体障がい	61	44.3	23.0	27.9	23.0	13.1	9.8	4.9	21.3
	知的障がい	14	21.4	21.4	35.7	7.1	21.4	28.6	7.1	35.7
	精神障がい	35	20.0	28.6	11.4	22.9	8.6	8.6	5.7	42.9
	難病	30	46.7	23.3	40.0	20.0	13.3	13.3	6.7	30.0

## 4. 障がい福祉サービスの利用について

問10 あなたが障がい福祉サービスを利用するにあたって、困っていることは何ですか。  
(複数回答)

障がい福祉サービスを利用するにあたって、困っていることについて、「困っていることは特にない」が前回調査より増加し約5割となっています。また、「どのようなサービスが利用できるかわからない」が3割弱となっており、他の手帳所持者と比べて「精神障がい」手帳保持者で多くなっています。



A 障がい者調査 4. 障がい福祉サービスの利用について

■ 性別・年齢・手帳の種類

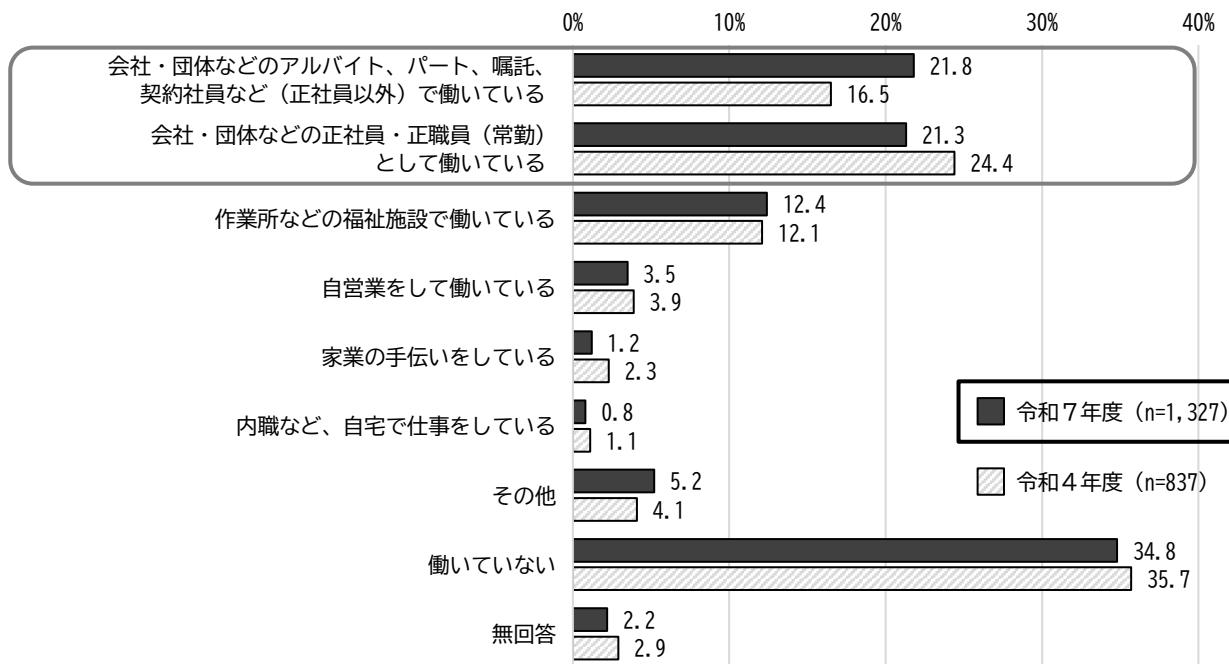
(単位：%)

		回答者数	どのようなサービスが利用できるのかわからない	どの事業者がよいのかわからない	利用方法・契約方法がわからない	利用したいサービスを希望する日や時間に使えない	利用資格や条件(認定など)が合わない	サービスの利用にかかる自己負担が大きい	利用したい事業所に空きがない	利用したいサービスが市内で利用できない	利用しているサービスに不満がある	困っていることは特にならない
全体		1,327	26.7	10.6	8.9	6.4	6.0	4.7	3.6	3.4	2.4	49.1
性別	男性	651	23.8	11.2	9.8	6.9	5.1	3.8	4.5	3.7	2.8	51.0
	女性	642	29.1	9.7	7.6	6.1	7.0	5.3	3.0	3.3	2.0	47.8
年齢	20歳未満	24	25.0	33.3	8.3	12.5	8.3	0.0	12.5	8.3	0.0	45.8
	20代	179	20.7	10.6	6.7	5.0	3.9	3.4	3.4	3.4	2.8	56.4
	30代	226	28.8	13.7	9.3	11.1	7.5	8.0	7.1	6.6	1.8	45.6
	40代	253	28.9	10.3	9.1	5.9	4.7	4.0	2.8	2.8	2.0	45.5
	50代	435	28.5	8.3	9.7	5.3	6.4	4.1	2.8	2.3	3.2	49.2
	60代	196	24.0	9.2	8.2	4.6	6.1	4.6	2.0	2.6	1.5	52.6
手帳の種類	身体障がい	379	27.2	7.7	7.7	6.9	5.3	3.7	2.6	2.6	1.3	50.9
	知的障がい	258	20.5	18.6	8.9	15.1	4.7	5.0	10.5	7.8	5.0	41.1
	精神障がい	650	30.8	12.2	11.2	4.6	7.8	5.8	3.1	3.7	3.1	46.5
	難病	166	21.7	2.4	5.4	3.6	4.2	3.0	1.2	2.4	0.6	59.0

## 5. 就労について

問11 あなたは現在、どのような仕事をしていますか。(複数回答)

「アルバイト、パート、嘱託、契約社員などで働いている」人が前回調査より増加し約2割となる一方、「会社・団体などの正社員・正職員として働いている」人が前回調査より減少し、同じく約2割となっています。



## ■ 性別・年齢・手帳の種類

(単位：%)

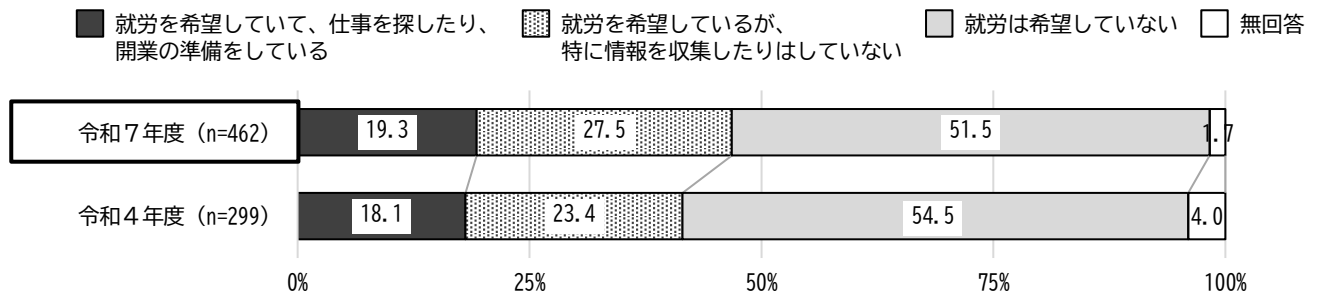
		回答者数	会社・団体などのアルバイト、パート、嘱託、契約社員など（正社員以外）で働いている	会社・団体などの正社員・正職員（常勤）として働いている	作業所などの福祉施設で働いている	自営業をして働いている	家業の手伝いをしている	内職など、自宅で仕事をしている	働いていない
全 体		1,327	21.8	21.3	12.4	3.5	1.2	0.8	34.8
性別	男性	651	17.8	27.5	17.2	3.4	0.9	0.8	28.7
	女性	642	26.0	15.0	7.5	3.4	1.6	0.9	41.6
年齢	20歳未満	24	25.0	8.3	25.0	0.0	0.0	0.0	33.3
	20代	179	29.6	20.7	18.4	2.2	1.1	0.0	25.1
	30代	226	21.7	24.3	17.7	1.3	1.3	1.3	29.2
	40代	253	24.1	26.1	14.6	2.4	1.2	1.2	27.3
	50代	435	19.8	21.1	7.8	5.5	1.4	0.9	39.3
	60代	196	15.8	14.3	6.6	4.1	1.0	0.5	52.0
手帳の種類	身体障がい	379	19.0	23.5	4.5	4.5	1.6	1.3	42.5
	知的障がい	258	20.9	11.6	39.1	0.4	1.2	0.8	24.0
	精神障がい	650	22.8	16.8	11.4	4.0	1.4	1.1	39.1
	難病	166	22.9	40.4	5.4	6.0	2.4	1.2	20.5

## A 障がい者調査 5. 就労について

※「働いていない」と回答した方にお聞きします。

問11-1 あなたは仕事に就くことを希望していますか。(単一回答)

働いていない人の今後の就労移行について前回調査から概ねそれぞれの割合に変化はなく、「就労を希望していて、仕事を探したり、開業の準備をしている」人が約2割となっています。また、他の年代と比べて「20歳未満」「20代」で多くなっています。



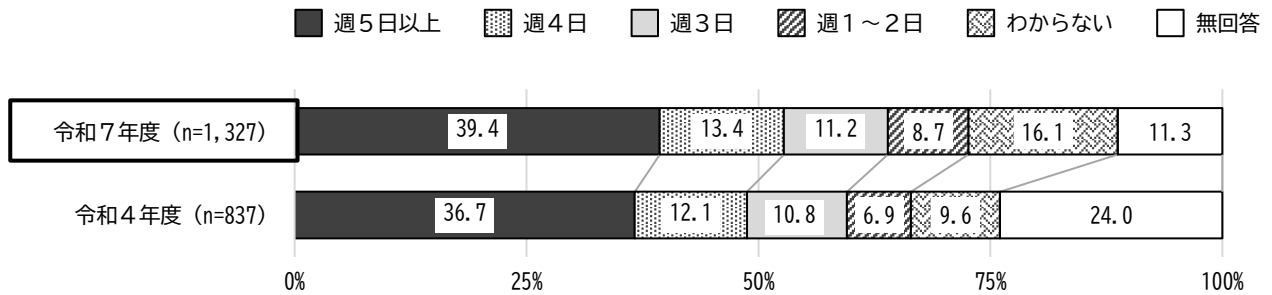
### ■ 性別・年齢・手帳の種類 (単位：%)

		回答者数	就労を希望しているが、特に情報を収集したりはしていない	就労を希望しているが、特に情報を収集したりはしていない	就労は希望していない
全体		462	19.3	27.5	51.5
性別	男性	187	25.1	23.0	50.8
	女性	267	15.0	30.0	52.8
年齢	20歳未満	8	50.0	12.5	37.5
	20代	45	40.0	26.7	31.1
	30代	66	24.2	33.3	40.9
	40代	69	27.5	21.7	50.7
	50代	171	13.5	26.9	57.9
	60代	102	7.8	30.4	58.8
手帳の種類	身体障がい	161	13.0	19.9	65.2
	知的障がい	62	12.9	16.1	66.1
	精神障がい	254	23.6	32.3	42.9
	難病	34	17.6	29.4	52.9

問12 あなたはどれくらいの頻度・時間で働きたいですか。①頻度、②1日の勤務時間それぞれあてはまるものを選んでください。(単一回答)

① 頻度

働く頻度について前回調査から概ねそれぞれの割合に変化はなく、「週5日以上」を希望する人が約4割となっています。また、他の年代と比べて「20歳未満」「20代」で多くなっています。



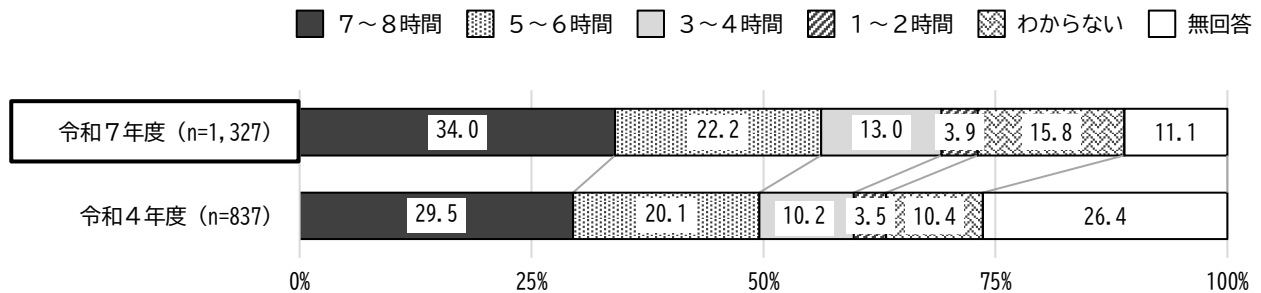
■ 性別・年齢・手帳の種類 (単位：%)

		回答者数	週5日以上	週4日	週3日	週1~2日	わからない
全体		1,327	39.4	13.4	11.2	8.7	16.1
性別	男性	651	49.9	12.7	9.1	4.8	14.6
	女性	642	28.8	14.2	12.6	12.6	18.1
年齢	20歳未満	24	70.8	8.3	0.0	0.0	20.8
	20代	179	55.9	14.0	10.6	6.7	7.8
	30代	226	44.7	19.5	9.3	5.3	12.8
	40代	253	40.7	12.3	12.6	10.7	13.4
	50代	435	34.0	13.1	11.5	8.7	21.4
	60代	196	24.5	9.2	11.7	13.3	19.4
手帳の種類	身体障がい	379	36.4	11.3	9.5	7.4	18.7
	知的障がい	258	54.3	9.7	3.9	3.5	14.7
	精神障がい	650	32.6	14.9	15.4	11.4	16.8
	難病	166	45.2	14.5	10.2	10.2	10.2

## A 障がい者調査 5. 就労について

### ② 1日の勤務時間

1日の勤務時間について「7～8時間」を希望する人が前回調査より増加し3割を超えており、他の手帳所持者と比べて「難病」手帳保持者で多くなっています。



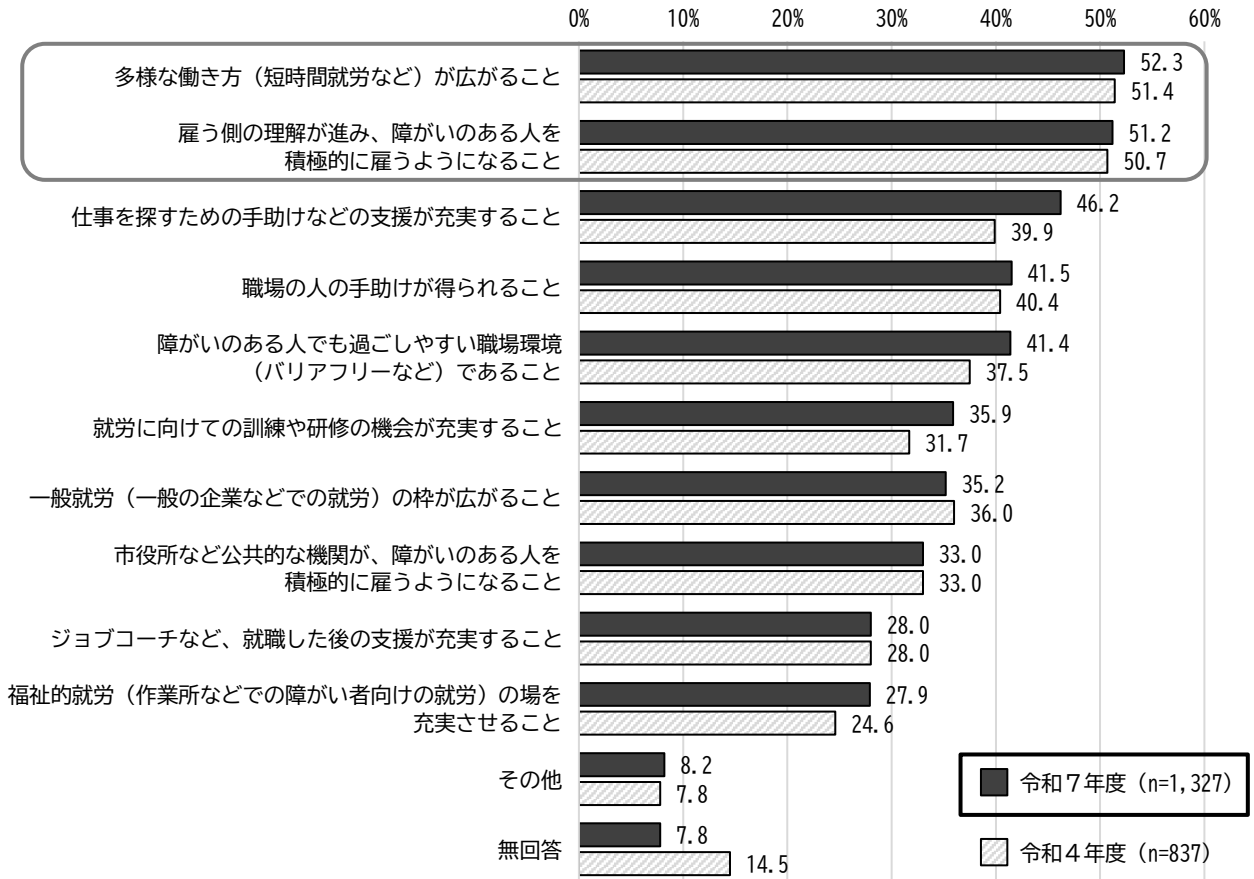
### ■ 性別・年齢・手帳の種類

(単位：%)

		回答者数	7～8時間	5～6時間	3～4時間	1～2時間	わからない
全体		1,327	34.0	22.2	13.0	3.9	15.8
性別	男性	651	41.9	21.0	10.3	3.1	15.1
	女性	642	26.2	23.1	15.7	4.4	17.1
年齢	20歳未満	24	29.2	45.8	4.2	0.0	20.8
	20代	179	41.3	32.4	7.8	4.5	8.4
	30代	226	36.7	27.9	13.3	2.2	11.9
	40代	253	39.1	19.0	14.2	4.0	13.8
	50代	435	32.2	17.5	15.2	3.4	20.7
	60代	196	21.9	18.4	12.2	6.6	19.4
手帳の種類	身体障がい	379	35.6	15.6	11.9	1.8	18.7
	知的障がい	258	26.4	32.9	9.7	3.5	13.2
	精神障がい	650	30.8	22.9	15.2	5.8	16.6
	難病	166	46.4	19.9	10.8	3.0	10.2

問13 あなたは障がいのある人が働くためには、どのようなことが必要だと思いますか。  
(複数回答)

障がいのある人が働くために、「多様な働き方（短時間就労など）が広がること」「雇う側の理解が進み、障がいのある人を積極的に雇うようになること」が必要であると思う人が、前回調査からほとんど変化はなく約5割となっています。また、他の年代と比べて「30代」で多くなっています。



A 障がい者調査 5. 就労について

■ 性別・年齢・手帳の種類

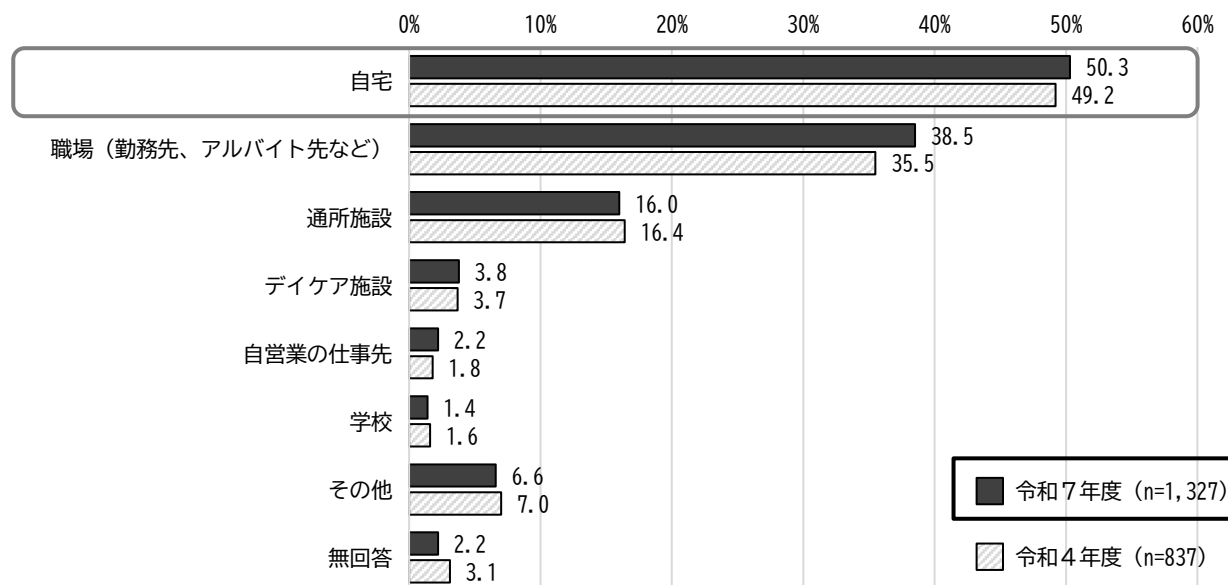
(単位：%)

		回答者数	多様な働き方(短時間就労など)が広がること	雇う側の理解が進み、障がいのある人を積極的に雇うようになること	仕事を探するための手助けなどの支援が充実すること	職場の人の手助けが得られること	障がいのある人でも過(こ)しやすい職場環境(バリアフリーなど)であること	就労に向けての訓練や研修の機会が充実すること	一般就労(一般の企業などでの就労)の枠が広がること	市役所など公的な機関が、障がいのある人を積極的に雇うようになること	ジョブコーチなど、就職した後の支援が充実すること	福祉的就労(作業所などでの障がい者向けの就労)の場を充実させること
全体		1,327	52.3	51.2	46.2	41.5	41.4	35.9	35.2	33.0	28.0	27.9
性別	男性	651	47.3	49.0	47.2	39.5	37.9	36.9	35.9	32.7	26.3	28.3
	女性	642	56.7	53.9	45.3	44.1	45.2	35.5	34.6	33.2	29.6	27.6
年齢	20歳未満	24	41.7	50.0	45.8	50.0	33.3	58.3	29.2	25.0	41.7	54.2
	20代	179	53.6	54.7	51.4	47.5	43.6	43.6	30.7	28.5	35.2	31.8
	30代	226	60.2	59.7	49.6	42.9	44.7	37.6	39.4	31.4	33.2	29.2
	40代	253	50.6	52.2	45.1	41.1	38.7	34.4	35.6	34.0	27.3	27.3
	50代	435	49.9	46.7	44.4	42.8	39.8	35.2	37.0	36.3	24.8	24.1
	60代	196	50.5	49.0	43.4	32.7	43.9	29.1	30.1	31.1	21.4	29.1
手帳の種類	身体障がい	379	47.0	50.7	41.2	36.7	45.4	28.8	34.3	33.0	21.9	23.0
	知的障がい	258	35.7	41.5	41.1	46.1	41.5	34.1	26.4	29.5	32.2	40.7
	精神障がい	650	60.9	57.7	52.3	45.5	40.9	41.1	40.9	36.9	32.9	29.4
	難病	166	54.8	50.6	41.0	31.9	38.6	31.9	36.1	33.1	22.3	19.9

## 6. 日中の過ごし方（社会活動など）について

問14 平日の日中はどこにいたることが多いですか。（複数回答）

平日の日中にいる場所について前回調査から概ねそれぞれの割合に変化はなく、「自宅」が約5割となっており、他の手帳保持者と比べて「精神障がい」手帳保持者で多くなっています。



### 性別・年齢・手帳の種類

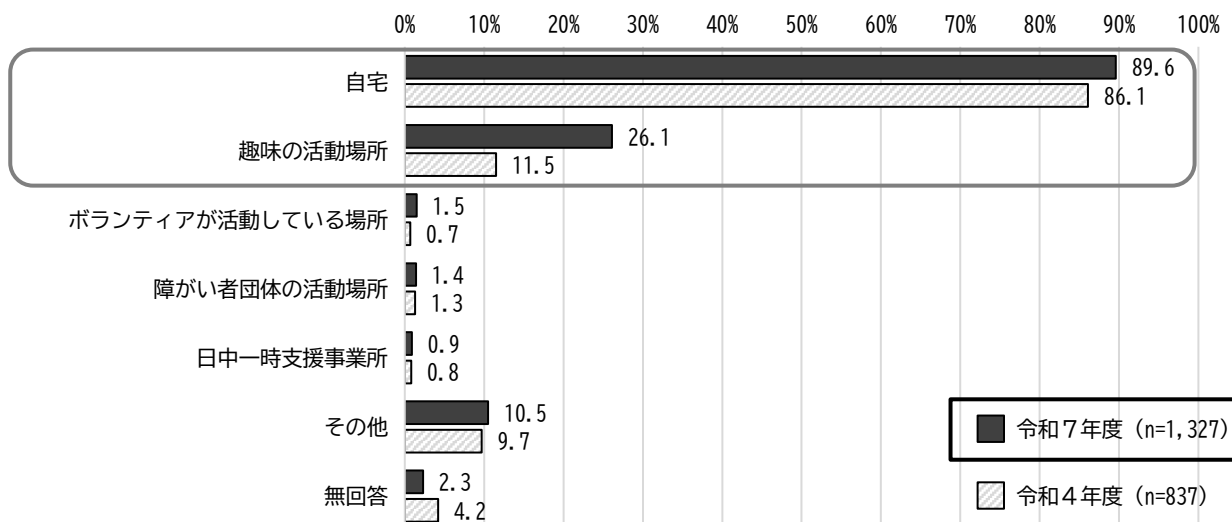
（単位：％）

		回答者数	自宅	職場（勤務先、アルバイト先など）	通所施設	デイケア施設	自営業の仕事先	学校
全体		1,327	50.3	38.5	16.0	3.8	2.2	1.4
性別	男性	651	42.4	42.2	20.3	3.8	2.5	0.9
	女性	642	58.6	34.7	11.8	4.0	2.0	2.0
年齢	20歳未満	24	12.5	33.3	25.0	8.3	0.0	25.0
	20代	179	34.1	50.8	22.9	2.2	0.6	6.1
	30代	226	44.7	40.3	25.2	0.9	1.3	0.4
	40代	253	45.8	41.1	17.0	2.4	2.4	0.0
	50代	435	59.8	35.4	9.4	3.9	3.7	0.2
	60代	196	62.8	29.1	11.7	10.2	1.5	0.0
手帳の種類	身体障がい	379	53.3	37.2	10.0	4.2	2.4	1.3
	知的障がい	258	20.9	32.2	50.0	3.1	0.8	2.3
	精神障がい	650	60.9	34.9	12.8	4.6	2.6	1.2
	難病	166	49.4	53.0	6.6	1.2	3.6	1.8

## A 障がい者調査 6. 日中の過ごし方(社会活動など)について

### 問15 休日はどこで過ごしていますか。(複数回答)

休日を過ごす場所について「自宅」が前回調査より微増し約9割となっています。また、「趣味の活動場所」が前回調査より大幅に増加し2割を超えており、他の年代と比べて「20代」で多くなっています。



「その他」・・・公園、施設、など

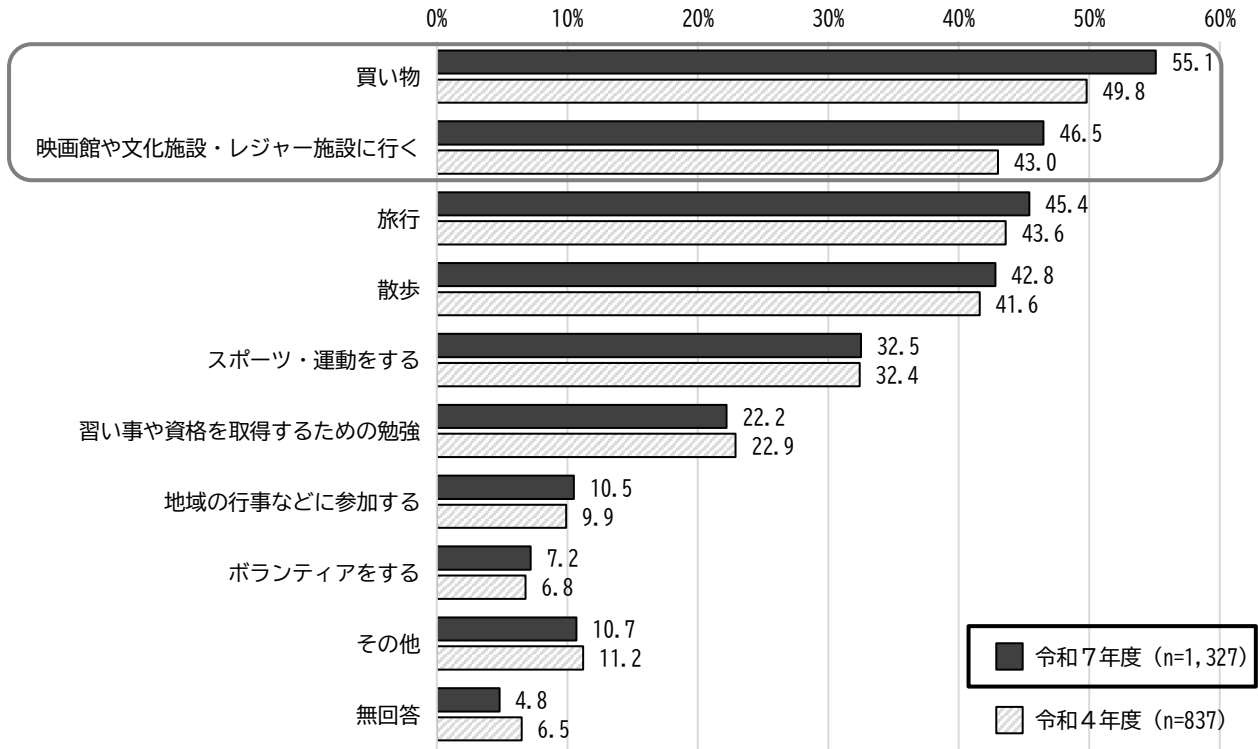
#### ■ 性別・年齢・手帳の種類

(単位：%)

		回答者数	自宅	趣味の活動場所	ボランティアが活動している場所	障がい者団体の活動場所	日中一時支援事業所
全体		1,327	89.6	26.1	1.5	1.4	0.9
性別	男性	651	89.7	28.4	0.9	1.5	1.2
	女性	642	89.7	23.7	2.0	1.4	0.6
年齢	20歳未満	24	87.5	29.2	0.0	4.2	8.3
	20代	179	89.4	<b>38.0</b>	1.7	2.2	0.6
	30代	226	90.3	29.2	0.9	0.9	1.8
	40代	253	88.1	25.3	1.6	1.6	1.2
	50代	435	92.0	23.9	1.1	1.4	0.2
	60代	196	87.8	16.8	2.6	1.0	0.5
手帳の種類	身体障がい	379	88.7	24.5	1.8	1.3	0.3
	知的障がい	258	84.9	25.2	1.9	5.4	3.9
	精神障がい	650	91.5	25.2	1.4	1.2	0.5
	難病	166	86.7	34.9	1.2	0.6	1.2

問16 余暇活動としてしたいことは何ですか。(複数回答)

余暇活動としてしたいことについて「買い物」が前回調査より増加し5割を超えています。また、「映画館や文化施設・レジャー施設に行く」も前回調査より増加し5割弱となっており、他の年代と比べて「20代」で多くなっています。



「その他」・・・自宅でゆっくり過ごす、図書館に行く、ゲーム、など

■ 性別・年齢・手帳の種類

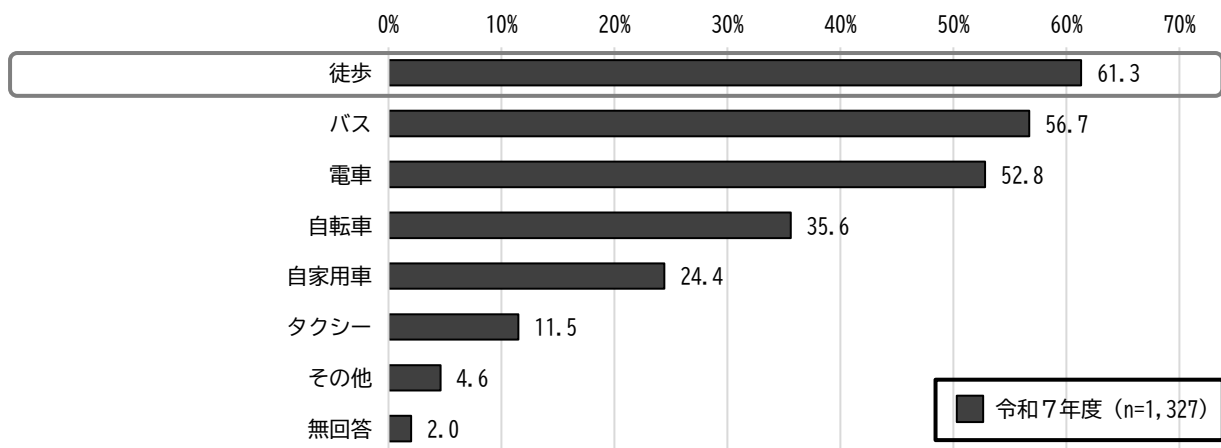
(単位：%)

		回答者数	買い物	映画館や文化施設・レジャー施設に行く	旅行	散歩	スポーツ・運動をする	習い事や資格を取得するための勉強	地域の行事などに参加する	ボランティアをする
全体		1,327	55.1	46.5	45.4	42.8	32.5	22.2	10.5	7.2
性別	男性	651	51.3	43.0	40.9	43.0	37.0	15.1	10.9	4.6
	女性	642	59.3	49.5	50.5	43.1	27.9	29.3	10.3	9.7
年齢	20歳未満	24	58.3	50.0	33.3	37.5	37.5	12.5	12.5	0.0
	20代	179	55.9	59.8	52.5	37.4	38.0	22.9	13.4	8.9
	30代	226	58.4	53.1	46.5	41.6	32.3	23.0	8.4	4.9
	40代	253	60.5	51.0	43.5	45.5	32.8	22.5	10.3	6.3
	50代	435	52.2	37.9	43.2	45.7	30.3	24.4	11.5	8.3
	60代	196	50.5	40.3	46.4	40.8	31.6	16.8	8.7	7.1
手帳の種類	身体障がい	379	54.6	44.6	48.8	42.2	27.4	19.5	8.7	7.4
	知的障がい	258	54.7	51.9	39.1	43.0	32.2	8.1	15.5	1.9
	精神障がい	650	54.6	45.8	41.1	44.9	33.4	26.3	12.0	10.3
	難病	166	57.8	53.0	60.2	43.4	39.2	24.7	8.4	1.8

## A 障がい者調査 6. 日中の過ごし方(社会活動など)について

問17 日常生活圏での主な移動手段は何ですか。(複数回答)

主な移動手段について「徒歩」が約6割となっており、他の年代と比べて「20代」で多くなっています。



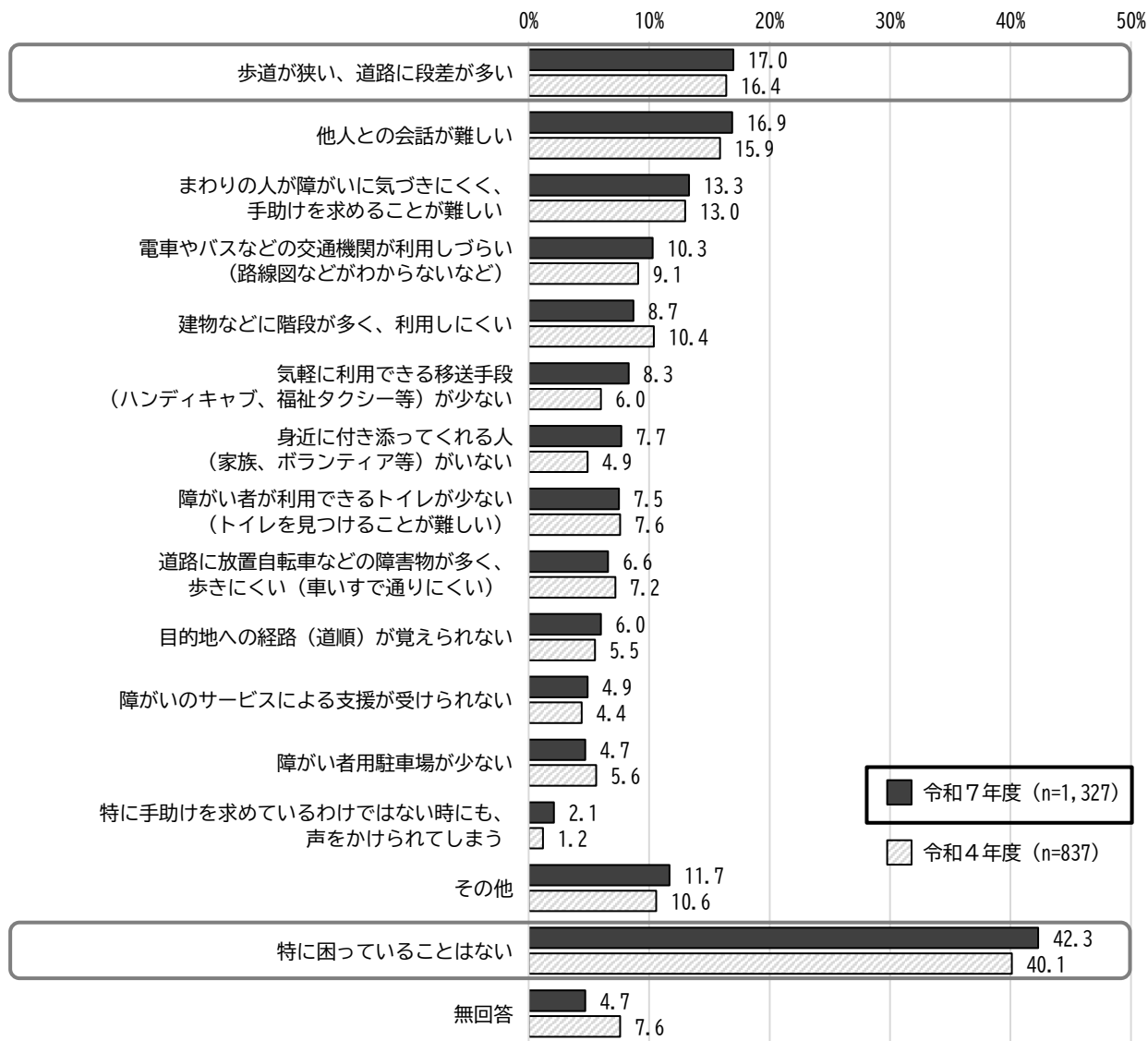
### 性別・年齢・手帳の種類

(単位：%)

		回答者数	徒歩	バス	電車	自転車	自家用車	タクシー
全体		1,327	61.3	56.7	52.8	35.6	24.4	11.5
性別	男性	651	61.9	57.0	53.3	37.3	26.6	8.8
	女性	642	60.9	56.4	51.9	33.8	22.7	14.8
年齢	20歳未満	24	50.0	66.7	62.5	29.2	29.2	0.0
	20代	179	<b>73.2</b>	60.3	72.1	30.2	25.1	3.4
	30代	226	67.3	56.2	57.5	34.1	23.9	6.2
	40代	253	63.2	56.1	49.8	41.5	19.0	10.3
	50代	435	59.1	56.1	48.7	37.7	26.0	16.8
	60代	196	50.0	55.1	41.8	31.6	28.1	16.8
手帳の種類	身体障がい	379	49.9	53.6	50.7	22.2	35.9	24.0
	知的障がい	258	62.4	63.6	46.1	24.8	30.6	8.9
	精神障がい	650	68.6	57.7	55.1	41.8	14.0	8.6
	難病	166	63.3	56.0	54.8	41.0	35.5	10.2

問18 外出時などに困っていることは何ですか。(複数回答)

外出時などに困っていることについて前回調査から概ねそれぞれの割合に変化はなく、「特に困っていることはない」が約4割となる一方、「歩道が狭い、道路に段差が多い」が2割弱となっており、他の手帳所持者と比べて「身体障がい」手帳保持者で多くなっています。



A 障がい者調査 6. 日中の過ごし方(社会活動など)について

■ 性別・年齢・手帳の種類

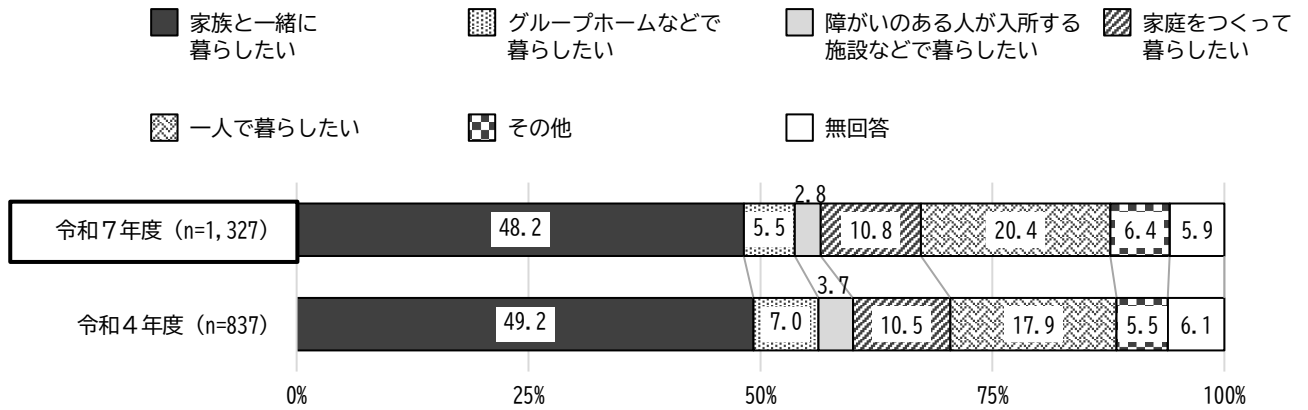
(単位：%)

		回答者数	歩道が狭い、道路に段差が多い	他人との会話が難しい	まわりの人が障がいに気づきにくく、手助けを求めることが難しい	電車やバスなどの交通機関が利用しづらい(路線図などがわからないなど)	建物などに階段が多く、利用しにくい	気軽に利用できる移送手段(ハンディキャブ、福祉タクシー等)が少ない	身近に付き添ってくれる人(家族、ボランティア等)が少ない	障がい者が利用できるトイレが少ない(トイレを見つけることが難しい)	道路に放置自転車などの障害物が多く、歩きにくい(車いすで通りにくい)	目的地への経路(道順)が覚えられない	障がいのサービスによる支援が受けられない	障がい者用駐車場が少ない	特に手助けを求めているわけではない時にも、声をかけられてしまう	特に困っていることはない
全体		1,327	17.0	16.9	13.3	10.3	8.7	8.3	7.7	7.5	6.6	6.0	4.9	4.7	2.1	42.3
性別	男性	651	14.9	18.9	12.7	9.1	7.1	6.6	6.1	7.2	6.6	4.1	4.8	5.1	2.0	45.6
	女性	642	18.8	14.3	13.4	11.7	10.1	10.0	8.7	7.6	6.7	7.8	5.0	4.5	2.2	39.1
年齢	20歳未満	24	12.5	33.3	12.5	12.5	12.5	4.2	0.0	8.3	8.3	20.8	12.5	8.3	8.3	29.2
	20代	179	10.6	27.4	19.6	10.6	6.1	6.7	6.1	6.7	3.9	8.9	3.4	3.9	1.7	44.1
	30代	226	16.8	24.8	14.6	11.9	6.2	11.5	8.0	6.2	5.8	6.2	6.6	3.1	0.9	41.2
	40代	253	12.3	14.2	13.8	8.3	4.7	7.1	7.5	6.3	6.3	4.7	4.0	2.4	1.2	47.4
	50代	435	19.8	12.0	13.1	10.8	10.8	7.1	8.0	7.6	6.7	5.7	4.1	5.5	2.1	40.7
	60代	196	23.0	10.2	5.6	9.2	12.8	10.2	8.7	10.7	10.2	2.6	5.6	7.7	3.6	40.8
手帳の種類	身体障がい	379	30.6	12.9	10.3	9.8	21.9	11.3	7.1	14.2	14.8	2.9	5.5	12.4	3.4	32.2
	知的障がい	258	14.0	42.2	20.5	16.7	6.6	11.2	8.1	10.1	5.8	13.2	7.8	5.4	1.9	29.1
	精神障がい	650	12.9	15.5	15.8	11.1	5.2	7.2	9.4	5.7	4.3	6.6	4.9	2.3	2.3	45.5
	難病	166	16.9	6.0	12.0	9.0	9.6	6.0	4.8	9.0	6.6	1.8	3.6	3.6	0.6	56.0

## 7. 将来の希望などについて

問19 今後、どのような暮らしをしたいですか。(単一回答)

今後、希望する暮らしについて前回調査から概ねそれぞれの割合に変化はなく、「家族と一緒に暮らしたい」が約5割となっており、他の年代と比べて「60代」で多くなっています。



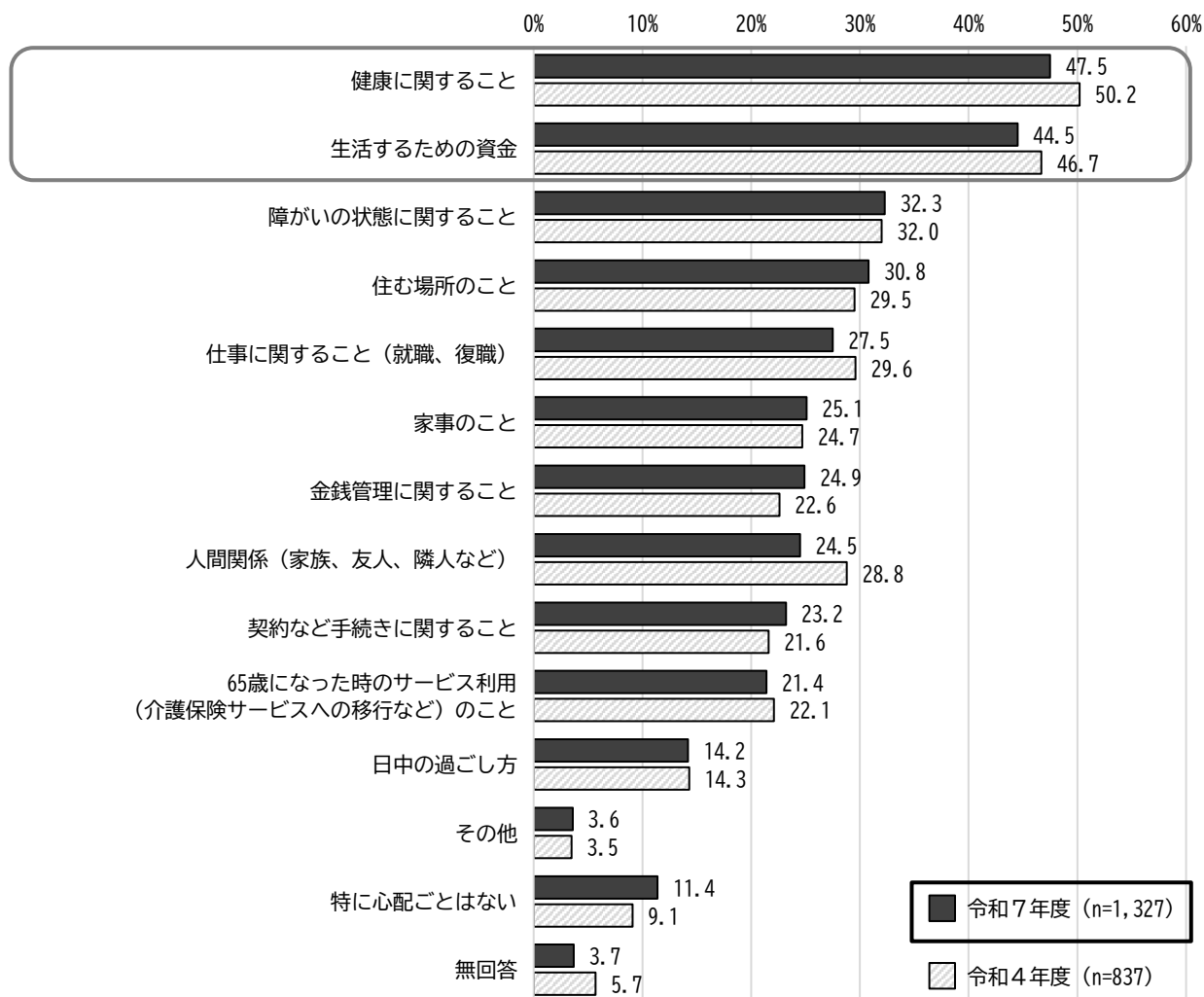
### 性別・年齢・手帳の種類

(単位：%)

		回答者数	家族と一緒に暮らしたい	グループホームなどで暮らしたい	障がいのある人が入所する施設などで暮らしたい	家庭をつくって暮らしたい	一人で暮らしたい
全体		1,327	48.2	5.5	2.8	10.8	20.4
性別	男性	651	44.9	7.4	3.1	10.6	23.0
	女性	642	53.4	3.4	2.6	10.7	17.0
年齢	20歳未満	24	37.5	16.7	4.2	12.5	20.8
	20代	179	32.4	10.6	1.1	23.5	23.5
	30代	226	44.2	9.7	5.8	13.7	17.3
	40代	253	54.2	3.6	2.8	8.3	17.0
	50代	435	51.0	2.1	2.1	9.0	21.8
	60代	196	<b>56.1</b>	4.1	2.6	3.1	23.0
手帳の種類	身体障がい	379	54.4	3.4	3.2	7.7	19.0
	知的障がい	258	34.9	22.1	9.7	7.4	12.0
	精神障がい	650	44.3	2.8	1.5	14.2	24.9
	難病	166	63.3	3.6	2.4	9.6	12.7

問20 問19のような暮らしをする上で心配なことは何ですか。(複数回答)

今後、希望する暮らしをする上で心配事について前回調査から概ねそれぞれの割合に変化はなく、「健康に関すること」が約5割となっています。また、「生活するための資金」が4割を超えており、他の手帳保持者と比べて「精神障がい」手帳保持者で多くなっています。



A 障がい者調査 7. 将来の希望などについて

■ 性別・年齢・手帳の種類

(単位：%)

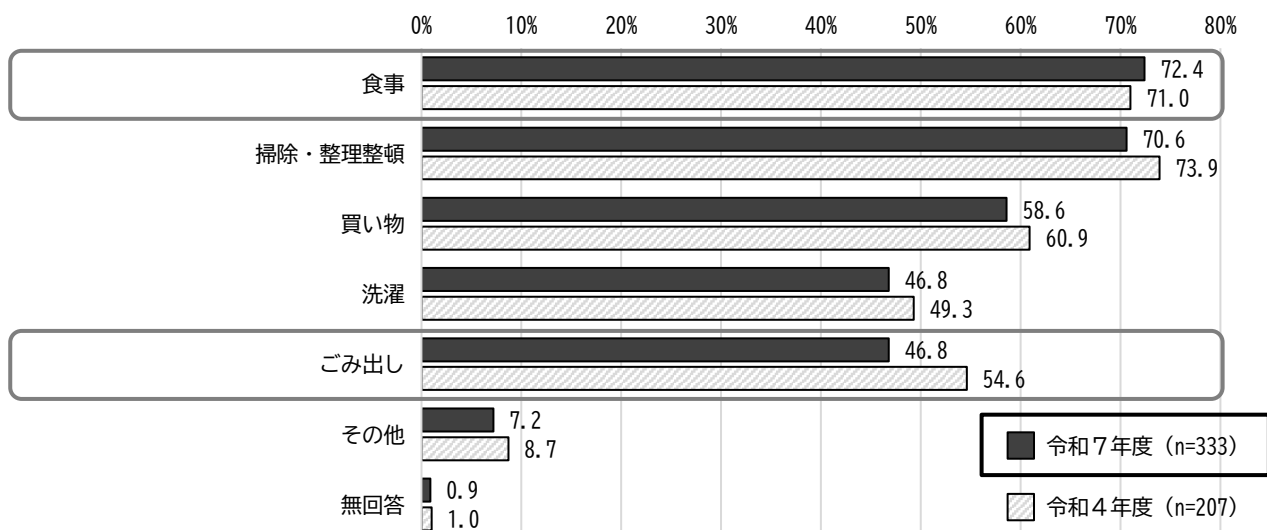
		回答者数	健康に関すること	生活するための資金	障がいの状態に関すること	住む場所のこと	仕事に関すること(就職、復職)	家事のこと	金銭管理に関すること	人間関係(家族、友人、隣人など)	契約など手続きに関すること	65歳になった時のサービス利用(介護保険サービスへの移行など)のこと	日中の過ごし方	特に心配ことはない
全体		1,327	47.5	44.5	32.3	30.8	27.5	25.1	24.9	24.5	23.2	21.4	14.2	11.4
性別	男性	651	45.5	44.7	29.2	29.8	26.6	21.4	26.4	22.1	24.0	19.8	13.7	10.9
	女性	642	49.5	44.1	35.2	31.0	28.3	29.1	23.7	26.6	22.3	23.1	14.8	12.0
年齢	20歳未満	24	16.7	45.8	16.7	45.8	29.2	50.0	66.7	29.2	37.5	12.5	20.8	8.3
	20代	179	42.5	51.4	36.9	33.5	37.4	31.3	41.3	30.2	38.0	17.9	12.8	12.3
	30代	226	44.7	46.9	35.4	34.5	31.4	27.4	31.0	27.4	26.5	25.7	15.5	9.7
	40代	253	49.8	47.0	32.8	32.4	30.0	24.9	24.5	26.1	22.1	20.9	13.0	11.9
	50代	435	49.0	45.7	32.0	29.0	23.9	23.2	19.8	22.8	19.1	21.4	13.6	12.2
	60代	196	53.1	30.6	26.5	23.5	18.4	18.9	10.2	17.9	13.8	22.4	16.8	11.2
手帳の種類	身体障がい	379	49.3	36.4	35.6	23.0	16.9	18.5	11.6	12.1	15.0	20.6	9.2	13.7
	知的障がい	258	40.3	31.8	28.7	33.7	14.3	28.3	45.7	26.4	36.4	31.0	21.3	10.9
	精神障がい	650	51.7	56.8	38.3	37.4	37.4	32.6	27.2	34.3	27.8	21.4	17.8	8.0
	難病	166	52.4	33.7	21.1	23.5	25.3	12.0	15.7	14.5	14.5	13.9	7.2	18.7

## A 障がい者調査 7. 将来の希望などについて

※「家事のこと」と回答した方にお聞きします。

問20-1 心配な家事は何ですか。(複数回答)

今後、希望する暮らしをする上で心配な家事について「食事」が約7割となっています。また、「ごみ出し」が前回調査より減少し5割弱となっており、他の年代と比べて「20歳未満」で多くなっています。



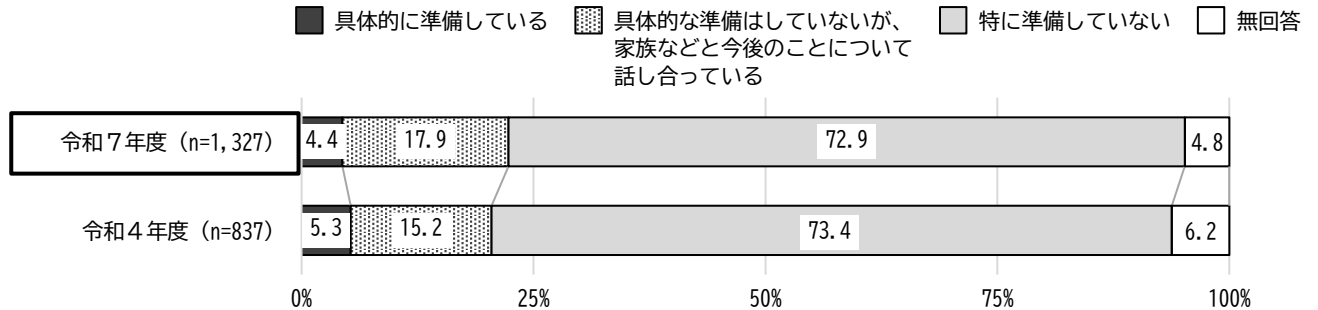
### ■ 性別・年齢・手帳の種類

(単位：%)

		回答者数	食事	掃除・整理整頓	買い物	洗濯	ごみ出し
全体		333	72.4	70.6	58.6	46.8	46.8
性別	男性	139	81.3	69.1	56.1	54.7	51.1
	女性	187	65.2	71.1	59.9	40.6	42.8
年齢	20歳未満	12	91.7	58.3	58.3	91.7	83.3
	20代	56	66.1	80.4	64.3	66.1	57.1
	30代	62	79.0	79.0	59.7	50.0	56.5
	40代	63	76.2	55.6	61.9	39.7	44.4
	50代	101	70.3	71.3	51.5	42.6	39.6
	60代	37	62.2	70.3	59.5	18.9	27.0
手帳の種類	身体障がい	70	64.3	68.6	58.6	44.3	47.1
	知的障がい	73	84.9	67.1	68.5	69.9	64.4
	精神障がい	212	71.2	72.6	54.7	40.1	43.4
	難病	20	75.0	45.0	85.0	50.0	50.0

問21 将来、主に介助・援助している人（家族など）が先に亡くなったり、高齢になって介助が難しくなったりした時に備えて、何か準備をしていますか。（単一回答）

将来に備えて、何か準備をしているかについて前回調査から概ねそれぞれの割合に変化はなく、「特に準備していない」が7割を超えており、他の年代と比べて「20歳未満」で多くなっています。



■ 性別・年齢・手帳の種類 (単位：%)

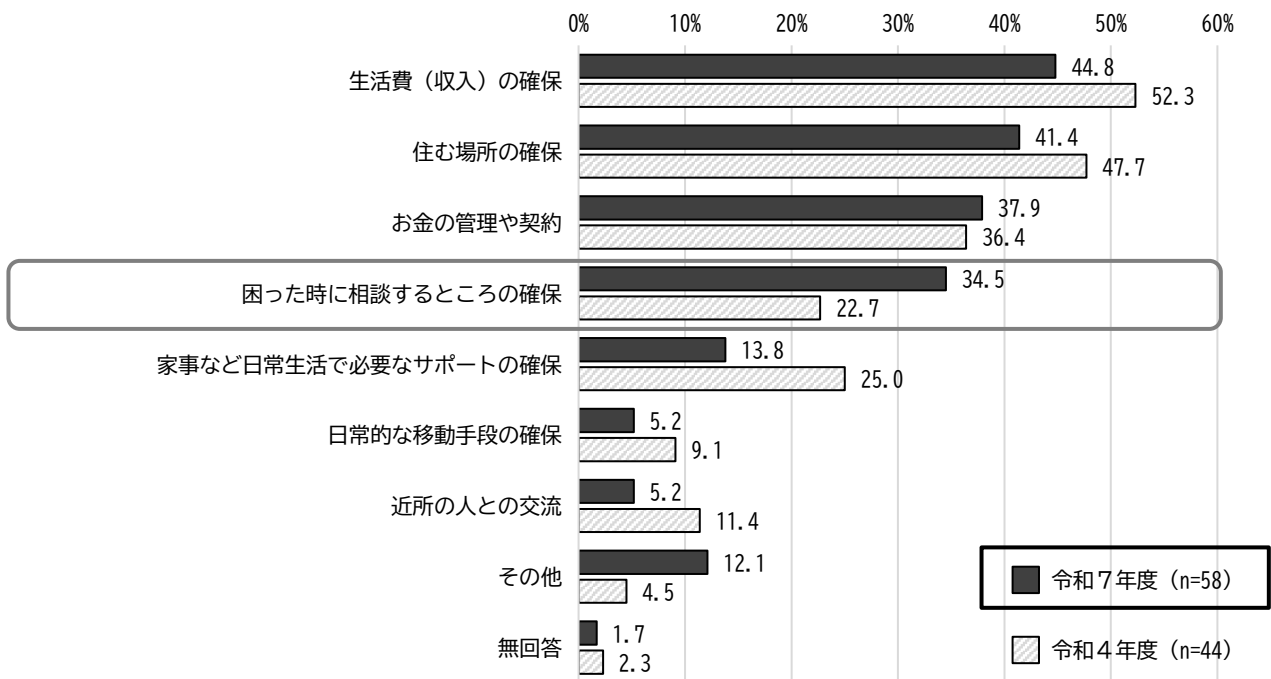
		回答者数	具体的に準備している	具体的な準備はしていないが、家族などと今後のことについて話し合っている	特に準備していない
全体		1,327	4.4	17.9	72.9
性別	男性	651	4.0	19.0	71.4
	女性	642	4.4	16.7	75.4
年齢	20歳未満	24	0.0	12.5	87.5
	20代	179	5.0	21.2	72.1
	30代	226	4.0	25.7	67.3
	40代	253	4.7	15.8	71.5
	50代	435	4.8	15.2	74.9
手帳の種類	60代	196	3.1	16.3	76.5
	身体障がい	379	4.2	17.9	73.1
	知的障がい	258	6.2	32.9	54.3
	精神障がい	650	4.8	15.1	75.8
	難病	166	4.8	15.1	77.1

## A 障がい者調査 7. 将来の希望などについて

※「具体的に準備している」と回答した方にお聞きします。

問21-1 準備していることは何ですか。(複数回答)

将来に備えて準備していることについて前回調査から概ねそれぞれの割合が減少傾向となっている一方、「困った時に相談するところの確保」が前回調査より大幅に増加し3割を超えています。また、他の手帳保持者と比べて「精神障がい」手帳保持者で多くなっています。



「その他」・・・保険の契約、など

### ■ 性別・年齢・手帳の種類

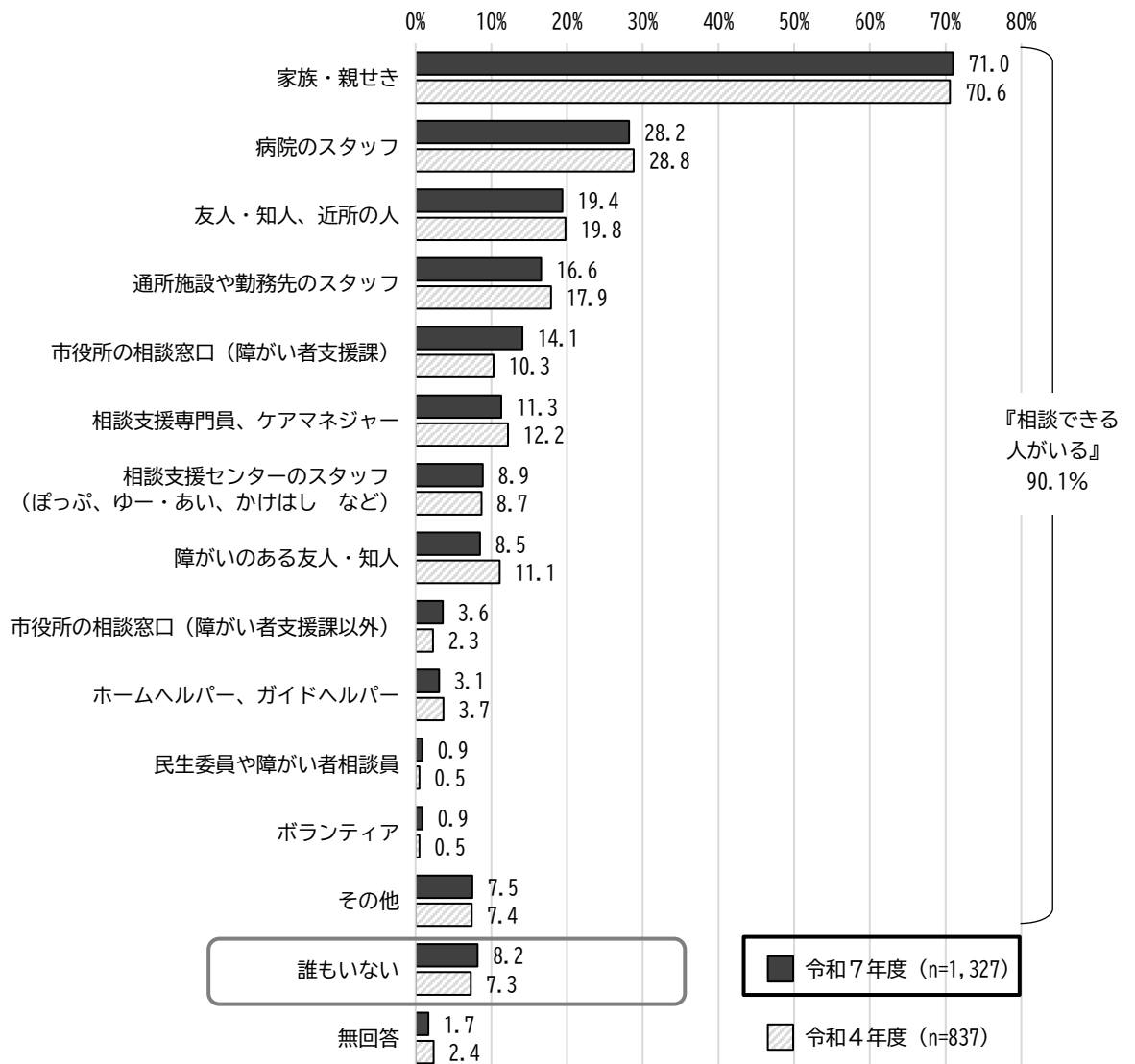
(単位：%)

		回答者数	生活費(収入)の確保	住む場所の確保	お金の管理や契約	困った時に相談するところの確保	家事など日常生活に必要なサポートの確保	日常的な移動手段の確保	近所の人との交流
全体		58	44.8	41.4	37.9	34.5	13.8	5.2	5.2
性別	男性	26	46.2	46.2	46.2	34.6	15.4	3.8	3.8
	女性	28	39.3	35.7	28.6	35.7	14.3	3.6	3.6
年齢	20歳未満	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20代	9	55.6	33.3	33.3	44.4	22.2	22.2	22.2
	30代	9	44.4	22.2	33.3	44.4	22.2	0.0	11.1
	40代	12	41.7	58.3	41.7	25.0	16.7	0.0	0.0
	50代	21	52.4	38.1	38.1	28.6	9.5	0.0	0.0
	60代	6	16.7	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
手帳の種類	身体障がい	16	25.0	62.5	43.8	18.8	18.8	6.3	0.0
	知的障がい	16	37.5	50.0	50.0	37.5	25.0	12.5	6.3
	精神障がい	31	48.4	32.3	35.5	48.4	12.9	3.2	6.5
	難病	8	50.0	50.0	37.5	25.0	12.5	12.5	0.0

## 8. 相談について

問22 あなたが日常生活や障がいのことなどで困った時に、相談できる人は誰ですか。  
(複数回答)

日常生活や障がいのことなどで困った時に、相談できる人について前回調査から概ねそれぞれの割合に変化はなく、『相談できる人がいる』人が約9割となっています。一方、「誰もいない」人が他の年代と比べて「50代」で多くなっています。



『相談できる人がいる』 = 100.0 - 「誰もいない」 - 「無回答」

A 障がい者調査 8. 相談について

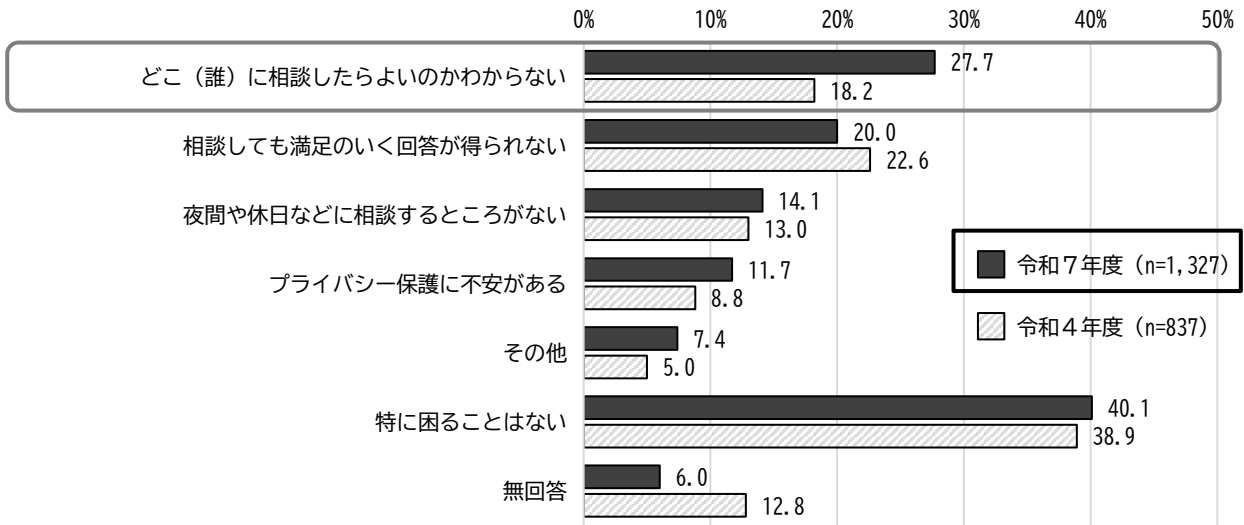
■ 性別・年齢・手帳の種類

(単位：%)

		回答者数	家族・親せき	病院のスタッフ	友人・知人、近所の人	通所施設や勤務先のスタッフ	市役所の相談窓口（障がい者支援課）	相談支援専門員、ケアマネジャー	相談支援センターのスタッフ（ほつぶ、ゆー・あい、かけはし など）	障がいのある友人・知人	市役所の相談窓口（障がい者支援課以外）	ホームヘルパー、ガイドヘルパー	民生委員や障がい者相談員	ボランティア	誰もいない
全体		1,327	71.0	28.2	19.4	16.6	14.1	11.3	8.9	8.5	3.6	3.1	0.9	0.9	8.2
性別	男性	651	69.0	25.5	14.7	20.7	14.7	12.4	10.9	7.7	4.5	3.2	1.1	1.1	8.6
	女性	642	74.8	30.8	23.8	12.6	13.4	10.3	6.4	9.7	2.8	3.1	0.8	0.8	7.6
年齢	20歳未満	24	91.7	12.5	16.7	25.0	16.7	16.7	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2
	20代	179	82.7	31.3	27.4	24.0	11.7	15.6	15.1	14.0	3.9	2.8	1.1	1.7	1.1
	30代	226	79.6	30.1	20.4	27.9	12.8	11.5	9.3	8.4	2.2	2.2	0.0	0.0	5.8
	40代	253	70.0	28.1	19.0	16.2	13.4	7.9	9.9	8.3	2.4	2.8	1.6	0.4	7.9
	50代	435	63.0	28.0	16.6	11.3	15.9	12.0	7.6	7.6	4.8	3.0	0.5	1.4	12.4
	60代	196	68.9	24.5	18.4	8.7	14.3	10.2	5.1	6.1	4.6	5.6	2.0	1.0	9.2
手帳の種類	身体障がい	379	72.8	24.5	19.8	9.5	15.6	13.5	3.7	6.9	3.2	6.1	0.5	1.1	6.6
	知的障がい	258	76.4	9.7	12.4	43.0	21.3	21.3	19.4	8.9	4.7	7.8	1.6	1.9	3.9
	精神障がい	650	65.1	38.0	21.4	16.5	15.2	10.9	11.1	10.9	4.6	2.2	1.2	0.8	10.2
	難病	166	81.3	31.3	22.9	7.8	9.0	4.2	3.0	4.2	1.2	3.0	0.6	1.2	4.2

問23 あなたが相談について困ることは何ですか。(複数回答)

相談で困ることについて「どこ（誰）に相談したらよいかわからない」が前回調査より増加し約3割となっており、他の年代と比べて「20歳未満」で多くなっています。



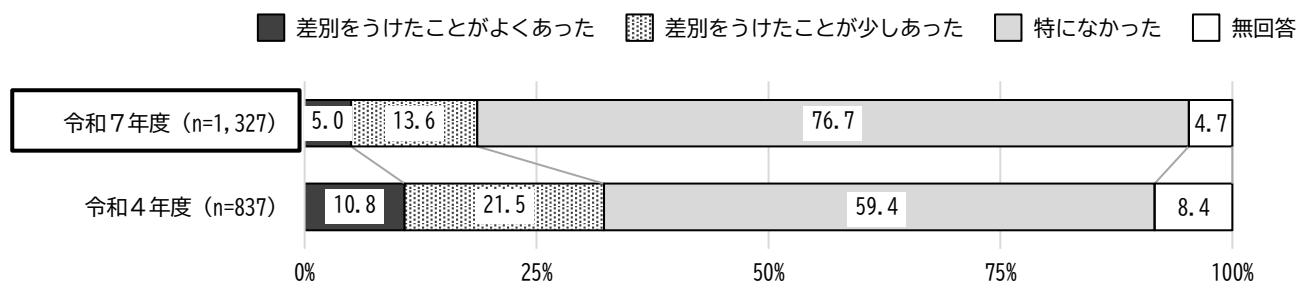
■ 性別・年齢・手帳の種類 (単位：%)

		回答者数	どこ（誰）に相談したらよいかわからない	相談しても満足いく回答が得られない	夜間や休日などに相談するところがない	プライバシー保護に不安がある	特に困ることはない
全体		1,327	27.7	20.0	14.1	11.7	40.1
性別	男性	651	25.7	19.2	13.4	10.3	43.2
	女性	642	29.3	20.7	14.3	13.1	38.3
年齢	20歳未満	24	41.7	12.5	4.2	0.0	41.7
	20代	179	21.8	16.8	13.4	6.1	45.3
	30代	226	29.6	25.7	15.5	12.4	35.8
	40代	253	30.4	20.2	19.0	13.4	34.4
	50代	435	28.7	20.9	12.9	13.8	40.9
	60代	196	23.0	14.8	10.7	10.2	47.4
手帳の種類	身体障がい	379	23.7	13.7	10.8	11.1	46.2
	知的障がい	258	26.7	20.5	14.0	8.5	36.4
	精神障がい	650	32.6	24.8	19.1	13.8	33.7
	難病	166	24.1	16.3	10.8	13.3	53.0

## 9. 差別や権利擁護のことについて

問24 あなたはこの1年（令和6年9月～令和7年8月）の間に、障がいがあることで差別を受けたことがありますか。（単一回答）

1年の間に障がいがあることで差別を受けたことが「特に無かった」人が前回調査より大幅に増加し7割弱となっています。



■ 性別・年齢・手帳の種類 (単位：%)

		回答者数	よくあった	少しあった	特になかった
全体		1,327	5.0	13.6	76.7
性別	男性	651	5.2	11.1	79.3
	女性	642	4.8	15.7	74.9
年齢	20歳未満	24	4.2	4.2	87.5
	20代	179	3.9	12.8	81.6
	30代	226	4.9	14.6	77.0
	40代	253	5.9	12.6	75.9
	50代	435	6.0	16.1	72.9
	60代	196	2.6	10.2	82.1
手帳の種類	身体障がい	379	3.7	15.3	78.1
	知的障がい	258	5.8	12.4	71.7
	精神障がい	650	6.9	15.5	73.7
	難病	166	1.2	7.2	88.6

問25 あなたがこの1年（令和6年9月～令和7年8月）の間に体験した「差別を感じた対応」と、「気遣いや思いやりを感じた対応」についてお聞かせください。  
（自由回答）

① 差別を感じた対応（どのような場面で、誰から）

■日常生活

- 周りの視線（50代・精神）
- 市役所の対応（50代・精神）
- 仕事の面接時（40代・精神）
- SNSなど。（50代・精神）
- 視線、言葉（50代・精神）
- 市役所の障害科の人（50代・知的）
- 飲み場で知り合いから（20代・身体）
- 仲間外れにされた（30代・身体, 知的）
- ジロジロ見られている感じ（50代・身体）
- 外出中に避けられた。（30代・身体, 知的）
- 急に子供っぽい話し方をされる（40代・知的）
- 道を歩いた時、にらまれた。（40代・精神）
- みんな自分中心すぎる（50代・身体, 知的）
- 聾者の仕方が理解出来なかった。（50代・身体）
- チック症が発症した時の周囲の目（20代・身体）
- 病気のせいで、給料があがらない。（50代・知的）
- 忘れっぽい＝頭が悪いと言われる。（40代・精神）
- もう64です。席をゆずってほしい（60代・精神）
- 車イスに乗っている事で差別を受けた（50代・精神）
- ハローワークの対応、特に男の人の対応（50代・身体）
- この1年間で差別を感じたことはない（50代・精神）
- 情報保障について、足りないことが多い（60代・難病）
- 本人にではなく、介助者に話しかける。（20代・身体）
- 一般の子供達の仲間に入って遊んだとき（40代・精神）
- プールに入るのにじかかんがかかったとき（20代・身体）
- 言っていることを、信じてもらえなかった（20代・精神）
- 家族から双極性障害Ⅱ型と何度も言われた（50代・精神）
- 障害を隠しているので周囲の対応は無い。（50代・精神）
- 病名を誰にも話していないためないです。（40代・精神）
- 声を出すとみられる様な気がする。（50代・身体, 知的）
- ネットにおいて偏見が見られることがある（30代・精神）
- 病気にたいしてりかいされてない気がする（50代・身体）
- エレベーター利用時、乗り降りする場面で。（60代・精神）
- 職業選択の不自由しょう害による、賃金格差（50代・精神）
- 優先エレベーターに乗れない 人がいっぱい（40代・難病）
- 自分の症状を隠しているので特に感じない。（50代・精神）
- 合理的配慮が無かった。やる仕事が無かった。（40代・精神）
- 外出時に変な目で見られる、さけられる（50代・身体, 難病）
- 本人と一緒に暮らしてないのでわかりません。（30代・難病）
- 正月の初もうでの時に心ない悪口を言われた。（50代・精神）
- 旦那が理解してくれず、働くことへの強要（20代・身体, 知的）
- 見ず知らずの人に「怖くない？」と聞かれたこと。（40代・難病）
- 乗物で警戒されて近くの世の人が立ち去っていった。（60代・難病）

## A 障がい者調査 9. 差別や権利擁護のことについて

- 外に出られないのでわからない、そのような場面はない (40代・知的)
- 上司から (精神科の) 薬を飲まずにいられるといいね。 (30代・精神)
- 義母から差別を受けています。暴言、悪口、嫌がらせ等 (50代・精神)
- 昔の友人に働くことが難しいのに、社会のゴミ扱いされた (40代・精神)
- 歩道で白杖歩行中「邪魔！」と言われ、白杖を蹴られた。 (60代・知的)
- 仕事ができなくなったので評価がさがって給料が減った。 (50代・身体)
- いつも隠しているので、そのような対応にならない。 (40代・知的, 精神)
- 差別をするような友人はいなかったので特に感じなかった。 (20代・身体)
- 難病指定は、それを示す方法がないから席なども譲ってもらえない (50代・精神)
- 障害と聞いただけで一般の人ではないという目や言葉をかけられた (30代・精神)
- 実習先のスタッフの人が馬鹿にするような言葉を発しているのを聞いた (20代・難病)
- 視線で全て察する バイトで自然と遠ざけられる 人扱いされていない (40代・身体)
- 差別ではないが、鬱状態の不理解から、厳しい作業指示と、低評価を受けた (50代・身体)
- 幼ない子が好きでつい声をかけてしまい親に変質者として警察へ通報された (50代・身体)
- 事業所の件で市役所に電話相談したらそちらで解決してくださいと言われた。 (20代・身体)
- 仕事を探している際に面接で病気の話をしたら面接官の顔色が急に変わった。 (30代・精神)
- 駅の階段ですれ違った時に少年に「障害者じゃん」とさきやかれたことがあった (30代・精神)
- 仕事を探してる時に面接でパニック障害だと伝えると雇ってくれる仕事はない。 (30代・身体)
- 行政機関で「足けがしてるとかでしたっけ？」のような質問を職員からされた。 (30代・精神)
- お仕事で上司からもらうお仕事でパソコンを使う (エクセルとか) 仕事が少ない (50代・身体)
- 仕事だがなかなか私の病気だが ぼくの病気理解してない人がたまにいます。 (50代・精神)
- 誰にも話していないから差別されていない。しかし理解されにくいから話していない。 (50代・身体)
- 透析の注射痕がケーサツから薬物常用の痕のように扱われ職質され、謝罪もない事 (60代・精神)
- 障害者用駐車場を一般車が占拠してしまう 障害者用トイレを一般の方が占拠してしまう (50代・知的)
- 一人で買い物の決断がいつもできなく、夫に「あなたは情報弱者なんだから」と言われた。 (50代・身体)
- 視線・「大丈夫ですか？」と声かけしてくるが、特に何もしないし、することもない。 (60代・身体)
- 健常者との境界線から、また弱者という立場から八つ当たりの標的になることが多々ある。 (30代・知的)
- 友人に相談を持ち掛けたら、なんで俺が相談に乗らなければいけないのかと、逆ギレされた。 (50代・精神)
- 飲食店で実際に入って席を見たわけではないのに狭いから入れないと決めつけられた。 (20代・身体, 難病)
- 複視と眼瞼下垂で見えにくいので補助の人と歩いているとわざとよくぶつかってこられる。 (50代・知的)
- 親と弟から、うつで動けないときに、わがままだと言われ、ぶたれたり、物をこわされたこと (50代・不明)
- 外見で分かりづらい為、目の前の物が探せずイライラされる、どなられる (視野欠如) (50代・身体, 知的)
- ヘルプカードを付けて外出した際、「う、障害者が来た」な態度をとられた。 (50代・いずれも持っていない)
- 差別までではないが、見えているのが当たり前に見られて、操作の遅さにイライラしてると感じる (40代・精神)
- 派遣先で、年齢を主な理由で準社員試験を受けさせてもらえなかった。(上司の判断だと思います) (50代・精神)
- 段差や階段があり、行けない場所があり、あきらめる事がある (エレベーターが無い店など) (60代・精神)
- P T A等、意見を1人1人に聞く場で、すつとばされ、意見等伝える機会がなかった (50代・身体, 知的, 精神)
- 周りの人には伝えてるが私には伝えてくれない (仕事の内容) あいさつしてもむしされる時もある (50代・精神)
- 訪問看護師に、精神障害者を下に見ているような発言をされた。社会に溶け込めないと暗に仄めかされた。 (30代・身体)
- 小学生から変な目で見られる。ふりかえって見られる。数人で立ち止り、こっちを見てヒソヒソ話をする。 (30代・精神)
- 店員さんに訪ねた事をつき人 (関係ない人) に答えたりおつりを渡してほったりされると差別を感じます。 (60代・精神)
- 就職活動など、初対面の人との面接や会話内で自分の意欲が軽んじられている (信じてもらえない) ことが多い (30代・知的)
- 民生委員 自分一人の事案と言われ協調性の取れない家庭の迷惑に困り受け入れ出来ず迷惑 (夜中の生活情況) (50代・精神)
- アパート (ひっこし) にともない、生活保護を理由に不動産屋から差別をうけた。(30物件くらいが流れた。) (50代・精神)
- 知人に生活保護を受けて働かなくていいね、など言われた。(こちらとしては好きで障害を持っているわけではないのに) (20代・身体)
- インターネットの掲示板、SNS の書き込み、自分が生活保護と鬱であることを知らせられない知人との会話(ネット内) (40代・難病)

- 精神疾患のため休職を申し出た際、上長から「治る見込みはあるのか」「元気そうに見えたのに」などと言われて辛かった。(30代・身体)
- いとこが精神障害者に差別的な発言をしていて自分に言われているわけではなくとも気が減入りました。(開示していません)(30代・知的)
- 通勤時、駅のエレベーター内で杖がぶつかり、それだけの事で警察に通報された。(駅のエレベーターは障害者優先だと思う)(50代・知的)
- 職場で、1人の男性から、心が痛む言葉を言われた。周りの方々のサポートのおかげで、ほんの少しだけ頻度が減ってきた。(20代・身体)
- 直接的な差別は余り見た目では解らないために受けていません。多くの方々は昔と違い他人に対して無関心なのだと感じています。(50代・精神)
- コンビニでたまっている人たちに足がないことでバカにされた気がする。「車イス」と、私の周りの人が自分のことをいっている気がした(40代・知的)
- ・夜間ヘルパーが訪問時ドアを強く開け閉めして「わざわざ来てやっている」感を演出されたとき・タクシーに乗せてもらえなかったとき(拒否)(50代・精神)
- 態度に少し違和感があったのか？調布駅前通勤時間中に警察官に職務質問を受けた。身分を証明するものを持っておらず本部に照会までされた。(30代・精神)
- 市役所で後見人でありながら本人の住民票他をとりに行った時成年後見人の設定書類が3ヶ月の有効ではあまりにも短かすぎる以前はそうではない(40代・難病)
- 「うつ」に見えない。困ってなさそう。障害者のフリをしてる。ウソつき。甘えてる。元気そう。どうせ自殺しない。税金ドロボー。(50代・いずれも持っていない)
- 入れない建物があつたり、利用できないものがあるとき。スーパー銭湯等では杖を使っているという理由で入店拒否されることが何度かあった。(50代・身体、難病)
- スタッフとのコミュニケーションをとろうとするが、後回しにされたこと、積極的にメモをとってくれなかったこと(面倒くさそうな顔にされていた)(30代・知的)
- ヘルパーさんが、私の事を考えてくれて、先回りしてしまい私のしてほしい事とちがう事をしてしまうことがまりました。差別と思いました。(60代・精神)
- 障害者だから、訪問看護師さんにクリニックについてきてもらおうと思って、2件電話してもらったけど、障害者との理由で却下された。予約。(20代・難病)
- 比較的、年齢が若い場合、杖を使って歩きにくそうに歩いていると、他の人にじっと見られる場面が多い。必要なので仕方ないが、杖を使用しにくく感じます。(40代・精神)
- 人が多くいる所でヘルプマークを付けていたら、子どもの知り合いにからかわれ笑われたこと。とても悲しくて傷付いた。ヘルプマークを付けることが怖くなった。(30代・知的)
- 精神の病は通院や服薬していることに偏見があると思われるので友人や周りの人たちに秘密にしている。昔夫からは「おまえが甘えているだけだ」とののしられてきた(60代・身体)
- 他人の身体の状態などわかるわけがないのは承知。差別ではないが、病気の事を話しても、元気そうに見えるらしく体力的に難しい事があまり理解されてない事がよくある。(50代・身体)
- 差別とかぶつからないようにゆっくり歩いているのに、大抵男性がぶつかってきて、なんだコノヤローなど怒られる。白杖たんでいましたが見えるようにしていたのに。(50代・難病)
- 視覚障害のため、一人で買い物時、商品を探したりセルフレジ(セルフレジしかない)の際に、上手く探せない時に、変な人だと思われる事がある。挙動不審者に思われる。(50代・知的)
- 料理屋やお店など注文、支払いほとんどタブレットなので使い方を聞いても教えてもらえず「せつめい文を読んで下さい」と言われた。またおそいといやがられる。(50代・身体、精神)
- 自分が聞こえない事を伝えたとき店員の態度が変わり、“人として”対応してもらえなくなる。又はバカにした態度を取られる。障害を持っている＝人ではないのでしょうか？(50代・精神)
- 仕事で今体調不良で休みがちでパートだが休むことに上司から厳しいことを言われる。難病のせいもあるし、精神的もあるし1つではないけど、一般的にそれでは解雇されそうです。(40代・身体)
- 傍目には内部障害があると分からないため、障害者用駐車場や障害者用トイレ、優先席等を利用する際に変な目つきで見られる。駐車場の警備員には手帳を見せないと利用を断られた。(50代・身体)
- 不安障害があるので、ヘルプマークをつけて優先席に座っていたところ、見た目から年齢が若いということで障がいを軽んじられ、知らないおじさんに座席を譲ることを強いられました。(30代・精神)
- 障がいによるものは無かった。但し、私は風貌が悪いので、“思いやり”を感じる対応は常に少ない。特に中年以上で女性の偏見は多く、逆に若い方々の方が優しい事の方が圧倒的に多い。(60代・精神)
- ヘルプマークを忘れて一般車両に座った時、年配者に譲るのが普通でしょ！と知らない女性(40後半～50台)に怒鳴られて、気が付かずすみませんと謝り、年配者に、譲った(50代・いずれも持っていない)
- 切符を買う時に手帳を見せてマスク取るようお願いしたが、取ってもらえず、駅員が何度もしゃべってる。うちはしゃべるが聞こえない。筆談お願いしてもダメでした。(特に大阪での出来事です)(60代・精神)
- 実姉から、うつ病や強迫神経症のことで理解を得られず、性格的な問題だ、日常生活で失敗するとすぐ怒られる。生活の支障を病気のせいにして甘えている、世の中そんなに甘くない、と言われ落ち込みます。(50代・身体)
- 精神の障害のため、外見からは分かりづらいので良くも悪くも何か特別な対応をされた記憶はありません。実際、体調が比較的安定している時にしか外出不可能なためあまり他人からは分からないのだと思います。(30代・精神)

## A 障がい者調査 9. 差別や権利擁護のことについて

- 生まれつきでも不慮の事故でも障害は自己責任ではないのに、生活保護制度で最低限度の生活しか保障されないのでは、学習の機会やそれに必要なものも満足に揃えられない。災害に備えたローリングストックもできない。(50代・身体)
- 話が出来ないので、声が出てしまうことが多い。そのような時に笑われたり、怖がられて距離を取られたり、嫌な顔をされることはたびたびあった。笑うのは小学生(高学年)だったり、怖がられるのは大人の女性(中年)(30代・知的)
- ・番組エキストラ参加応募時、手帳の事伝えては、「それではこちらは参加させられません」と断られました…。(3つ所属の内の1つですが…) ・女性+ヘルプマーク+格こう→マークのEPが好きでつけているのでは?とゆうせんせきでいわれる。(20代・難病)
- 一人暮らしをするためのアパートの契約のとき、不動産屋からの電話でうまく話せず、受け答えできなかったため「不安がある」と契約を断られた。その後、家族が不動産と話をし、親が契約者になることと「2年更新」という条件付きで契約することになった。(20代・難病)
- 自身の病気(双極症)についてオープンにしているボランティア先の飲み会に参加した際、そこで働いている職員男性からセクハラされ、それを後日、別の女性職員に相談したところ、「あなたが腹を立てているのは、あなたの病気の状態のせい」と言われたこと。(20代・精神)
- 最近では、差別的な対応は受けていないと思います。ただ、息子に障がいがあるために、母である私が苦勞していて可哀想だという視点でお話しされる方はおられます。そのような方に、この子の母であることがどんなに幸せかを話しても仕方ないので、「ありがとうございます」で全て流しています。(30代・精神)
- 同じ部署で同じ派遣社員で働き、私の方がたくさん仕事をしているのに、後から来た健常者が倍くらいの給料をもらっている。私がおの人に教えているにもかかわらず、賃上げにも応じてもらえない。足元を見られていると感じる。(以前に「どうせ障害あるから、他へ行けないでしょ」と言われた。)(60代・知的,精神)
- P9、5その他に書きましたが保健センターで栄養相談で日常生活困ってる事話したら市役所やよそで話せ言われてイヤな思いました。保健センターや保健師などの心の病や理解ない。母、夫身近な家族病気理解ない気力わかず 夕食目玉焼ハム母にゆったら、そんな朝食のメニューじゃないのゆわれました。(40代・身体,精神)
- 差別ではないが、災害に関する申請書類(三鷹の障害者に送られるもの)にモヤついた。手帳を取ったことが、自動的に地域に共有されると思うとあまり良い気持ちはしなかったし、地域にまだあまり関わっていないからよいが、これがもし知り合いのコミュニティに勝手に伝わるようなことがあったらショックだと思う。(20代・精神)
- Some people Dosen't care, Even they saw me. I am using the cane. They bumping and pushing me, And say. you have disability better stay home, Don't walked outside (50代・難病)
- 私が直接言われた訳ではないですが、周りの人が話している内容の一つが精神障害を持っている方を揶揄しているものでした。それを聞いて悲しくなりました。私はその人たちに自分の障害のことを公表しておらず、恐らく障害を持っていることにも気付いていないので、私が障害を持っていることをこの人たちが知った時、私に対する態度も変わるのかなと考えてしまいました。(30代・身体)
- 最近では、ふざけて手帳やヘルプマークを取ったりするひとがいて、付けているとそういう目で見られるのが不安で、なかなかヘルプマークを付けるのに勇気があります。席を譲って欲しい目的だ。とか、何かあった時にこの人を助けなきゃいけない。めんどくさいから離れよう。という人も多少はいると思います。そういう所が差別と一緒なのかわからないけれど、不安に感じます。(20歳未満・精神)
- 自身が障がい特性上、自覚しにくい嗅覚の症状について、一方的に自分が不快なおいを発していると注意を受けました。気を付けるようにしているが、衣類の洗濯など徹底しても、特性上また服薬によって汗臭くなることがあり、完ぺきに対応はできない旨を伝えても、なかなか理解していただけなかったことがあります。最近では自臭恐怖症になり、以前より人と距離を置くようになりました。(40代・身体)
- ネットなどの情報で、「バリアフリーです」とうたっていても、いざその場所に行ってみると段差があったり、店のスタッフが見えないフリをして、障害者は「おことわり」になっていたりする。後者の方が、精神的にこたえる。町中のいろんな所ですが、横柄な態度や、いやな対応をしかけた人が、私が車いすに乗ってる人だとわかると、「いい人」に変わる。車いす=障害者=守ってあげる人になるのか…それならはじめからいい対応ができるはず。結局、いい対応でおわっても、差別とは言わないが、普段とちがう人の扱いをされていると感じる。(40代・身体)
- 井の頭線に電動車椅子で乗車した時、40歳前後の男性から「若いのに電動車椅子乗ってんじゃねーよ！隣の椅子に座ってる老人は杖で頑張ってるだろうがよ！金があるからって楽しやがって」と私の目を見ず運転席の壁に向かって大きい声で言われました。言い返すのも怖いし、聞こえないフリをしてやり過ごしました。降車しても続くようだったら駅員さんに伝えようと思ったら同駅で降車後すぐ改札に消えて行きました。他では車椅子の後ろを(踏くような混み合う場所ではなかった)蹴られました。後ろですと、車椅子の座席から振り返っても誰だったか確認するのは難しく我慢するしかありませんでした。電動車椅子や歩行器で外に出て、席やスペースを譲って下さった方ではない人から、「障がい者ならオシャレするな、それらしい格好してろよ！優先席使ってらくしたいから健康でもわざと車椅子や歩行器使ってるんだろ！」というのもありました。(派手な姿ではなくとも見た目で分かりにくい病気だと障がい者と気づいてもらえない。障がい者らしい格好とは恐らくみすぼらしい、質素な格好と言いたいようでした)(30代・難病)

### ■公共交通

- 手帳を提示した時のバス運転手の態度(40代・精神)
- バスに乗った時、運転手の人が冷たい。(40代・知的)
- バスに乗る時に手帳を見せたら嫌な顔をされた(50代・身体)
- 電車の優先席に座っていたら文句を言われたこと(40代・身体)
- バスの中や歩道。乗客、歩きスマホの人。(60代・身体,難病)

- バスでしょうがい者用の席にすわったらおこられた (30代・難病)
- バスでパスモなどを出す時にもたついていた時に。(30代・精神)
- 電車で席をゆずろうとしたら逃げていってしまった。(20代・精神)
- 電車の中で奇異な目を向けられた。高圧的な態度を取られた。(20代・難病)
- バスや電車の優先席で譲っていただけなかった。(ヘルプカード着用) (40代・難病)
- 問18に記載のとおり。バス優先席や優先エレベータに乗るとジロジロ見られる。(60代・精神)
- 自転車で車道を走っている時、止まっている時、自動車の運転手から邪魔と叱咤される。(40代・難病)
- バスに乗った時、席(優先席を)をゆずってもらおうとしたが、誰もゆずってくれなかった。(50代・知的)
- バスの運転手が障害手帳を見せても中々動いてくれなかったり面働きそうな対応をすること(50代・精神)
- バスに乗る時手帳をみせたときの運転手の態度がよくない。やさしい人もいる。☆本人はわからない。(50代・知的)
- バス乗車の際、愛の手帳で乗るのですが、運転手(小田急バス)が、半額にしてくれないことがあった。(50代・知的)
- バスにのるときにみどりの手帳をみせても対応してくれないときがある。いやそうなかおをされることもある(50代・身体)
- 電車内で感染予防のマスクをしているが逆に「この人は病気(?)」という顔をよくされる 座席を立つ人もいる(30代・身体)
- バスの乗車時に手帳を見せた時明らかに嫌悪感を見せてくる、舌打ちをする、顔をしかめるなどの対応をよくうける。(30代・精神)
- 一度バスに乗った時に、障がい者手帳を見せて割引してもらおうとした時、バスの運転手から嫌な反応をされたことがあった。(30代・精神)
- バスの時に手帳出したら中を確認された。うんてんしてた人に。本当に自分のかをしっかりと見られてちょっといやだった。(30代・難病)
- 電車でヘルプマークをつけて優先席に座っていたら、障がい者でもないのに、ヘルプマークつけるな!すわるな!と大声でどなられた。(50代・身体)
- バス待ち中、声が出てしまい同列に居た数名から執拗に見られた ヘルプマーク着用していても無意味に感じる ヘルプマークを執拗に見てくる高齢者が怖い(20代・知的)
- ヘルプカードをつけて電車に乗ると「元気なくせに」と言われたり、座れないと困る症状が出るが、なかなかゆずってもらえない。(座りたいだけと思われる) (50代・精神)
- 特にヘルプマーク付けて行動していないので体験はありません。しかし、長時間電車内で座席が空かない時はヘルプマークがほしい場合があります。(60代・いずれも持っていない)
- ・病院で精神科入院歴を告げたとたん、Drが無能者を扱うような態度に変わった ・身体障害者手帳を見せ、バスの席を代わってくださいと頼んだのに冷たい態度だった(60代・身体)
- 差別を感じた対応…交通機関利用中での軽蔑的な視線。10年以上住んでいる地域の近所の子供たちその親たちに話しかけても変な顔、または戸惑ったような表情をされる。(20代・精神)
- バスに乗る際に障害者手帳を見せたら、チツと舌打ちされました。お忙しかったのかもしれませんが、こちらも申し訳ないなと思いつながりながら手帳を出しているの、悲しかったです。(30代・精神)
- 感覚過敏などのため電車に乗る必要がある時は始発駅(三鷹駅)から優先席に座ることがあるが、ヘルプマークをつけていても「若いから立て!」と手を引っぱられたり、ヘルプマークを見せても「こんなの障害者じゃなくても手に入る。ニセモノだろ」と言われたりする。ヘルプカードやヘルプマークの配布はやはり障害者手帳などの確認が必要だと思う。本来の主旨とは異なると思うが、実際に不正に使う人が多いと聞くので困っている。(20代・精神)
- 車椅子でスーパーへ行った時レジの列で買いたい牛乳陳列をふさいでいたので、すみません牛乳2本取りたいのですがと言ったが列に並んだ全員がジロジロ見るだけで誰も全く動かない。仕方なく、すみません牛乳取りたいのでちょっと空けてもらえますか?と言っても同じ。ホラー映画みたいでとても怖かった。バスによく車椅子で乗るのだが、停留所のほとんどが歩道が狭く、バススロープを出すとスロープが道の端に当たってしまう(つまり車椅子でスロープを登る事が出来ない)のでほんの少し先の曲がり角へバスを移動してスロープ出して欲しいとお願いすると、そのまま無視して行ってしまうとか、乗りたくて手を挙げて後ろのドア開けてもくれず、運転手の所まで移動して、乗せて下さいと言っても、聞こえないフリしてドア閉められ、更にバスの中の人たちが誰も何も言わずただ無表情でみているだけ。或いは運転手に市役所!と(市役所前のバス停なら乗せてやる!という意味)吐き捨てられてドア閉められる、、もう最近では、行きも帰りも市役所前まで車椅子で移動している。市役所前や始発で乗っても、とても嫌な顔して降りる時も後ろ向きだからスロープちゃん見えなくて、運転手さんの補助がいるのに、何もしてくれない事が多い。バス、電車に乗ると、あからさまに嫌な顔する人多いし、車椅子蹴られる、舌打ちされる、障がい者なのに歩いて!とお小言言われる、等々。体調いいときは特殊松葉杖や杖で出掛けたりもするが、優先席の前に立っても、先ず誰も席譲ってなんてくれません。40代と子供の親子とか、学生とか、スタスタ歩いてそこに座ったの見ていたから健常者だなどその前に立っても絶対誰も!しかもジロジロ上から下まで見られる。やっと自分の前の人降りるので座れる!と思い座りかけたら、割り込んですっ!と座る人たちも多いし、ようやく座れてほっとしたら次で乗ってきた私より年上だが登山の姿なので足腰健脚そうな人が、私の前に立ち、何度も腰たたいたり、ため息つきたり、と、席譲れの圧をかけられる。私の両隣は普通のサラリーマンや学生、私はヘルプマークは勿論、杖!なのに私に譲れと圧をかけられ、いたくて半泣きでやっと座れたのにやむなく席譲る事になる、とか、似たような事は数えきれなく、また足の手術で入院した時、私は自分の車椅子持参で、歩けない時からそれでお手洗いへ行ったりしていたが、同室の、同じ年代の女性は片足手術なのに車椅子は恥ずかしいからと(入院中なのに!)ずっとオムツ。そして私が普段も車椅子で出かける事があると聞いて、よく恥ずかしくないねえ、買い物とかも車椅子迷惑だね!だから何だろうこの人!って思っで見ちゃう、普通は。車椅子で外に出るって相当な心臓の持ち主だよねえ考えら

## A 障がい者調査 9. 差別や権利擁護のことについて

れない！と云う事を散々言われた。世間一般はきっと殆どの人がこう思っているのだなど、実感した。松葉杖でタクシーを道で拾おうとすると、数台は確実に、乗車拒否というかチラッと目が合うが停まってくれません。久しぶりにちょっと美味しい物食べたくて車椅子だ病院の帰りにランチをしようとし、店内は迷惑なのわかっているのに、降りて車椅子畳んで店の前に寄せたくて、お店の人に、どこに停めて良いか聞くと(店のメニューの前しかないが車椅子より、高い位置にメニュー表がある)、あからさまに機嫌悪くなり、メニュー表、、、とだけ言って、そして舌打ちされたので、わかりました、諦めますと、言いました。諦めますと言ったら、無言でボタン！と扉閉められました。書ききれない程、嫌なめにはあっています。(50代・いずれも持っていない)

### ■職場・就労

- 職場での処遇 (40代・精神)
- 職場での対遇 (50代・知的)
- 職場で同僚から。(50代・精神)
- 職場での確認不足等で (60代・精神)
- 職場で差別をつねに感じる (40代・知的, 精神, 難病)
- 職場で同僚から (MTGに収集されない等…) (40代・身体)
- 職場の同僚から話に入ろうとしただけで仲間外れにされた (20代・難病)
- 勤めていた職場 (既に退職済み) で、退職を勧奨された。(50代・精神)
- 職場の面接で理事長から障がいをもってるとを話すと対応が変わった (20代・知的)
- 職場で先輩から関係無い仕事で怒鳴られ、障害者だからと更に強く怒られた (30代・精神)
- 職場にて気を遣われすぎて、仕事を十分に振ってもらえない。疎外感。(40代・身体, 難病)
- 手帳を更新していません。就労支援事業所A型に居た時は辛いことも多かった (50代・知的, 精神)
- 職場の同僚に「周りから信頼されていない」や「なんでこの会社にいるの」などいわれたことがある。(30代・精神)
- 会社の上司に対して朝の挨拶を無視される。仕事内容を相談したところ、「それぐらい自分でやれ」と乱暴な回答をされた。(40代・難病)
- 日中に眠くなる睡眠障害なのに職場で眠っていると説教された。そのような障害があることを全国の職場で通知すべきである。(50代・難病)
- 会社の上司から仕事内容における些細なミスを他のメンバーの前であからさまに何度も指摘されたり悪い噂を流されるなど嫌がらせを受けた。(50代・精神)
- 職場で精神的に安定していないからなのか、同僚のあたりが強いこと。また、社外を越えて他の協力会社にも私が障害を持っていることを伝えていた。(40代・身体)
- 目に見えない障がいなので、職場の人から何それ、これが出来ないなら話しにならないと言われた。障がいがあるだけで面接を落とされることも多かった。(20代・身体)
- 今年七月まで働いていた会社でパワハラ発生の為、クローズにしていたうつ病を話さなければならなくなり、社内規定では言わないといけない事だよとか言われた。(40代・身体, 難病)
- 職場で、仕事が出来ない、「普通でない」と発達障害の検査を受けるように言われた (自己負担) 結果提出を強要された。受診している＝障害と偏見が強い発言を度々受けた。(40代・身体)
- 差別となるかは分かりかねますが、精神面からの体調不良が多く休みがちになったり等で、会社での課題面談時に、この仕事に向いていないのではないかと等の発言が上司からあった (20代・難病)
- うつ病、適応障害の診断を受け半年間休職をし職場復帰した際 (社福) ○○会、事務局の○○氏から取り調べのようなカウンセリングを受けた事が今も許せず納得がいきません。(50代・精神)
- 障害者雇用で、ファミリーレストランで働いていた。その際、他の人がやりたがらないトイレ掃除や、洗浄機かけ、半年たまっている異臭のする生ゴミの処理、臭うゴミ箱の洗浄をまず最初にするよう指示された。(40代・知的)
- 会社の本部から、職場の上司宛に依頼があり、人員確保の為、アルバイト全員に社員にならないか声かけをして欲しいと依頼があった。が障害を理由に私の気持ちを聞かず、本社にならないと報告しておいたからね。と言われた。(50代・精神)
- 差別を感じたこと (この1年ではないですが、ずっと心にのこっていること) 「うつは甘え」「うつ病に見えない」「本当にうつなの？」など (元職場・知人) ウソをついてるんじゃないかという発言がときどきあって、つらい。(30代・身体, 精神)
- 一般雇用で、妊娠つわり症状にて会社を休職していたところ、体調が落ちつき復職希望したら、精神疾患、障がいを理由に“労務提供できない”者として欠勤命令をもらい、そのまま解雇された (先月8月付)。代理人をたて、訴訟考え中。(30代・身体)
- SNS 上で精神障害のある人を結婚相手として選ばない方がよいという意見を目にした。職場で、精神障害のある人を雇うのはこちら (健常者側) が色々フォローしなければならぬのが手間だから止めて欲しいというような旨の発言を見聞きした。(30代・精神)
- 職場復帰および仕事への意欲があっても、職場で車椅子通勤が認められない。リモート勤務が認められない。歩けるようになるまで休職に追い込まれ、金銭的に苦労した。職場復帰後、物理的な重労働への配慮は感じられない。職場内の無視が続いている (1名) (50代・身体)

- おとし、障害者雇用で働いたが、体調を崩し、入院もして、両親から兄弟へ「働くことは難しいので、将来は生活保護を受けて生活させる」と伝えたところ、兄弟から「本人（私）を甘やかしているからそういうネガティブなことを言うんだろ」と怒鳴られた。（40代・身体）
- 愛の手帳をもたないでいた時には、職場でも、何でわからないの？やる気ないなど、厳しく求められたり、出来ない、注意を何度しても改善しない、言動のさいも、嫌われかけ、冷たく厳しくわかってもらえない事があり、頑張っても認めてもらえなかった。（40代・精神）
- 障害者雇用で一般就労の人と同等かそれ以上の成果を出し、評価も得ているにも関わらず、他の健常者の方が良い待遇になることはあっても、給与や勤務形態などに反映されることはなく、障害者雇用だからという理由により低く賃金が抑えられていることに差別を感じます。（40代・身体）
- ・買い物中に聞こえる声で、税金で生活できるって良いね。だからこんなに買えるんだ（←見知らぬ買物客）。労災も良い所で働いてた方は、たくさん貰えて良いよね。会社から示談金は出たの？（遠まわし的な言い方）ケアマネ訪問リハ（※だいたい前のこと大きな事にしたくない）（50代・精神）
- 絶対話しかけてこない、目が合っても見えていない感じで通りすぎる職場の方がいます。差別ではなく区別しているのだと思います。話しても面倒、又は関わることはしないように。（ひどい事をされている訳ではないけどもきびしく思います）でも人間性がわかってよかったかも。（50代・精神）
- 令和6年1/18〇〇主任、15:10 就労A型戻りたいと思う？私は、A型パン工房で、発作起こし火傷してB型来た。2014年、個別面談後、何か言いたい事、あるならノートに書けと渡された 15:30 契約なのにおやつ食べないなら 15:00 で、帰れと邪魔扱いした。母から理事長に連絡した。（50代・難病）
- ①前職の職場で、体調が良い時（前日よく眠れた為）、声がかきかきしているのが精神が「上っている」と勝手に判断された、多少の気分の上下は誰にもあると思います。②引っこし先を探している時、障がいの有無を聞かれたり、「精神」の障がいがあると伝えると大家から断られる事が多々ある。残念です。（50代・精神）
- 職場の方に理解があるからと言われたが、個別の部屋に呼ばれて、「貴方はそういう特性があるのね、」と言われたり、コミュ障があるのでコミュニケーションが苦手だと話したら、一緒に、4月に入社した同期の健常者の人と比べられ、「あの子は本当に仕事もできて話しやすく可愛いわよね」と言われた。（20歳未満・身体）
- 10年位前に、勤めた会社で、障害者雇用は残業させてませんと、人事に報じて、勝手にパソコンで勤怠を打たれ、18時上がりなのに、21時～23時までサービス残業させられた。人事は知らなくて、帰らせないように集団リンチをほのめかせて、センターや店長とかにつげ口するんだろ？と口止めまでさせられた。（50代・精神）
- 引越のため不動産会社に障害年金を収入として伝えたら、年金の種類と障害の内容を聞かれた。「障害の内容は個人情報なので控えます」と返すと、「理由は控えるが申込は受け付けられない」と言われた。また、保証会社の審査でも、「障害は精神か身体どちらですか」と聞かれた。審査に影響しなければ聞かなくてもいいので、障害の内容によって家を貸すかどうかを決定する行為であり、差別だと感じた。（20代・知的, 精神）
- 職場でうつ病だからこう、と一方的に決めつけられ、望んでもいない配慮を押し付けられた(朝の短時間のミーティングを自席で行わず、狭い密室の会議室を予約使うように指示された/障害の開示について希望を訊かれず一方的に秘匿され、腫れ物扱いをされているようで反って辛かった/障害者雇用として雇われることが決まっていた際に要求していた事項、例えば一定間隔での休憩を取ることやイヤホンの使用など、が実際には非常に行うことが難しかった) (20代・精神)
- 現在は障害者雇用のアルバイトとして就業中なのですが、5年満期を迎えるタイミングで社員に切り替えて頂くことは可能か上司から社長に確認して頂いたところ、「障害者雇用での社員制度を整えていないため今後検討はしていくが現段階では難しい。特に精神障害の場合は身体障害よりも完治する可能性があるため完治した後の対応も考える必要があるのですぐには決断できない」と言われました。現在の職場では3年近く真面目に働いていたためこの意見にはショックを受けました。（30代・精神）
- 就業先で人事などが近く、障害者（主に精神）の応募を「障害者は隠してもわかる」「仕事を任せられない」などおっぴらに話しています。私はクローズで勤務しているが、バレていて仕事に文句を言われているのかもしれないと不安に思っています。また、そういう考え方を表明してしまえるような社会であること。障害があってもできないこと以外はできるんだという意見も広まっていけばいいのになあとと思います。三鷹市ではないですが、武蔵野市の社会福祉法人で、市役所から出向している職員や社会福祉法人の職員が、障害者雇用サポート(?)の人を高齢者や軽度障害より丁重に扱っていること。全ての職寄せを丸投げしている、と感じること。障害者支援を受けている人には障害を慮って業務を軽くしているのに、支援を受けていない人には全く業務の調整をしてくれないし、むしろ軽度でも難しいことがあると何度言っても尻拭いをさせられる。障害への配慮を他人に求める(のに自分では何もしない)のは本末転倒だと思う。差別意識が広まりそうだなあと思っている。（30代・精神）

## ■医療・受診

- 病院での対応（60代・精神）
- 長谷川病院相談支援事業所から差別依頼対応（50代・知的）
- 難病医療費醸成を受給しているが、今はおかげさまで健やかに暮らせているので問題なし（50代・身体）
- 病院の先生の診察の際、精神的障害があるため話が通じないというような対応を受けること。（50代・身体）
- 病院や調剤薬局でタメ口をきかれ、赤ちゃんのように話しかけられた。普通にですます調で話してほしい。（50代・知的）
- 警察がすぐ疑う（万引きのうたがい等） 小さな病院へ行っても相手にされない（家族と一緒にきて等）（40代・精神）
- 病気で病院に行った時、1日入院したほうが良いと言われたが精神病のことを告げると通院に切り替えられた。（50代・身体）

## A 障がい者調査 9. 差別や権利擁護のことについて

- 2017年になるが、バイトの面接で、精神病であるかどうかの問いがアンケートにあって、ぞっとした。バイト先の上司に病院で会いそうになった。(40代・不明)
- 歯科治療の際入所施設のかかりつけ医師から他の医者にと言われ、とまどった。地域には(三鷹市)重度の人の歯科がなく、結局もとの機関でお世話となることに(60代・精神)
- 発達障害など無い、そもそも甘えだしそれなら皆おかしいことになる我が家は子供も発達障害を持っているので病院に行ったら薬を飲ませてると伝えてしまった為、可哀想、昔からそういう人は沢山いたと言われる根性論を押し付けてくる(30代・いずれも持っていない)
- 新しく通院を始めた病院の担当医の対応。初診で「この病院では、てんかんによる二次障害の精神疾患しか診られない」と云われたがその病院を教えてくれた方(娘さんがてんかんで通院中)は、別の担当医で、精神疾患も診ているとのこと。保護者の有無で対応が違うのだと思った。(50代・身体,知的)
- 差別の定義があいまいなため、難しいが、いつも、三鷹市役所の福祉科の窓口の人は、難病や、障害者の人へ、偏見を持っていると対応を見て感じる。私は、医療者で20年病院で様々な方と接しているが、障害や、難病者を本当に知らず、窓口対応のみの理解で、気がつかないうちに言動や対応から、無知からくる差別をしていることに気づいていないといち医療者として感じている。(40代・身体)
- 差別とは言えないかもしれないが、かかりつけの病院の先生が別の病院へ異動したのでついていったら、行った先の病院がとても変な対応で、必要のないお金を取られようとした。ただ単に間違えただけかもしれないが……。それに、病院に関わらず、本当は世の中には、お金は存在しないのではないかと思うが、なぜ私だけがいつまでもお金のやりくりを頭を悩ませないといけないのか、と思うとやりきれない思いになる。(50代・精神)

### ■福祉・支援機関

- 通所施設でつねられた跡が年に何度かあった(20代・精神)
- 通所している施設で、いつも個別(強度行動障がいの為)入所してから3年以上たつが週2回だけ(20代・身体)
- 障害福祉課に電話したとき(当時の牟礼担当)の冷めたい対応に障害者とまったく寄りそっていないと怒りをおぼえた。(60代・身体,知的)
- 該当期間でないが、介護保険利用しデイサービスゆめふるに通所時、私だけ40代で来ないで欲しいとおもっていたスタッフがすごい心理的と肉体的嫌がらせしてきました。(50代・精神)
- 基本的に施設を利用しなければ生きていけない事が差別の根本だと感じます。私の周囲の人達は障害をオープンにした場合に対応がガラッと変わります。私には友達がいません。(50代・精神)
- 市役所職員に電話で相談してもはっきりとした答えやアドバイスを受けられなかった事が2回有り正直三鷹市役所は、他市とくらべて福祉に関して遅れがあるので気持ち悪いしもう慣れた。(50代・精神)
- 家族 入院しても知らん顔 市役所の障害支援担当者 「そんなこともわからないのか。こっちだって知らないよ」「12時から13時は対応しないから」国民健康保険担当者 「そんなこともわからないのか。常識だろ」(60代・身体,知的)
- 差別ではないが、北野ハピネスセンターに通所しているがそこを運営している社会福祉法人のむつき会のスタッフにすごくおこる人がいる。その施設長に注意してもらいたくとも、スタッフファーストなので全く無関心何にも注意してくれず場所を変えようか考えてくれないので困っている(40代・精神)
- 見た目ではわからない障がいなのにヘルパーさんが、ヘルパー時間をもっと少なくていいはずだと計画相談の人に言い、計画相談の人と三鷹市障がい者支援課の〇〇さんが勝手に私のヘルパー時間を今までの半分にすると決めて私に言いに来て時間をへらした事。都に相談してると言ったら戻してくれたが、困りました。(50代・身体,精神)
- 無意識に表れる差別的な態度(上から目線の「支援」)本人が助けを求めているにもかかわらず、「支援が必要だろう」と一方的に決めつけて行動することで、本人の意思や尊厳が軽視され、結果的に社会的な立場を低く見られてしまうことがある。支援の提供は、本人の意思確認が不可欠です。一方的な「善意」による支援は、相手の尊厳や主体性を損なう可能性があります。まずは、支援の必要性や希望について、本人の意向を丁寧に確認することが重要です。(50代・身体)
- この1年間(令和6年9月~令和7年8月)というだけでなく、むしろ令和5年9月~令和6年8月の期間の方が特に差別的な扱いを受けた。①差別を感じた対応〇夫の母の認知症介護問題で小多機の施設のケアマネ(〇〇さん)と私共夫婦との間で意見の食い違いが生じてそれに関してこちらから質問をしたにもかかわらず、きちんとした対応が得られずに、その件について面談の場をケアマネ〇〇さんや三鷹市役所の高齢者支援課の〇〇さんと〇〇さん、西部地域包括の〇〇さん等の方々も同席の上で何回か設けて頂きましたが、〇〇さんに事前に中立の立場としての対応をお願いしたにもかかわらず、中立の立場でなくケアマネ〇〇さんの方を一方的に擁護しまくりで、〇〇さん、〇〇さん、〇〇さん等に、私も夫も夫婦揃って発達障害者である旨を事前に伝えており知っているにもかかわらず、発達障害者に対する対応としては終始無理解かつ不適切な対応を取っていた事に対して、強い不快感、強い憤りを感じ、その後、高齢者支援課の〇〇さん達が私共夫婦の意向を完全に無視した状態のまま市長申立てによる成年後見人制度を母に対し導入した事、また其れ等に関し、成年後見人制度の制度説明を市役所側として一切行わなかった事、発達障害者である私共夫婦に説明をしてもどうせ理解が難しいであろうと勝手に決め付けて成年後見人制度の詳細についての説明を怠った事、発達障害を理由として説明を怠った事自体大きな差別だ！(50代・身体)

## ② 気遣いや思いやりを感じた対応（どのような場面で、誰から）

## ■日常生活

- ・近所でのあいさつ（50代・精神）
- ・市役所の職員さんの対応（60代・難病）
- ・ふつうにしてもらったとき。（20代・難病）
- ・エレベーターで待ってくれる（50代・知的）
- ・困ってる時の他人からの声掛け（50代・精神）
- ・逆に席をゆずって頂いたりする。（50代・精神）
- ・休む時に理由を詮索されなかった事（30代・精神）
- ・悩んでいることを、相談してくれた（20代・精神）
- ・まともに働けないことを揶揄された（20代・身体）
- ・しんせつに声をかけてもらったとき（20代・身体）
- ・苦手な事を配慮してもらえた（30代・身体, 知的）
- ・いろんな場面、ゆっくり話してくれる（40代・精神）
- ・グループホームの管理者の声かけです（50代・知的）
- ・市役所の窓口担当者の態度が悪すぎる（40代・難病）
- ・ヘルプマークに反応して席をゆずられた（60代・難病）
- ・気にせず、普段通りでよいという声かけ（30代・難病）
- ・マスクをゆずってもらったことがある。（60代・精神）
- ・買い物等で順番を譲っていただいたこと。（40代・難病）
- ・病名を誰にも話していないのでないです。（40代・精神）
- ・自転車にのっていて、地下道でゆずり合う時（50代・精神）
- ・車イスから落下した時に助けていただいた。（50代・精神）
- ・会話がおだやかで、高圧的ではない。（40代・身体, 精神）
- ・仕事が少なくなった。電話がこなくなった。（50代・身体）
- ・自分の症状を隠しているので特に感じない。（50代・精神）
- ・コンビニの店員。とれない物をとってくれた。（60代・精神）
- ・外出時「疲れてない？」と友人がきいてくれた（50代・精神）
- ・いそがしいとむずかしい人間いっぱい出ます。（50代・精神）
- ・訪問看護の方が親身になって話を聞いてくれた。（40代・知的）
- ・通院している受付の方（カウンセラー）が親切。（40代・身体, 精神）
- ・当たり前なことを当たり前にしてくださる方たち。（50代・身体）
- ・作業所のスタッフの方にすごく助けていただいた。（50代・精神）
- ・車椅子で転んだ時、通りがかりの人が助けてくれた。（60代・身体）
- ・外に出られないのでわからない、そのような場面はない（40代・知的）
- ・通院時、具合の悪い時、お声をかけていただいた。など（60代・精神）
- ・マンションの方が積極的にあいさつをさせていただきます。（20代・精神）
- ・コンビニなどの買物で店員さんのアシストに助けられる。（40代・難病）
- ・作業所で作業をしている時、職員から思いやりを感じた。（50代・精神）
- ・「困ったときはいつでも声かけてください」と言われたとき（50代・精神）
- ・体調が悪くなることをそういう人もいと伝えてくれたこと（30代・精神）
- ・飲食店等で、薬を飲むための常温の水を、用意してくれた。（50代・身体）
- ・忘れ易いから気付かせてくれるように声をかけてもらった。（40代・精神）
- ・近所の人がいいろいろ気にかけてくれる。コンビニの店員さん（40代・知的）
- ・スーパーの買い物客、店員にエレベーターのゆずり合い（40代・精神）
- ・見た目でわかりづらい障がいなので逆にづらい事が多いです。（50代・精神）
- ・公平に対等に接してくれたこと 駅員（慣れているからかな）（50代・身体）
- ・役所での申し訳する時にとっても丁寧に説明してもらえた。（30代・知的, 精神）
- ・友人からは自分の気分の起伏について、寛大な対応を受けている（30代・精神）
- ・私の前では言わないが、結局上に報告から、問題視されていた。（60代・精神）

## A 障がい者調査 9. 差別や権利擁護のことについて

- リサイクルショップで買い物してくれたり、提供品を頂いた時。(50代・難病)
- 歩道で前から来た人に道を避けて貰い、ゆっくりしと歩行出来た。(60代・精神)
- 家事が時間通りにできないと、夫が手伝ってくれるが過干渉です。(50代・身体)
- 行業所の通所時間が短くてもスタッフにやさしくしてもらえた時(40代・精神)
- ちゃんと処方された薬を間違えずに飲んでいるか、確認してくれた。(50代・精神)
- 点字ブロックに挟まって動けない時に助けてくれた通行していた方々(40代・難病)
- チェーン店のカフェで指差しリストを用意してくれて助かったこと。(30代・知的)
- 耳が聞こえないのでまわりの人はメモに書いてくれます。ありがたい(50代・精神)
- ヘルプマークをつけていることから、若い人に席を譲っていただいた。(40代・精神)
- 街中や行政機関などで、気軽に椅子を提供してもらおう機会があったこと(30代・精神)
- どちらも感じたことはありません。可もなく不可もなく言う感じです。(20代・身体)
- 陰ながら配慮してくださった同僚が数人居て、気遣いをしてくださった。(50代・身体)
- 混雑したでん車内、りかいある人は、マークみて、せきゆずってくれる。(20代・難病)
- 作業所のスタッフの方や、優先席にゆずってくれる優しい人がある。(50代・精神, 難病)
- 同じマンションの人に車イスを押していただいた時に気遣いを感じました。(60代・精神)
- 他人にもかかわらず、事態に応じて気づかう人が多いのに感心させられる。(50代・精神)
- ・道で倒れた際、声をかけてくれた。・座れるよう席をゆずってくれる。(50代・身体)
- 床屋さんでなかなかトイレから出られなくても怒らずゆっくり待ってくれた。(20代・難病)
- 実習先のスタッフの人が順序立てて言葉の過不足がない文章で話してくれた時(20代・難病)
- やっぱり会社はとても楽しいです。わからないことはちゃんときます。(50代・身体, 精神)
- 仕事で困ったり、イライラしてる事に気がついてくれて、話を聞いてくれた時(20代・精神)
- 文字起こしアプリを使用しているので その使用方法に合わせて対応して頂ける(50代・身体)
- 家族や友人とのメールや電話で身体のことや生活は大丈夫か気遣ってくれます。(40代・知的)
- 地元の喫茶店のマスターに、購入するコーヒー豆について詳しく教えてもらった。(30代・身体)
- 制度そのものが有難い。私はヘルパーになって恩返ししているつもりです。(50代・知的, 精神)
- 声が出ても何事も無かったように普通にさせていただく時に助かる 若い女性、男性(30代・知的)
- 作業所での作業内容で困らずに済むよう、職員の方々が融通を利かせてくださる。(20代・精神)
- お店で耳がきこえないとわかるとノートを出して、かいてせつめいをしてくれた時(40代・精神)
- 障害を持っているからという理由で気遣いや思いやりを感じたことはございません。(40代・身体)
- 誰にも話してないから差別されていない。しかし理解されにくいから話していない。(50代・身体)
- 双極症のうつ状態で家事が手につかないとき、同居する家族が代行してくれたこと。(20代・精神)
- 友人 暗い場所や段差が多い場所で介助してくれる 眼の前で物を渡してくれる(50代・身体, 知的)
- 同じような障害を持っている知り合いが親身になってさまざまな制度を教えてくれたこと(20代・知的)
- 作業所までの道のりでカバンから大事な物を落としてしまった時に警察に届けてくれた事(30代・精神)
- 時短きんむをすすめてもらった。朝おきられず仕事に行けない日がつづいた時に理事長から(20代・知的)
- 具体的には書きづらいですが、間接的な気遣い・サプライズ優しさを感じる瞬間が多いです。(30代・知的)
- 転ぶことが頻回にあるが、近くの方が声かけや起き上がりに助けて下さる事があった。(60代・身体, 精神)
- 障害年金申請時社労士がとても力になってくれ二級で認定された、自力では出来なかったです。(50代・精神)
- 体調がすぐれず疲れている時など家の人達が家事を代わってくれる。優しい声、言葉がけ(60代・身体, 難病)
- 通院の道中などに、困っている事は無いか温かい声をかけて下さる方が多く、感謝しています。(50代・知的)
- メンタル的に不調だった時に、パートナーや友人、家族が程よい距離感で見守ってくれたこと。(50代・知的)
- 精神面の不調をXで吐き出していたら、それを見たSNS上の友達がメッセージで慰めてくれた。(20代・精神)
- 発達障害を打ち明けても今まで通り接してくれたり、嫌悪感を出さないでくれた(30代・いずれも持っていない)
- 気遣いを感じた対応… 気遣いや思いやりを感じた対応は特になかった、または覚えていない。(20代・精神)
- 障害や病気の事を知ってる人で、労作的に私の体力に合わせた配慮や気遣いをしてくれる人もいる。(50代・身体)
- 買い物をしている時にカバンから物が落ちて散らばってしまった時、周りの人が拾ってくれました。(20代・知的)
- 友達と会う日程をリスケしてもらった。症状のことを理解してくれているので快く受け入れてくれた。(20代・精神)
- 公共の乗物で席をゆずっていただいたり、手伝えることはないかと声をかけてもらうことがある。(50代・身体, 難病)
- 症状悪化、内服薬増量、入院検討中等を上司に報告した際に優しく、理解して頂きお休みを下さった。(40代・知的)
- ↑①の場にいた他の人(1人)が、私の意見聞かないのかを指摘くださった人がいたこと(50代・身体, 知的, 精神)

- 車椅子に乗っている時、後ろからお姉さんが「どこまでいきますか?」と聞いてくれて、押してくれた。(50代・知的)
- 車椅子で移動が殆どなので 段差やドアの明け閉めなど ちょっと大変な時に手伝ってもらえたこと(60代・身体,精神)
- 定期検診で遅くなり駅まで暗く見えにくい時に駅まで手を引いて下さった人がいました。大抵女性でした。(50代・難病)
- 訪問看護の方の優しさ、思いやりに日々助けられております。精神的に救われております。ありがたいです。(60代・精神)
- 市役所の保健師さんが親切に対応してくださった事。入寮に間に合う様に受給者証を発行してくれた事です。(20代・知的)
- 派遣での登録の時、対応していただいた方がよく言ってくれましたね、辛いことでしょうかと言っていただけた事(30代・身体)
- 私が話を忘れてたとしても何回も同じ話をしてくれたりいろんなところに忘れ物をしてる時に教えてくれます。(30代・精神)
- 聞こえないので放送がわからない事を伝えたら、近くにいた女性が手話を使ってくれた。又は筆談してくれた。(50代・精神)
- 健常者とのまぜこぜサークルで難病障害があっても、やりたいことを周りが一緒にできる形を色々考えてくれたこと。(20代・身体)
- 通院での治療日に仕事に戻った際に、上司から疲れた時は無理せず休み休み仕事をしてくださいと、上司から言われた時。(50代・難病)
- さいきん、小学校の子に5年、ものがおとしたに気づかず、ひろってくれて、こえをかけてくれた事にうれしく思いました。(60代・精神)
- 余り人と接点を取れないので前出の質問同様何事ありません。むしろその方がご迷惑を掛けずによろしいかとも感じています。(50代・精神)
- 友人や店員さんが、文字が見えないのを察して読み上げてくれたり、説明してくれたりした。メニューや薬の注意書き、価格など。(50代・精神)
- 友人に「死にたいきもち」といったら、ハグしに家にきてくれた。恋人が背中をポンポンして、ねつけるようにしてくれた。(30代・身体,精神)
- 家に来てくれているヘルパーさん。人生で初めてダメな自分を受け入れて生活(主に掃除)を手伝ってくれてお話しも楽しい。(50代・身体,知的)
- 友人に、自分はとても疲れやすいと伝えた。ほとんどの人は軽く流すが、その人は出かける際に気にかけてくれるようになった。(20代・知的,精神)
- ハリ治療に通っていた時に障害者カードとパスモを落として、警察から連絡が来て、ていねいに受け取り方法を教えてもらえたこと(50代・不明)
- 市役所の手続きする時に沢山サポートしていただいた。分からない時が多くて気づかってくれて嬉しかった。これからもふえてほしい。(30代・難病)
- ぬげた服をきずらかった時にきせてもらった(道で、知らない人から)下にあるおちた物をひろってもらった(道で知らない人、またはスーパーで)(40代・知的)
- 顔見知りになった近所の方々が優しくあいさつをしてくれるようになりました。こちらがうまく対応できなくてもお気遣いいただいていると感じます。(20代・精神)
- 悩みや困りごと病気の症状で辛いと感じて精神科訪問看護師に話すと、良いアドバイスしてくれたり、もっと気楽に生きましようとはげましてくれます。(50代・身体)
- インターネットで知り合った、実際に会っていない人から誕生日プレゼントを贈られた事。同じく鬱のインターネット知人に同意や励ましを受けたとき。(40代・難病)
- 外出時 行きずりの人に自分からお願いした親切そうな人 時間に余裕がありそうな人を選んだちょっとしたことで私にしては大いに助かった感謝してる(60代・精神)
- 休みがちになったりすることを見越した上で、一つの仕事に対しての日数を多めに取るようにしてくれたりなどを一つ年上の先輩からしていただいたことがある(20代・難病)
- 自営業をしていますが、ボランティアでお手伝いをして下さる方がいらっしゃいます。三鷹の小中学校も授業の一環としてお店に来てくれるのがうれしいです。(50代・身体)
- 外出時はヘルプマークを付けているので、道で立ち止まったり、駅でまよったりすると声をかけていただけるようになった。視覚障害なのでうれしかった(50代・身体,精神)
- 女性交流室のいわずさんから障害年金手続きするなら手伝ってくれると言ってきて、心強く感じました。実際は先生に対象外言われ手続きはしませんでした。(40代・身体,精神)
- ・車イスで道を通行中車が除行して走行してくれる ・スーパーで買いたいものに手が届かない時など取って頂いたり、声がけていただいた(周りのお客さんに)(50代・身体,精神)
- 同じマンションの方からゴミ捨ての時外階段を降りるのが大変そうに見えたからゴミ袋を代わりに持って行ってくれました。5人の方が優しくしてくれました。うれしかったです。(50代・身体)
- エレベーターの順番をゆずって頂いたり、通りにくい通路を通りやすくしてくれたり、高い所のものを取ってくれたり、外出した時も、いろんな人に助けてもらい、優しくしてもらってる。(40代・身体)

## A 障がい者調査 9. 差別や権利擁護のことについて

- ・関わってくださっている市役所のワーカーさんたちが、とても優しく、色々と助けてくださいました。入院中も、たくさん迷惑をかけてしまいましたが、とても親身になってくださいました。(40代・知的)
- ・双極性障害にあるつらさやかっとうに私の家族はいつも、理解しようと、努力し、一番良い行動を見つけ、私にできない時、つらい時、その行動をしてくれます。家の絆に思いやりをかんじました。(20代・精神)
- ・世の中で起こっている出来事は、全てやらせに見えてしまうのはやまやまだが、とは言え、優しくされたり、共感してもらえた料するとそれはそれで嬉しい。交流のある全ての人から、全ての場面で。(50代・精神)
- ・近所の農家さんで果物などの収穫の手伝い・箱作り、ラベルはりなど手伝わせてもらい出来具合で「助かった」と言われいい顔をしている・床屋さんで気に入った人にカットしてもらい嬉しそうです。(50代・身体)
- ・電動車椅子で移動中、通りかかった方が道端に寄って下さったり、お店で買い物中も店員さんが届かないところの商品を取って下さったり、普段はみなさんからの優しい気持ちをいただいて外に出られております。(30代・難病)
- ・この一年に限らず、私は寒い時期に発作を多発する。其れでも、買い物等で寒くても外出しなければならない時は有り、外出時に発作を起こして倒れている時に声を掛けて下さる方々には本当に有り難く思っている。(60代・精神)
- ・新しい生活がスタートし、不安なことが多かったですが、一つ一つ丁寧にご対応いただき、いろんなことを克服している。手がかかる子ですが、皆さんに優しく介助していただき、ありがたいと感じています。(20歳未満・精神)
- ・ガイドヘルパーさんと外出した時、お昼ごはんを買うコンビニ(7-11)では、いつも親切にしてもらっています。→例、いつも買うおにぎりを取っておいてくれる。オーナーさんの息子さんが発達障害があるそうです。(30代・身体)
- ・職場で、写真付きのマニュアルを作成していただいた時。仕事内容がいつもより多い場合、メモ書きを残していただいた時。簡単な言葉を使って、説明していただいた時。笑顔で柔らかい言葉付いで会話をしていただく時。(20代・身体)
- ・現在、ヘルパーさん、訪問看護師さん、通所の職員さんなどにお世話になっています。どのような場面というよりは日常的に気遣いや思いやりを感じて過ごしています。息子(本人)のおかげで良い出会いがあったと感謝しています。(30代・精神)
- ・スーパーマーケットの外に花が売っていて、その際におばあちゃんから声を掛けられ、「こっちと、こっちの花。どっちが好いかしらねえ?」と問われ、一緒に選んだ時に自然とお互いに笑顔で会話が出来たことがとても嬉しかったです。(50代・難病)
- ・ちゃんと愛の手帳を持参していると自分から話したら、全面的性格、やらかしたり、言動でも、しっかり理解してくれて、わからない事、だめな事や全て、注意をしてくれたり、わかってくれてるので、わかるように話をしてくれる。なので、付き合いが楽になった。(40代・精神)
- ・作業所まで歩いているが、道中にあるお店の方々が朝「おはよう」と声かけて下さったり、帰りも店の前を通るか気にして見守ってくださいます。行きつけの床屋さんも「一人で来させて良いです」とおっしゃって下さりお支払いもサポートしながらさせてくれます。(20代・身体)
- ・Some people showed kindness. Help me when I drop my things on the road. And always offered chair for me to set. When I was in public transportation. (50代・難病)
- ・プライベートの事で①フラッシュバックで恐怖感がでたり、②情緒不安定になった時に、勤務先の上司に事情を話したところ以下のような対応をしてもらった。①勤務時間を過ぎてからも、人のいるオフィス内や休憩室で、家族が帰宅する時間まで過ごしてから帰宅しても構わないと言われた。②事情不安定な状態を落ち着かせる為に休みをとっても構わないと言われた。(50代・身体)

### ■公共交通

- ・電車で席を譲ってもらう(20代・精神)
- ・バスの席を譲ってもらった。(50代・精神)
- ・電車で席を譲られた。(40代・身体、難病)
- ・交通機関で席をゆずってもらった(50代・難病)
- ・電車の優先席で譲ってもらえたこと(30代・精神)
- ・バスの中で座席をゆずってくれた。(60代・身体)
- ・公共交通機関で席を譲ってもらった(50代・精神)
- ・バスの席を譲ってもらえたことです。(40代・身体)
- ・交通機関で座席を譲る声をかけられた(40代・精神)
- ・バスで席を譲ってもらえたうれしかった(60代・精神)
- ・道のゆずりあい バスの席のゆずりあい(20代・身体)
- ・電車に乗った際に席を譲ってもらえたこと(40代・身体)
- ・公共交通機関の使用時に席を譲ってもらえた(40代・身体)
- ・バスで知らない人にせきをゆずってもらった(50代・精神)
- ・混んでいるバスの中で、席を譲ってもらった事(60代・精神)
- ・交通機関で、知らない人から、席を譲ってもらった(50代・精神)
- ・ヘルプホルダーを見てバスの席をゆずってもらった(50代・精神)
- ・バスの運転車さんの手帳を見せた時の対応(30代・精神)

- 電車などでヘルプマークを見て席を譲って頂けたこと。(50代・精神)
- バスに乗った時、老人の人がせきをゆずってくれた(60代・身体,精神)
- 公共交通機関で健常者の方から席を譲って頂けたこと。(60代・身体,精神)
- 高齢者が電車の中で立っているのに見ぬふりをする人が多い(50代・身体,知的)
- 電車でヘルプマークをつけていたために席をゆずってくれた人がいた(60代・不明)
- ヘルプマークを付けていて、バスや電車で席をゆずってもらいました(60代・精神)
- 電車内で知らない方に座席を譲ってもらうことがたびたびありました。(30代・精神)
- 電車乗った際、私のヘルプマークを見て優先席を譲ってくださったこと。(30代・精神)
- 電車でリュックにヘルプマークをさげていたら席をゆずってもらったこと。(50代・身体)
- 体調の悪い時バスの中で席をゆずってもらった。30代くらいの男性から。(50代・精神)
- 音が苦手なバスの中で耳をふさいでいたら、座っていた人が席を譲ってくれた。(30代・身体)
- ヘルプカードを付けて電車に乗った際、席を譲ってもらった。(50代・いずれも持っていない)
- ヘルプマークに気づき電車やバスの席を譲ってもらった。特に母世代の方から。(30代・知的)
- 電車内で女性の方からヘルプマークを見て席をゆずられた事が何度かある。(60代・知的,精神)
- ・電車やバスで席を譲っていただいた・エスカレーターの列で割り込ませていただいた(50代・精神)
- 移動時歩行器を使うようになり、バスなどで席を譲ってもらい、とても有難く思います。(50代・精神)
- バスの中ですぐ席をゆずってくれる人がたまにいる。☆カードをカバンに付けているから(50代・知的)
- 通所施設のバス停から帰るとき、近所の方々から、挨拶や声を掛けてくださったりします。(20代・精神)
- 電車やバスで席をゆずってもらったり、歩行に際して道をゆずってもらうことが多々あった。(60代・知的)
- 小田急バスの運転手さん。優しい方が多い。気を付けて、ゆっくり、つかまって、などの声掛け。(50代・身体)
- うつ状態で、通院のために電車に乗っていたところ、私のヘルプマークを見た人が席を譲ってくれた。(40代・身体)
- 小田急バス運転手さんは殆んど、手帳をみせ乗車の際手元で優しく指示下さる事で優しさを感じます。(50代・精神)
- 時々、外出で電車を使う際にヘルプマークを見て優先席に座った方や普通席の方が席を譲ってくださった。(30代・精神)
- バスに犬を連れて乗る事が多く、犬がとても重いので、席を譲ってくださる方が割と多くて助かっています。(50代・精神)
- ・バス待ちの人からバスに乗るとき ・勤務先で仕事も完ぺきに出来ないのに、皆がかかわりをもって応援してくれる(40代・精神)
- 割引制度を受ける際、小田急バスの運転手さまの対応・三鷹駅のJR東日本の緑の窓口の職員さまの対応に、気遣いを感じています(60代・知的)
- 電車に乗った時に、身体障害者なのでどなたか席をゆずっていただけませんか？と言ったらすぐ前の方が席をゆずってくれたこと。(50代・精神)
- 電車に乗っているときや、長時間動かなければならないとき、休憩していいからねと顔咳座ってくださいと気づかっていたいただいた。(20代・身体)
- 都内から離れた所では、公共機関などで、ヘルプマークを付けていることで、バスの席を譲っていただけたり気遣っていただけましたこと。(30代・知的)
- 電車やバスで席を譲ってもらったり、(知らない方からも)声をかけてもらった時、階段しかない施設で代わりに用事をしてもらった時など。(40代・精神)
- ヘルプマークを付けている人同志は、互いに思いやりを感じる。電車内で席をゆずってくれた。手帳を見せるよりヘルプマークは役立つと感じた(60代・身体)
- 精神障害のほかに身体的障害もあるのでヘルプマークをつけている 電車でヘルプマークを見た方から席を譲っていただいたときにはとてもうれしく思います(60代・身体)
- 電車で杖を持って立っていたとき、電車内で親切な女性の方にここに座っていいよと促していただきました。空席が人の近くで行きづらかったので助かりました。(20代・知的)
- 電車が緊急停止の際に、アナウンスが聴き取れないため、スマホアプリで文字を読んでいたら、周囲の方々が気がついて自身のスマホに文字入力をして画面を見せてくれたこと。(60代・難病)
- 人と関わるのが好きなので、朝送迎車を家の前に待っている時、又バス停からの帰宅時に近所の方が声を掛けてくれる。観光などで訪れた場所でも、スタッフの方が、普通に対応してくれる。(20代・身体)
- ①外出時に利用しているタクシーの乗り降りの時にサポートしてくれたり、「急がなくてゆっくりでいいですよ」と声を掛けてくれた事(タクシー運転手さんから) ②ホームヘルパーさんのテキパキとしたサポートや心温まる会話(60代・精神)
- バスの中で座わる所がなくて立っていて私がふらついてたら、前のシートに座った人がせきを譲ってくれました。買い物かえりの家のカギをおとして気づかずに歩いてたら、後ろを歩いた人が拾って渡してくれました。(50代・身体)

## A 障がい者調査 9. 差別や権利擁護のことについて

- ・バスや電車などで率先して席をゆずり、荷物も持ってくれる。・いつも行く店の店員の方が、商品を率先して取ってくれ、まとめてくれる。・友人が時々失語で言葉につまると、こういうこと？と聞く、又は言葉が出るまで待ってくれる (50代・精神)
- ・障がい年金がもらえること (お金に困っているの) で、なおさらありがたいです。バスが半額になると知ったとき。作業所の方が、とても思いやりをもって接して下さるとき。ヘルプが必要なことを知らせるマーク (ストラップ?) があること。 (20代・精神)
- ・電車を利用する際、荷物にヘルプマークを付けているのに気づいてくださった方に、席を譲っていただきました。電車内や人が多い場所などでは特に、ヘルプマークを付けていても目に留めていただけないことが多いので、とてもありがたかったです。 (20代・精神)
- ・外見では障がいかわからないのでなかなか他人からの気遣いを感じることは少ないですが、お友達や家族からは、電車・バス等優先的に座らせてもらっています。歩く速度も私に合わせてくれたりもします。最近ヘルプマークというものがあることを知りました。利用させてもらおうかと考えています。 (60代・精神)
- ・電車に乗っていた時に、優先席を譲っていただき、手術後で立っているのもやっとだったのでありがたかったです。でも、若い人たちはスマホを見ているため気づきにくく、また困っている人の気持ちが分からないのではと感じた。障害の知人とも話していたが、学校、義務教育期間中に教育の一環として教えたり体験できる場面があるといい。海外などでは当たり前ハンディキャップの人や高齢者、子育て世代には優先的に配慮するのに、日本は意識が遅れていると常々感じる。 (50代・知的)
- ・普段、縦3cmの小さなヘルプマークをバッグにつけています。私の障害は一見、健常者と変わりません。服装はいわゆるお年寄り風ではなく、黒を基調としたエスニックテイストのものです。少し混んでいる電車の中で立っていた時に、座っていた小学生の女の子がヘルプマークを見たでしょう、立ち上がってためらいがちに「座ってください」と声をかけて下さいました。その時は立っていても大丈夫な体調だったのですが、勇気をもって声をかけて下さったお気持ちがとても嬉しく、ありがたく座らせて頂きました。 (60代・身体, 知的, 精神)
- ・①就労支援センターの職員さんから自身が週5日フルタイムで働けるようになった頃から あえてアドバイスを受けることがなかった時 (見守っていてくださると感じた時)。②最近、ヘルプマークを携行している方が増えたと感じていますが、自身の選択 (携行しない) を尊重してくれた時。③旅行で高速バスに乗車した際、障がい者手帳を見せたら特別に乗務員の方が 座席リクライニングが大きく倒れる (後ろに乗車している人がいない) 席を用意して下さった時、声のかけづらさに配慮して下さったのだと思い、感謝しております。 (40代・身体)
- ・スーパーで買い物しているとき車椅子では届かない場所の物を見ていたら本当に稀にですが (人生で2回だけ) 通りかかったお客さんが、取りましょうか? って声をかけてくれました!!! たまに、良いバスの運転手さんがいて、乗客にお小言を言われた時にあんな人の事は気にせずまた何時でも利用して下さい、と言ってくれた時は、涙溢れてしまいました。たまに、良いバスの運転手さんだと笑顔でスロープとかやってくれ降りた後もありがとうございました! という私に手を振ってくれたりそうした運転手に出会うとそれまでの事が心にたまっているので嬉しくて半泣きになります (笑) 17年位前にハワイへ腕にはめて杖つく、クラッチで行った事がありほとんどの人たちが当たり前にさりげなく助けてくれてコストコでは、店員さんが、私サポートするわよ! カート押しにくいでしょ! とずっとついてくれて会計後も2人の店員さんがバス乗場まで来てくれて、運転手さんにこの人〇〇までだつて! 降りる時彼女の荷物おろしてあげてねーよって言いながら、私の荷物、バスの中まで運んでくれた。バスの運転手さんは勿論、降りたところで荷物おろしてくれ、乗客たちも笑顔で見ているか、気にしてなくて音楽聴いていたり。同じハワイで、バスの乗り継ぎをしないとならず、運転手さんに乗り継ぎの停留所教えてもらって到着したら、運転手さんが扉開けず、ここなんだけど、今、そこに日本人観光客が座っちゃってて、座る場所ないから、ルートちょっと違うけど、そのバスに乗り継げる場所まで連れてくよ。ちょうど君しか乗ってないしねよと寄り道してまでおってくれ、その気持ちも嬉しかったけれど何より衝撃だったのは、日本人観光客 (地球の歩き方を読んでいた大学生っぽい男の子達) は、席譲らないというのが、絶対的常識のように思われていたのが、日本人としてとても恥ずかしいと同時に、嫌な思いばかり日本でしてきたので、彼らはたぶん譲らないであろうと思う自分も、なんだか情けなくていろんな感情で押し潰されそうだった。手帳で前から脚結構悪くて、何度も車椅子、リハビリ、の繰り返しで杖や腕にはめるクラッチで海外へ行ったり五年近くイギリスで暮らしたりだったが、たまに座席変わらない若者が、いたりすると、隣に座った年配の人とかが、つついて立たせたり、立っている他の乗客が、座っている元気そうな人に代わるようにしてくれたり。バギーの人が階段にいと、本読んだまま、ずっと前を持ってあげて階段登り、そのまま、Thank Youの声を挙げて本読んだまま立ち去るとか、当たり前なのが、幼少期から大怪我、大病が多い私には驚きとともに、日本人のモラルの低さ、優しさの欠片もない人間性に、嫌気がさした。 (50代・いずれも持っていない)

### ■職場・就労

- ・会社の対応 (20代・精神)
- ・職場で同僚から。 (50代・精神)
- ・職場での理解 (50代・身体, 難病)
- ・職場で、在宅勤務をさせてもらっている (30代・知的)
- ・会社の社員の方からの気遣い、思いやり (50代・知的)
- ・職場の同僚が、体調を常に気にしてくれる (50代・精神)
- ・会社から、移動や就労場所に対しての配慮 (40代・精神)
- ・職場の仲間。重たい物を進んで持ってくれること。 (40代・精神)
- ・職場の担当の女性 仕事中に2人のときに (20歳未満・身体)
- ・職場で私の代わりに読み上げてもらう (半盲なので) (50代・難病)
- ・職場などでのジョブマネージャや同僚からの声かけなど。 (20代・難病)
- ・職場での仕事の量・質について、上司が配慮してくれた。 (40代・身体)

- ・職場で業務量の調整など相談に応じてくれるときがあったとき (40代・身体)
- ・職場で上司が週1回程度面談の時間を設け、話をきいてくれた。(30代・身体)
- ・職場の上司から、在宅勤務を主とすることを認めてもらっている。(60代・精神)
- ・職場で業務軽減や通勤時間短縮になる異動等の配慮していただいた。(50代・身体)
- ・職場の上司に難病であることを打ち明け、その後通院や体調を気遣ってもらえた。(20代・身体)
- ・会社の上司や同僚より、気をつけていただいた。業務上の役割のとり決めなどにて。(60代・知的)
- ・職場で具合が悪くなった時に気にかけてくれて必要であれば早退させてくれた。(20代・知的、精神)
- ・職場の上司が私が困っている時、相談に乗ったり仕事環境を変えてみる?と提案してくれた(20代・難病)
- ・職場の上司から、仕事のやり方やスケジュール管理の方法などを気遣ってもらったこと。(40代・知的、難病)
- ・職場で電話が必要な時に当然のように代わってかけてくださること。(私からお願いしなくても)(50代・精神)
- ・病院や就労移行支援で、悩み事を根気良く聞き出して、解決に向けてどうしたらいいか教えてもらっている。(20代・精神)
- ・会社での勤務時間の見直しがありました。自分がより働きやすいように親身になって考えていただきました。(20代・身体、難病)
- ・元夫が相談に乗ってくれたりいっしょに外出したりして楽しい。職場では高齢の母の事を気づかってくれて助かった(50代・身体)
- ・気遣いを感じない話になります。職場には、自分の精神面の不調について申告していますが、特に配慮はありません。(50代・知的)
- ・職場の人が相談の時間を定期的に取ってくれる。その機会にちょっとしたことも伝えたりすり合わせがしやすく助かっている。(30代・難病)
- ・心療内科(めぐみクリニック)へ週1回予約(金曜日)通院しています。家族生活(実家)と会社生活をお話します。地域への理解もあるような感じもあります。(50代・精神)
- ・障害をオープンにして新たに就職した職場で、業務に慣れるまでの3ヶ月程度、電話対応の業務からは、はずしてもらえた。上司や同僚の理解があり、とても助かった。(40代・精神)
- ・職場の人たちは障害の有無関係なく接してくれるため仕事もしやすく、私が参加できない行事では写真を共有してくれたりどんな様子だったか教えてくれるので常に思いやりを感じながら就業しています。(30代・精神)
- ・アルバイト先の職場がわりと風通し良く、勤務していて困ったことがあれば話を聴いてくれたり、対応してくれる。障害があることは会社に言っていないが、面接の時に、通院などあれば休みを取ることができると言っていた。(30代・身体)
- ・定年退職したスタッフが、言っていたが、独身者は、何考えてるか分からない?心配だと言っていた。首、腰ヘルニアあるのを知っていて去年は、きつい作業させられ1ヶ月休んだ。下手にスタッフ1人付け2人して虐待して来た。今年、3月から主任も変わり2008にじの会、入社、就労A型の時から私を知っている主任が、なりました。なれて来たと思ったら?2年に1回、主任が変わってしまうので、変わらないで、欲しいです。(50代・難病)

## ■医療・受診

- ・病院のスタッフ(50代・難病)
- ・診察時に精神科の医師から(50代・精神)
- ・病院や薬局で良く話を聞いてくれる(50代・難病)
- ・病院でスタッフから気遣われたとき(疲れがひどかった場面)(50代・身体)
- ・医療機関を受診した際、スタッフの方々に障害を配慮していただいた事。(40代・精神)
- ・自立支援医療を受けていることに、福祉サービスからの思いやりを感じます(30代・精神)
- ・病状の事を鑑み病院スタッフの方が気遣っていただき様々な情報をいただき有り難かった(60代・精神)
- ・難病医療費醸成を受給しているが、今はおかげさまで健やかに暮らせているので問題なし(50代・身体)
- ・動悸が寝る前にすることがあり、病院のデイケアのスタッフから脈をとってもらったこと。(40代・身体)
- ・市役所の窓口の手続の時の対応、説明がやさしかった(自立支援医療受給者証の更新の手続)(50代・精神)
- ・病院、薬局、自立支援事業所(昨年通わせていただきました)のスタッフの方々のちょっとした声かけ(40代・知的)
- ・夫は優しくしてくれます。病院の先生も親しみやすく助かっています。割引サービスを受けているカラオケの店員さんも優しい方がいて嬉しいです。(30代・知的)
- ・息子が新しく通院しはじめた病院へ何度も一緒に通ってくれた車で運んでくれた。自立支援で投薬を受けることをすすめてくれた。特に親切に対応して下さいました医療関係の方々には感謝しています。(50代・身体)
- ・歯科医師、病院を探しまわっている時にも通っていた都の口腔Cでお世話になっていた衛生士さんから声かけしていただき東向島まで一年近く通ったが、親の身体の都合で通えなくなってしまった。(60代・精神)
- ・一方で、障がい関係なく、マタニティマークを付けて普段生活しているが、公共機関での様々な方(公務員、民間の方、病院、市民等…)からの気遣いや対応を感じることは多々あり、感謝しています。(30代・身体)
- ・市役所の生活福祉課の方や受付の方や障がい者支援課障がい者相談係の方や障がい者支援課障がい者医療・給付係の方や生活福祉課の隣にある健康を見る、〇〇さんや訪問介護のヘルパーさんや病院のスタッフ(50代・精神)

## A 障がい者調査 9. 差別や権利擁護のことについて

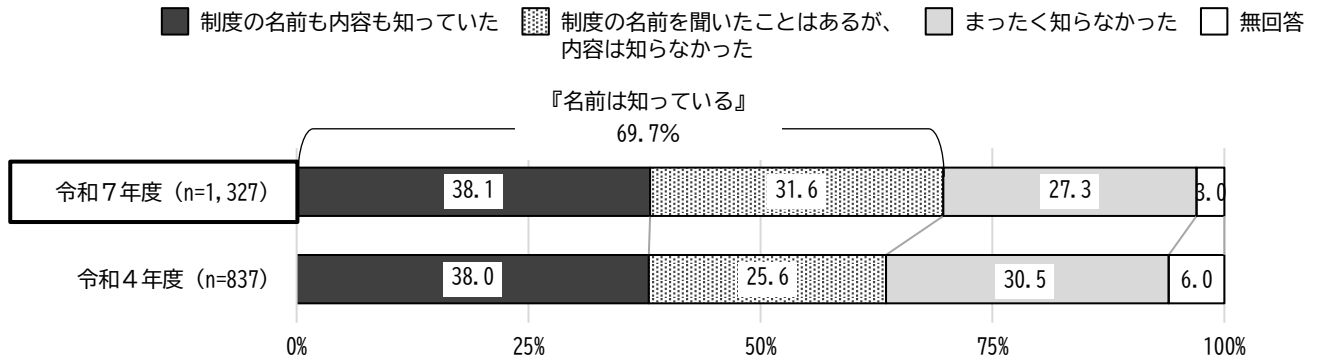
- ケアマネさん、訪問の医師、看護師、薬を届けてくれる薬剤師さん、マッサージさん、車椅子の業者さん、ハンディキャップの方々、たくさんの皆さんに支えられて生活ができています。病院、医師、薬剤師さん、何げない言葉をみなさんからかけていただき、心が軽くなります。こちらのお話をとても良く聴いてくださいます。考えてくださいます。(聞きとって代筆しました、母) (40代・身体)
- 夏休みなど、子どもが長期休み中に自分の通院があった日に、子供の面倒を両親が見ててくれて、その日は病院で注射もあって(注射が苦手なこともあり)父が車で迎えにきてくれました。病院のあと、子供達の習い事の送迎もしてくれて、両親も高齢で仕事もしているのに、フォローしてくれてすごく救われました。私が入院することになった際も、子供のことが心配で、それも両親、兄家族がなんとかするから任せてと言ってくれて不安が和らぎました。(40代・難病)

### ■福祉・支援機関

- 施設のスタッフの配慮 (60代・知的)
- デイサービスでの声掛け (60代・身体)
- 理解のある支援者からの気遣い (40代・精神)
- 事業所の長(施設)のやさしさ (50代・知的)
- 通所施設のスタッフの受け答えのしかた (30代・身体, 難病)
- 市役所の自立支援の更新の時にしんせつに対応してくれた。(50代・身体)
- 生活支援?課の〇〇さんにはたくさんおもいやりをいただいている。(60代・身体, 知的)
- 体調不良の時に通所施設の職員さんやホームの世話人さんに相談や支援をしてもらえた。(50代・精神)
- 長い間、障がい者福祉の現場で利用者支援をし、利用者に好かれた事には感謝していますが周囲の支援員同僚の対応には腹立つ事ばかりでした。(50代・精神)
- 通所施設の職員さん、スタッフさん、知人や友人など、沢山の方に温かく接してもらい様々な面でサポートして頂いて日々有り難さを感じています。(20代・身体, 難病)
- 相談支援センターのスタッフから、「仕事が大変でも自らの特性を把握し、自らができることをこなそうと努力されている。」と励ましの言葉をいただいた。(30代・精神)
- 私が精神的にダウンして問題行動(自分を叩いてしまうなど)を起こしても巣立ち会の支援スタッフから見捨てないで本当に私のためを思っている温かい対応をしてもらっている。(30代・精神)
- ①の一連の中で対応してくれた中で比較的真面な対応をしてくれたのは、高齢者支援課の〇〇さんと西部地域包括の〇〇さんでした、特に西部地域包括の〇〇さんは常に中立性を保ちつつ私共夫婦の言い分に対しても否定する事も無い状況にてきちんと真摯に耳を傾けてくれた。(50代・身体)
- 自立支援の書類を郵送して欲しいと言った時に、こちらに来て手続きをした方がいいと言われた外出できないと言っても、わかって貰えずなんとかお願いしてやっと郵送して貰った書類を取り寄せる時にいつも同じことの繰り返しこちらが下手に立ってお願いを何回もしてやっと手続きをもらえるのが、すごく負担 (50代・知的)
- 上記のようなこともありましたが、、、無事にアパート賃貸物件の審査の承認を得ることができました。快く対応してくれた仲介業者、また物件オーナーの方に出会えたことは幸いです。また、気遣いや思いやり等とは少し違いますが、、、生活保護という制度、また担当してくださってる(くださった)ケースワーカー様に感謝の気持ちです。また、自立支援でデイケアリハビリに通えていること、そちらのスタッフ皆様方の思いやりに感謝しております。(40代・身体)

問26 あなたは成年後見制度について知っていますか。(単一回答)

成年後見制度の『名前は知っている』人について前回調査より増加し約7割となっています。一方、「全く知らなかった」人は他の年代と比べて「20歳未満」で多くなっています。



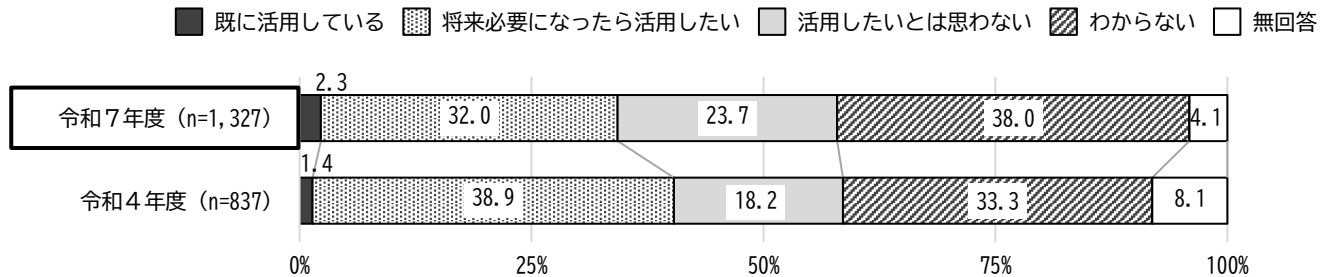
性別・年齢・手帳の種類 (単位：%)

		回答者数	知っている 制度の名前も内容も	名前を聞いたことがあるが 内容は知らない	まったく知らなかった
全体		1,327	38.1	31.6	27.3
性別	男性	651	38.1	30.4	28.6
	女性	642	38.6	32.2	26.2
年齢	20歳未満	24	20.8	25.0	54.2
	20代	179	27.9	29.1	41.3
	30代	226	34.1	31.9	31.4
	40代	253	37.9	33.6	25.3
	50代	435	40.7	31.0	25.7
	60代	196	49.0	32.1	13.8
手帳の種類	身体障がい	379	45.4	27.4	23.0
	知的障がい	258	32.9	25.6	38.0
	精神障がい	650	35.5	36.6	26.5
	難病	166	41.0	34.3	24.1

## A 障がい者調査 9. 差別や権利擁護のことについて

### 問27 あなたは成年後見制度を活用したいと思いますか。(単一回答)

成年後見制度を「将来必要になったら活用したい」人について前回調査より減少し約3割となっています。また、他の手帳所持者と比べて「知的障がい」手帳保持者で多くなっています。

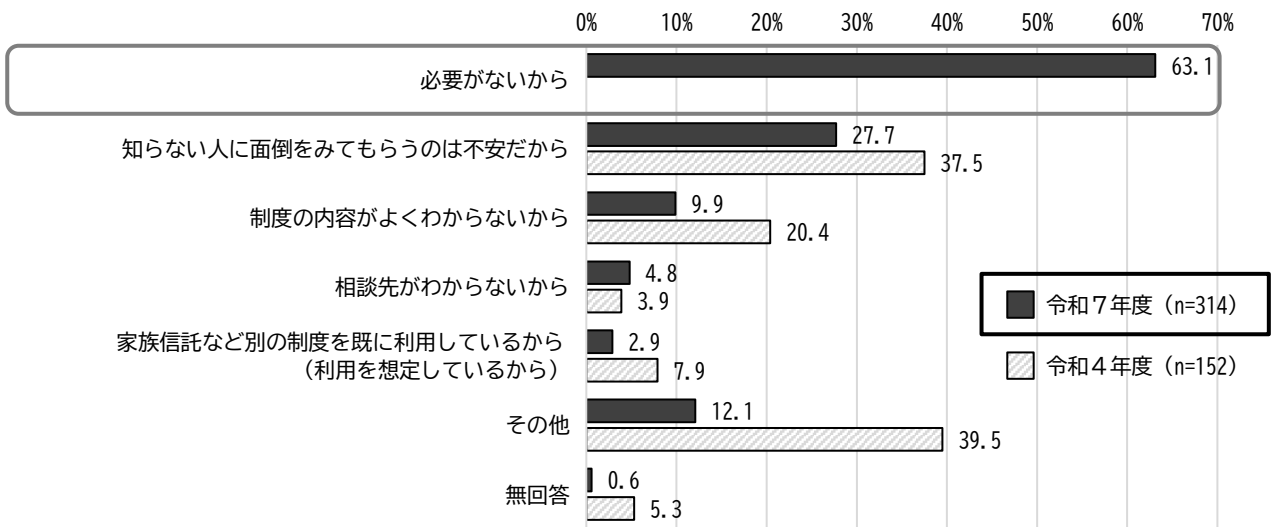


### ■ 性別・年齢・手帳の種類 (単位：%)

		回答者数	既に活用している	将来必要になったら活用したい	活用したいとは思わない	わからない
全体		1,327	2.3	32.0	23.7	38.0
性別	男性	651	2.5	31.2	22.7	40.2
	女性	642	2.0	32.7	24.8	36.0
年齢	20歳未満	24	0.0	41.7	12.5	45.8
	20代	179	0.6	36.9	18.4	42.5
	30代	226	1.3	38.1	18.1	41.6
	40代	253	2.4	26.9	31.6	34.4
	50代	435	3.0	30.1	24.4	37.0
	60代	196	3.6	31.1	25.0	35.2
手帳の種類	身体障がい	379	2.4	26.6	26.6	39.6
	知的障がい	258	7.8	40.7	11.2	36.4
	精神障がい	650	1.5	34.9	24.6	35.7
	難病	166	0.0	24.7	30.1	42.8

※「活用したいとは思わない」と回答した方にお聞きします。  
 問27-1 活用したいとは思わない理由は何ですか。(複数回答)

成年後見制度を活用したいとは思わない理由について「必要がないから」が6割を超えています。



※「必要がないから」は今回調査より選択肢を追加  
 「その他」・・・評判がよくない、信用できない、など

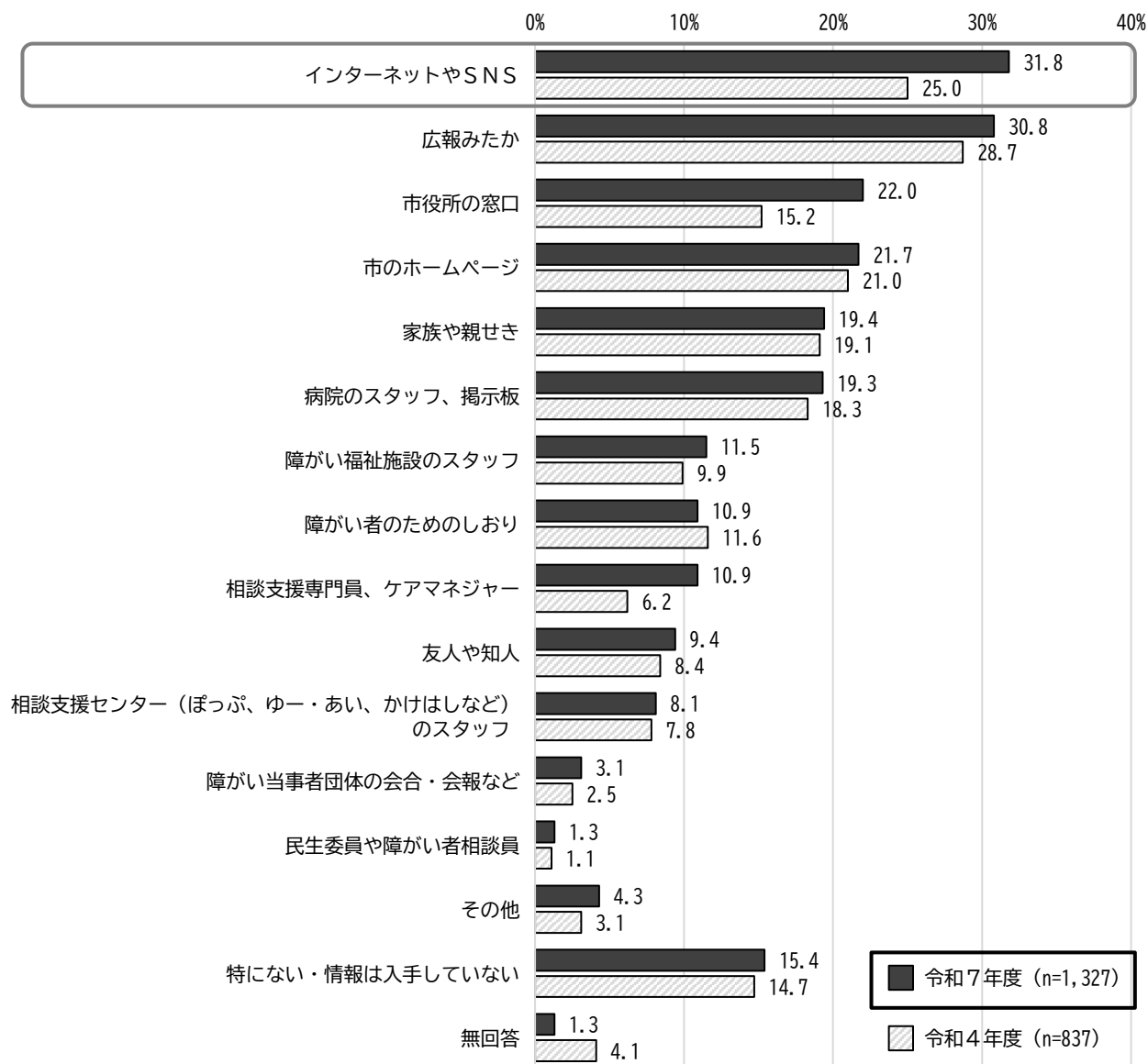
■ 性別・年齢・手帳の種類 (単位：%)

		回答者数	必要がないから	知らない人に面倒をみてもらうのは不安だから	制度の内容及くわからないから	相談先がわからないから	家族信託など別の制度を既に利用しているから (利用を想定しているから)
全体		314	63.1	27.7	9.9	4.8	2.9
性別	男性	148	69.6	28.4	8.1	4.7	0.0
	女性	159	57.2	27.7	11.3	5.0	5.7
年齢	20歳未満	3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	20代	33	60.6	24.2	15.2	9.1	0.0
	30代	41	68.3	41.5	14.6	12.2	2.4
	40代	80	60.0	27.5	7.5	1.3	2.5
	50代	106	64.2	29.2	7.5	5.7	2.8
	60代	49	63.3	18.4	12.2	0.0	6.1
手帳の種類	身体障がい	101	69.3	22.8	7.9	0.0	1.0
	知的障がい	29	41.4	34.5	17.2	13.8	6.9
	精神障がい	160	58.8	32.5	10.6	6.9	3.8
	難病	50	76.0	24.0	8.0	2.0	2.0

## 10. 情報入手などについて

問28 あなたは福祉制度やサービスなどの情報をどこから入手していますか。(複数回答)

福祉制度やサービスなどの情報の入手先について「インターネットやSNS」が前回調査より増加し約3割となっており、他の手帳保持者と比べて「難病」手帳保持者で多くなっています。



A 障がい者調査 10. 情報入手などについて

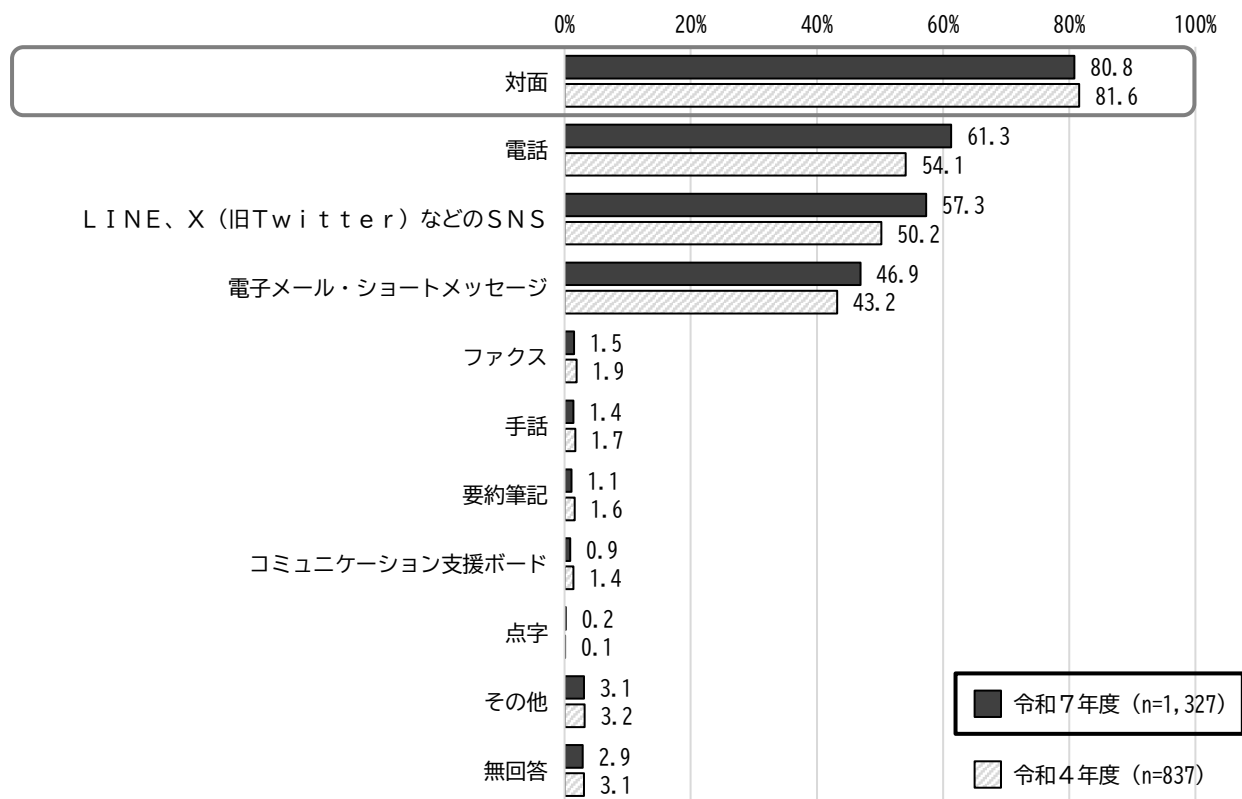
■ 性別・年齢・手帳の種類

(単位：%)

		回答者数	インターネットやSNS	広報みたか	市役所の窓口	市のホームページ	家族や親せき	病院のスタッフ、掲示板	障がい福祉施設のスタッフ	障がい者のためのしおり	相談支援専門員、ケアマネジャー	友人や知人	相談支援センター(ぼっぴ、ゆー・あい、かけはしなど)のスタッフ	障がい当事者団体の会合・会報など	民生委員や障がい者相談員	特にない・情報は入手していない
全体		1,327	31.8	30.8	22.0	21.7	19.4	19.3	11.5	10.9	10.9	9.4	8.1	3.1	1.3	15.4
性別	男性	651	30.4	28.7	21.8	22.4	22.1	15.7	13.4	10.9	12.0	7.8	10.6	3.5	1.7	16.4
	女性	642	33.3	33.5	22.4	21.3	17.3	23.1	10.0	11.2	9.8	11.4	5.6	2.8	0.9	14.0
年齢	20歳未満	24	16.7	16.7	12.5	12.5	41.7	8.3	8.3	12.5	8.3	8.3	4.2	0.0	0.0	25.0
	20代	179	30.2	15.6	19.0	15.6	33.5	15.6	15.1	10.6	11.2	15.1	14.0	3.4	1.7	17.3
	30代	226	36.3	25.7	20.8	23.9	23.9	19.0	15.0	8.8	10.6	11.1	10.6	3.1	0.4	15.5
	40代	253	34.4	34.0	24.9	22.5	15.4	21.7	11.1	8.7	9.1	7.1	9.1	2.0	1.2	10.7
	50代	435	32.9	33.8	24.4	23.0	15.6	20.5	9.9	13.3	11.5	9.4	7.1	3.0	1.4	14.5
	60代	196	24.5	41.8	19.4	23.0	11.7	18.4	9.2	11.2	12.8	6.1	2.0	4.6	2.0	20.9
手帳の種類	身体障がい	379	33.0	34.8	23.5	27.2	15.8	13.7	8.4	17.4	14.5	6.6	4.5	3.7	1.1	13.7
	知的障がい	258	14.3	27.5	23.6	10.1	34.5	4.3	31.8	17.4	19.8	13.6	19.4	8.1	2.7	14.3
	精神障がい	650	35.5	30.0	21.7	21.7	17.8	28.3	9.8	6.9	10.3	10.6	9.7	1.8	1.5	15.1
	難病	166	40.4	33.7	19.9	28.9	14.5	21.7	3.6	8.4	4.2	6.0	2.4	4.2	1.2	17.5

問29 あなたが普段の生活でコミュニケーションを取る時に使用している手段は何ですか。(複数回答)

コミュニケーションを取る時に使用している手段について「対面」は前回調査からほとんど変化はなく約8割となっており、他の年代と比べて「20歳未満」「20代」で多くなっています。



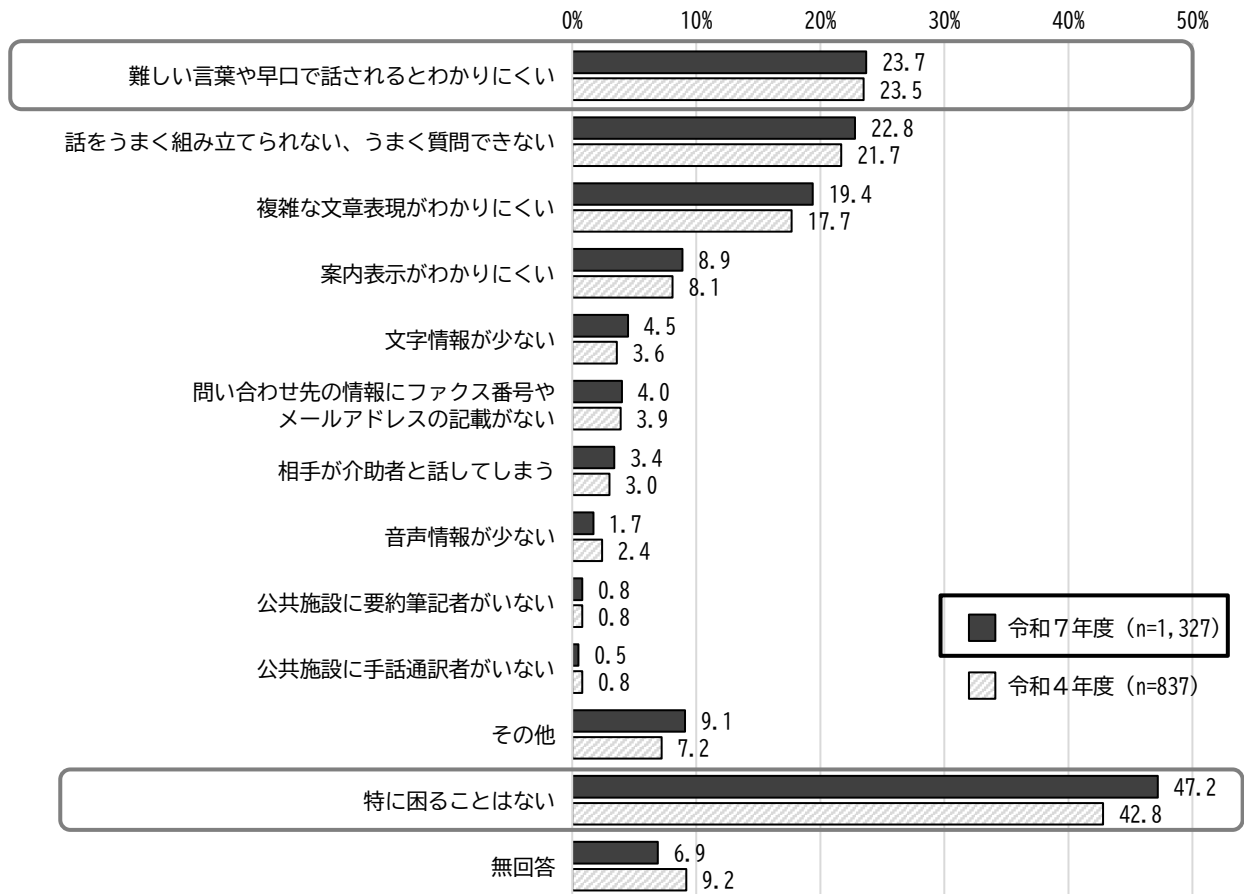
■ 性別・年齢・手帳の種類

(単位：%)

		回答者数	対面	電話	LINE、X (旧Twitter) などのSNS	電子メール・ショートメッセージ	ファクス	手話	要約筆記	コミュニケーション支援ボード	点字
全体		1,327	80.8	61.3	57.3	46.9	1.5	1.4	1.1	0.9	0.2
性別	男性	651	78.8	58.5	50.5	43.9	1.2	1.2	0.9	1.1	0.2
	女性	642	83.3	64.0	64.2	49.8	1.7	1.6	1.4	0.8	0.2
年齢	20歳未満	24	91.7	50.0	54.2	29.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20代	179	91.1	59.2	64.8	43.0	0.0	0.0	0.6	0.6	0.0
	30代	226	83.2	55.3	67.3	43.8	0.9	0.9	1.8	1.3	0.0
	40代	253	80.2	62.5	59.3	52.6	0.8	0.8	1.2	0.8	0.0
	50代	435	76.8	64.1	53.6	48.7	2.3	2.5	1.1	1.1	0.5
	60代	196	78.1	64.8	45.9	45.4	2.6	1.5	1.0	0.5	0.0
手帳の種類	身体障がい	379	76.0	58.0	54.4	49.3	2.9	3.7	2.1	1.1	0.5
	知的障がい	258	84.1	43.4	31.0	20.2	2.3	2.7	3.1	3.1	0.4
	精神障がい	650	81.7	68.0	63.1	51.5	0.9	0.6	1.2	0.6	0.2
	難病	166	84.9	66.9	69.3	60.2	1.8	1.2	1.2	0.6	0.6

問30 あなたが情報入手やコミュニケーションで困ることは何ですか。(複数回答)

情報入手やコミュニケーションで「特に困ることはない」人は前回調査から増加し約5割となる一方、困ることについて前回調査から概ねそれぞれの割合に変化はなく、「難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい」人は2割を超えています。



A 障がい者調査 10. 情報入手などについて

■ 性別・年齢・手帳の種類

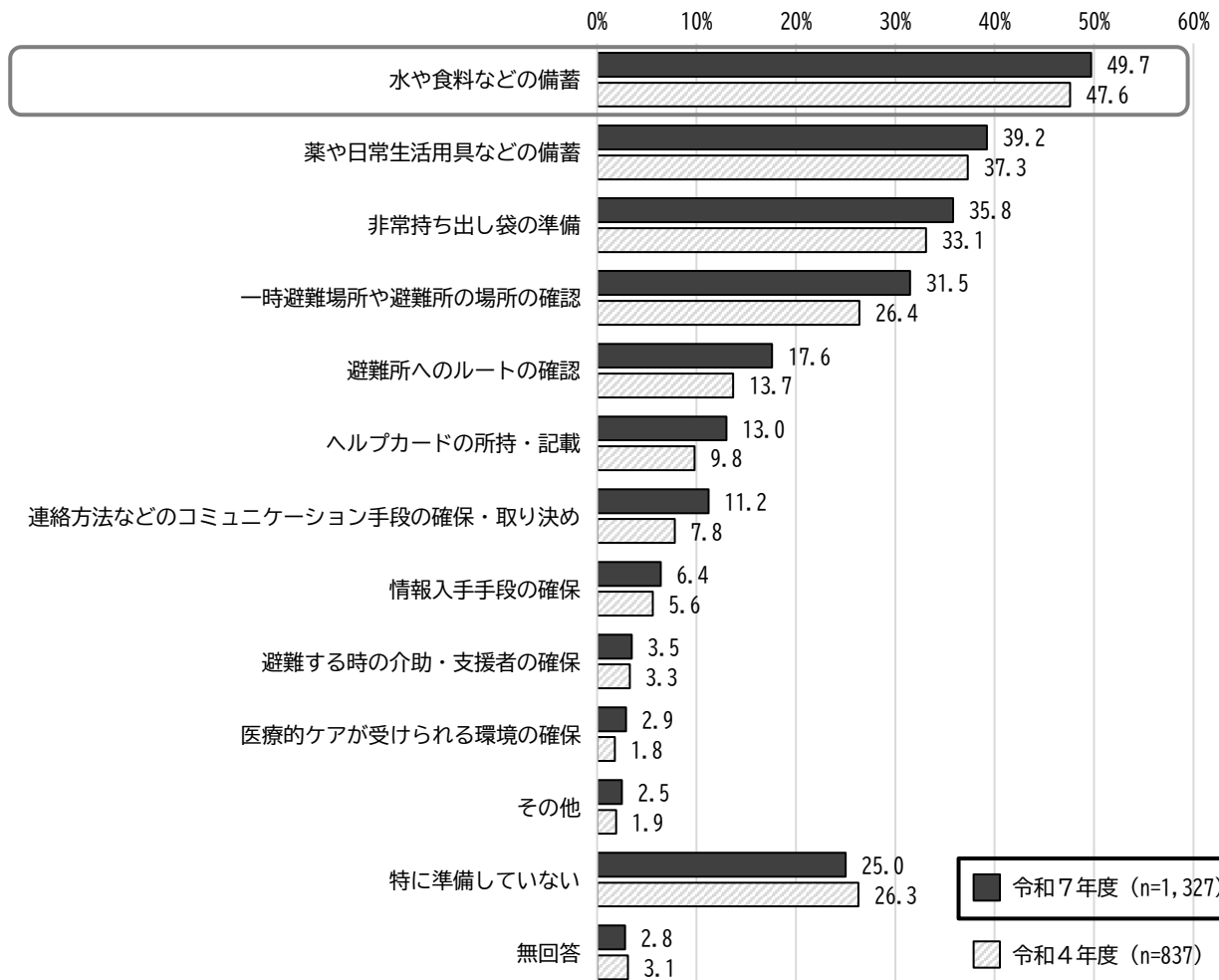
(単位：%)

		回答者数	難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい	話をうまく組み立てられない、うまく質問できない	複雑な文章表現がわかりにくい	案内表示がわかりにくい	文字情報が少ない	問い合わせ先の情報にファクス番号やメールアドレスの記載がない	相手が介助者と話してしまう	音声情報が少ない	公共施設に要約筆記者がいない	公共施設に手話通訳者がいない	特に困ることはない
全体		1,327	23.7	22.8	19.4	8.9	4.5	4.0	3.4	1.7	0.8	0.5	47.2
性別	男性	651	22.0	22.7	18.0	8.0	3.7	2.9	3.2	2.2	1.1	0.5	48.5
	女性	642	25.1	23.1	20.1	9.7	4.8	5.0	3.4	1.1	0.5	0.3	46.3
年齢	20歳未満	24	54.2	50.0	33.3	4.2	0.0	4.2	8.3	0.0	0.0	0.0	20.8
	20代	179	34.1	37.4	27.9	9.5	3.4	1.1	4.5	0.6	0.0	0.0	43.0
	30代	226	28.8	32.3	24.3	9.3	5.3	3.1	4.4	1.8	0.9	0.4	41.6
	40代	253	20.6	20.2	19.0	7.9	2.4	4.3	3.6	0.8	1.2	0.0	49.0
	50代	435	20.7	17.7	15.9	9.4	6.0	4.8	1.8	2.5	0.7	0.9	49.0
	60代	196	15.8	10.2	12.2	7.7	3.6	4.6	3.6	2.0	1.5	0.5	55.6
手帳の種類	身体障がい	379	13.7	11.3	11.1	8.4	7.4	3.7	5.3	2.4	1.3	0.5	55.1
	知的障がい	258	47.7	51.2	39.9	12.8	5.0	2.3	6.6	2.7	2.3	0.8	16.7
	精神障がい	650	26.0	26.0	20.5	8.9	3.7	5.2	3.2	1.7	0.9	0.6	45.1
	難病	166	9.0	9.6	9.6	6.6	2.4	3.0	1.8	1.2	1.2	0.6	73.5

## 11. 災害時対策、緊急時の対応などについて

問31 あなたが災害に備えて、準備をしていることは何ですか。(複数回答)

災害に備えて準備をしていることについて前回調査から概ねそれぞれの割合に変化はなく、「水や食料などの備蓄」をしている人は約5割となっており、他の手帳所持者と比べて「難病」手帳保持者で多くなっています。



A 障がい者調査 Ⅱ. 災害時対策、緊急時の対応などについて

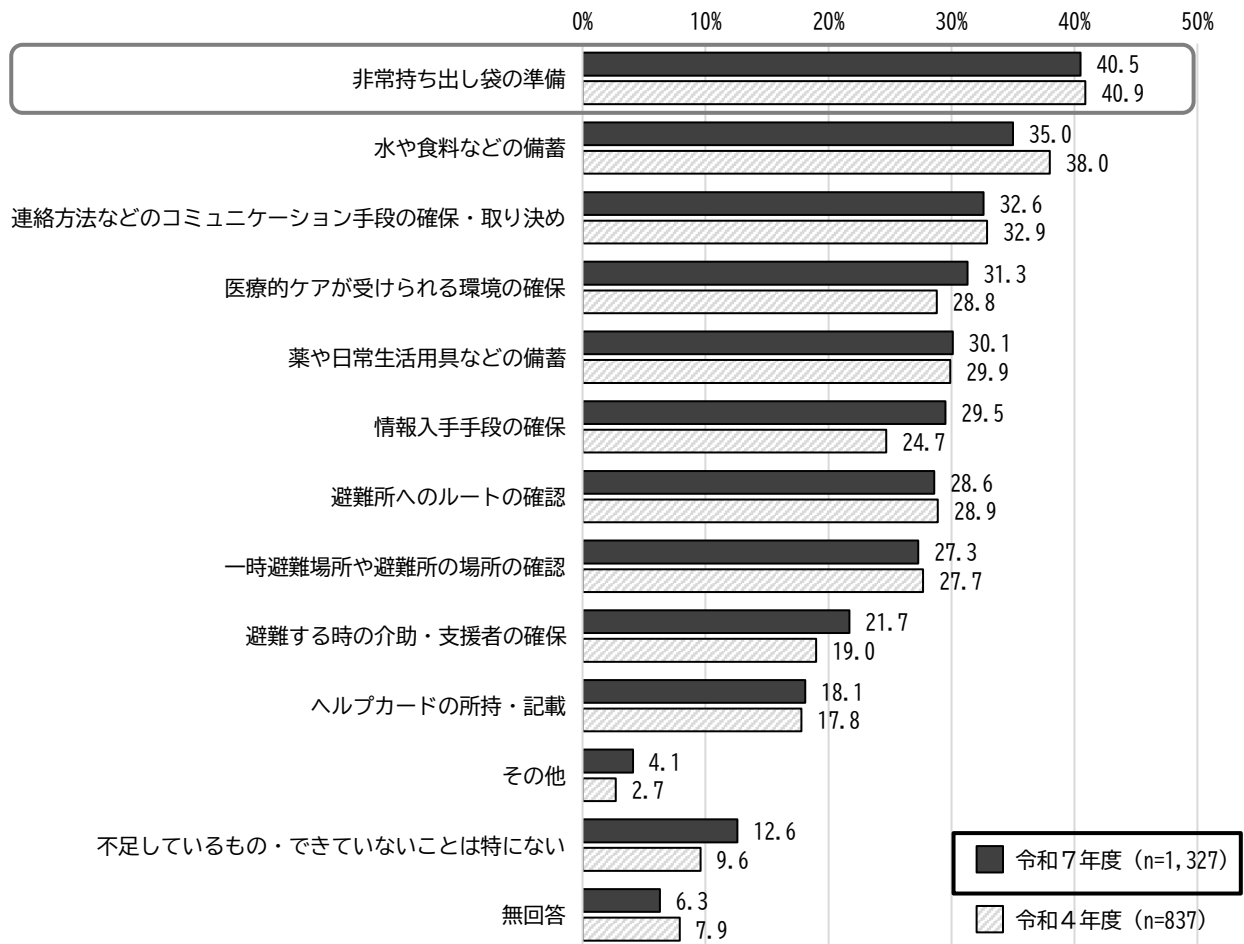
■ 性別・年齢・手帳の種類

(単位：%)

		回答者数	水や食料などの備蓄	薬や日常生活用具などの備蓄	非常持ち出し袋の準備	一時避難場所や避難所の場所の確認	避難所へのルートの確認	ヘルプカードの所持・記載	連絡方法などのコミュニケーション手段の確保・取り決め	情報入手手段の確保	避難する時の介助・支援者の確保	医療的ケアが受けられる環境の確保	特に準備していない
全体		1,327	49.7	39.2	35.8	31.5	17.6	13.0	11.2	6.4	3.5	2.9	25.0
性別	男性	651	45.8	35.6	31.0	30.1	18.6	12.7	10.0	6.6	3.8	2.5	27.0
	女性	642	54.0	43.0	41.0	32.4	16.2	13.4	12.3	6.2	3.3	3.3	22.7
年齢	20歳未満	24	37.5	16.7	33.3	20.8	8.3	29.2	16.7	8.3	0.0	8.3	33.3
	20代	179	46.9	36.9	31.3	33.0	22.3	19.0	15.1	5.0	4.5	2.8	24.6
	30代	226	49.6	39.8	35.4	33.2	16.4	11.1	12.8	6.2	3.1	1.3	27.0
	40代	253	54.2	42.3	41.1	36.4	20.2	12.3	9.1	5.9	2.4	2.4	22.1
	50代	435	48.3	39.5	37.7	28.7	15.6	12.0	9.9	6.9	4.1	2.8	26.4
	60代	196	52.0	38.8	30.6	29.6	16.3	11.7	11.2	7.7	4.1	5.6	23.5
手帳の種類	身体障がい	379	53.0	43.3	35.4	31.1	17.2	10.6	11.3	6.9	3.2	3.4	22.2
	知的障がい	258	40.7	34.9	29.5	29.8	20.5	27.5	14.7	3.5	8.5	3.1	22.9
	精神障がい	650	47.2	38.2	36.3	33.5	19.1	11.1	10.9	7.7	2.9	3.2	29.8
	難病	166	61.4	50.6	43.4	29.5	14.5	11.4	12.0	6.0	2.4	5.4	19.9

問32 あなたが災害時の備えとして足りていないこと、できていないことは何ですか。  
(複数回答)

災害の備えとして足りていないこと、できていないことについて前回調査から概ねそれぞれの割合に変化はなく、「非常持ち出し袋の準備」は約4割となっており、他の年代と比べて「20歳未満」で多くなっています。



A 障がい者調査 Ⅱ. 災害時対策、緊急時の対応などについて

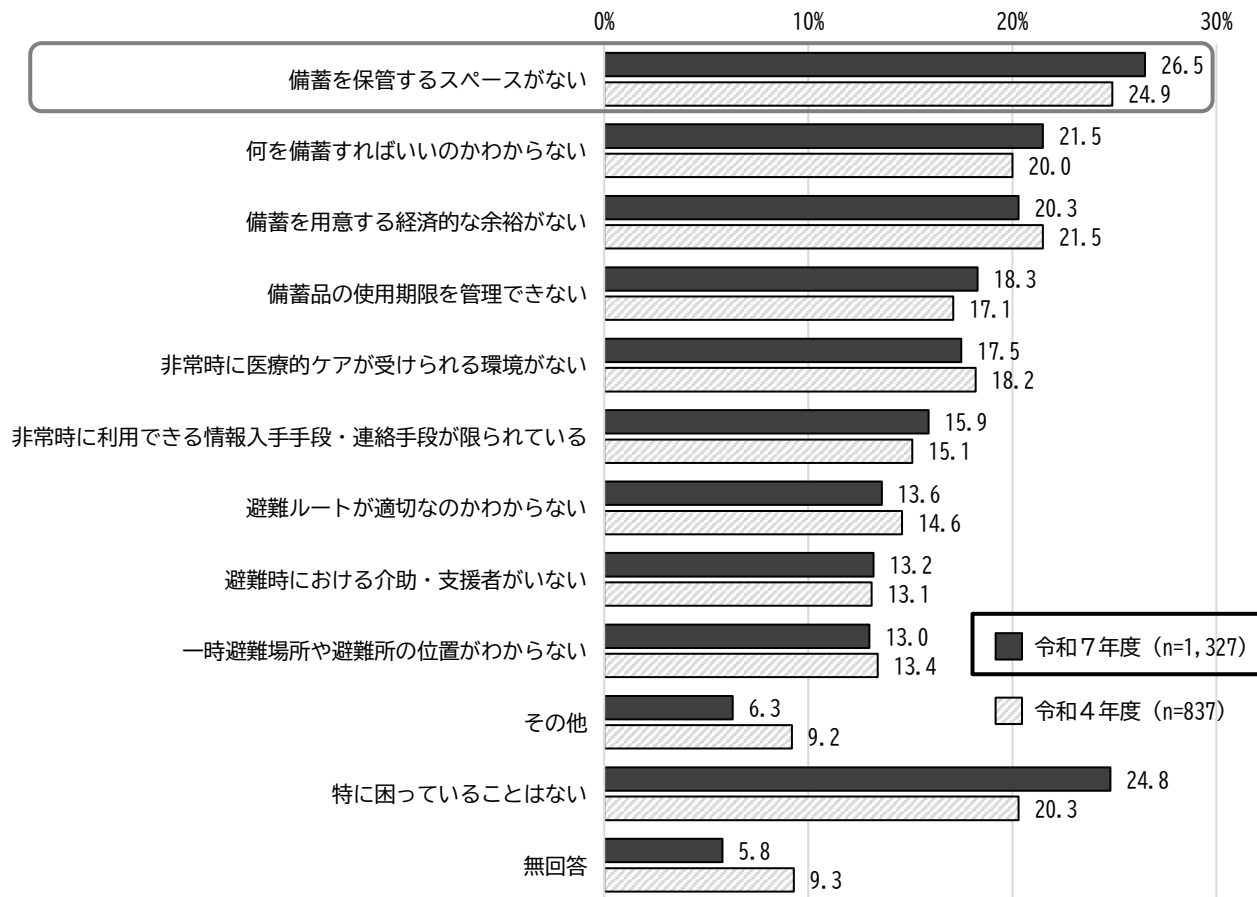
■ 性別・年齢・手帳の種類

(単位：%)

		回答者数	非常持ち出し袋の準備	水や食料などの備蓄	連絡方法などのコミュニケーション手段の確保・取り決め	医療的ケアが受けられる環境の確保	薬や日常生活用具などの備蓄	情報入手手段の確保	避難所へのルートの確認	一時避難場所や避難所の場所の確認	避難する時の介助・支援者の確保	ヘルプカードの所持・記載	不足しているもの・できていないことは特にない
全体		1,327	40.5	35.0	32.6	31.3	30.1	29.5	28.6	27.3	21.7	18.1	12.6
性別	男性	651	39.5	35.9	30.3	27.2	29.6	25.2	25.5	24.7	18.7	15.4	14.7
	女性	642	41.4	34.0	34.4	35.2	30.8	33.0	32.1	30.4	24.6	21.2	10.4
年齢	20歳未満	24	50.0	41.7	33.3	25.0	33.3	37.5	37.5	33.3	33.3	16.7	12.5
	20代	179	41.9	34.1	34.1	25.1	27.9	32.4	35.2	31.8	25.7	17.3	14.5
	30代	226	42.5	35.0	38.1	35.0	33.2	31.9	29.2	29.2	24.8	21.2	11.1
	40代	253	39.9	36.0	34.4	32.4	30.0	32.4	30.4	27.3	19.4	16.6	9.5
	50代	435	37.5	34.7	29.4	30.8	30.1	25.3	27.6	27.4	20.9	18.6	15.9
	60代	196	44.4	35.2	27.0	33.7	29.6	28.1	21.9	20.9	18.4	16.3	9.7
手帳の種類	身体障がい	379	33.8	31.4	25.3	30.9	24.0	24.3	25.3	23.5	22.2	19.3	15.8
	知的障がい	258	39.5	31.4	31.4	22.5	25.2	32.2	26.0	26.7	27.5	17.8	12.4
	精神障がい	650	46.2	41.5	39.1	34.5	36.9	34.9	33.4	31.2	24.6	20.9	10.0
	難病	166	34.9	25.9	28.9	38.6	23.5	21.7	24.7	24.1	14.5	11.4	15.1

問33 あなたが災害時の準備をする上で、困っていることは何ですか。(複数回答)

災害時の準備をする上で困っていることについて前回調査から概ねそれぞれの割合に変化はなく、「備蓄を保管するスペースがない」は3割弱となっており、他の手帳保持者と比べて「精神障がい」手帳保持者で多くなっています。



A 障がい者調査 11. 災害時対策、緊急時の対応などについて

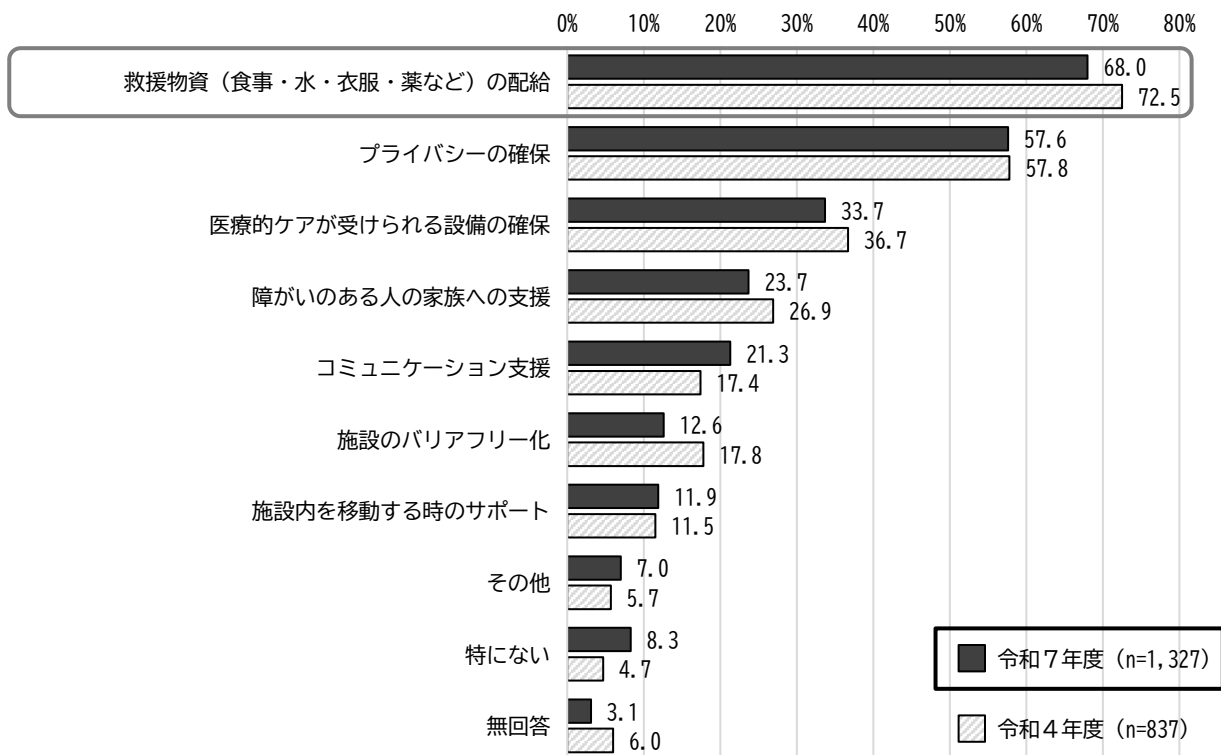
■ 性別・年齢・手帳の種類

(単位：%)

		回答者数	備蓄を保管するスペースがない	何を備蓄すればいいのかわからない	備蓄を用意する経済的な余裕がない	備蓄品の使用期限を管理できない	非常時に医療的ケアが受けられる環境がない	非常時に利用できる情報入手手段・連絡手段が限られている	避難ルートが適切なかわからない	避難時における介助・支援者がいない	一時避難場所や避難所の位置がわからない	特に困っていることはない
全体		1,327	26.5	21.5	20.3	18.3	17.5	15.9	13.6	13.2	13.0	24.8
性別	男性	651	22.7	21.5	19.0	16.1	16.3	16.9	13.5	11.8	11.8	27.3
	女性	642	29.1	21.0	21.3	20.7	18.4	14.8	13.7	14.3	14.0	23.1
年齢	20歳未満	24	12.5	45.8	8.3	20.8	8.3	20.8	8.3	8.3	20.8	41.7
	20代	179	25.7	21.8	19.0	19.6	8.4	16.8	14.5	10.1	15.1	27.9
	30代	226	23.9	24.8	18.1	19.5	20.8	15.9	15.9	17.7	11.5	22.6
	40代	253	29.6	21.7	23.7	17.0	16.6	15.8	13.8	11.9	10.7	25.3
	50代	435	27.8	20.5	20.9	19.5	20.2	14.7	13.1	14.7	14.7	23.9
	60代	196	23.5	15.8	20.9	14.8	18.4	16.8	11.7	10.7	10.2	25.0
手帳の種類	身体障がい	379	24.0	15.0	13.2	15.0	17.4	14.2	11.6	12.7	9.5	29.8
	知的障がい	258	15.9	29.1	13.2	23.6	15.5	25.6	18.2	19.8	19.0	19.8
	精神障がい	650	31.8	25.4	28.5	20.5	20.6	15.5	15.5	15.4	13.5	19.5
	難病	166	27.7	12.7	13.3	13.9	21.1	11.4	10.8	9.6	14.5	38.0

問34 あなたが避難所での生活に必要な支援は何ですか。(複数回答)

避難所での生活に必要な支援について「救援物資（食事・水・衣服・薬など）の配給」が前回調査より減少し約7割となっており、他の年代と比べて「30代」で多くなっています。



性別・年齢・手帳の種類

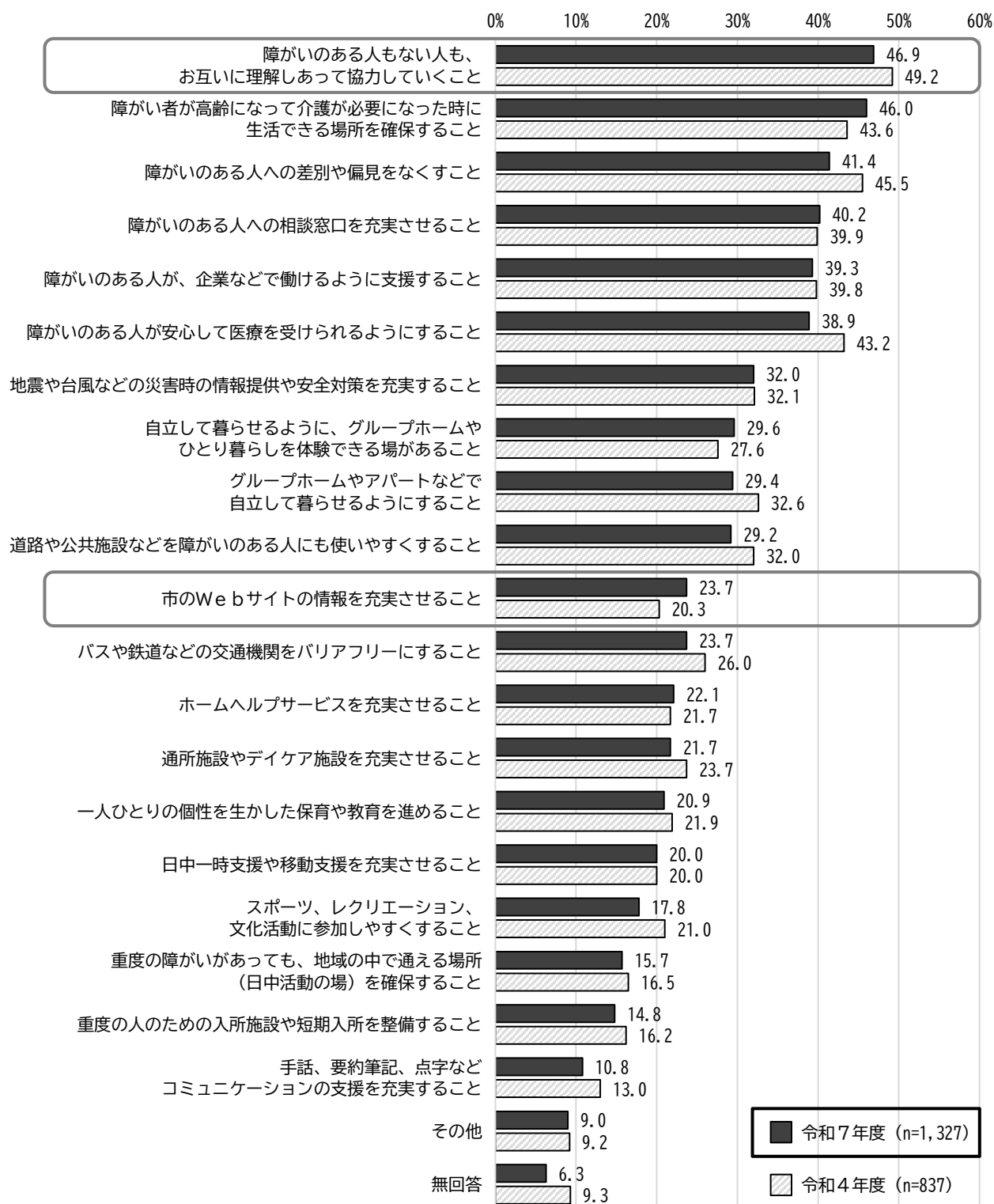
(単位：%)

		回答者数	救援物資（食事・水・衣服・薬など）の配給	プライバシーの確保	医療的ケアが受けられる設備の確保	障がいのある人の家族への支援	コミュニケーション支援	施設のバリアフリー化	施設内を移動する時のサポート	特になし
全体		1,327	68.0	57.6	33.7	23.7	21.3	12.6	11.9	8.3
性別	男性	651	65.4	51.0	32.4	23.0	23.7	11.2	11.7	10.6
	女性	642	71.0	64.6	35.4	24.9	19.0	14.5	12.3	5.9
年齢	20歳未満	24	37.5	58.3	20.8	37.5	45.8	8.3	16.7	12.5
	20代	179	65.9	62.6	21.8	26.3	19.0	8.4	10.1	10.1
	30代	226	<b>74.3</b>	63.7	31.4	29.6	30.1	8.8	10.2	8.8
	40代	253	66.8	58.5	34.4	21.7	22.9	10.3	10.3	7.5
	50代	435	69.2	54.5	37.7	21.4	17.5	13.1	13.6	8.0
	60代	196	67.9	53.6	40.3	20.9	17.3	23.5	14.3	7.1
手帳の種類	身体障がい	379	61.5	47.0	37.5	22.2	15.6	29.6	19.8	9.8
	知的障がい	258	69.0	58.1	29.8	46.9	45.7	13.6	22.5	4.7
	精神障がい	650	73.4	61.8	31.4	22.0	20.0	6.0	6.5	8.2
	難病	166	60.2	57.2	45.8	14.5	13.3	12.7	10.2	10.8

## 12. ご意見・ご要望等について

問35 あなたが障がいのある方への取り組みとして、今後、三鷹市に重点的に進めてほしいことは何ですか。(複数回答)

今後、三鷹市に重点的に進めてほしい取り組みについて全体的に前回調査から減少傾向となっており「障がいのある人もない人も、お互いに理解しあって協力していくこと」が5割弱となる一方、「市のWebサイトの情報を充実させること」が前回調査より増加し2割を超えています。



■ 性別・年齢・手帳の種類

(単位：%)

		回答者数	障がいのある人もない人も、お互いに理解しあって協力していくこと	障がい者が高齢になって介護が必要になった時に生活できる場所を確保すること	障がいのある人への差別や偏見をなくすこと	障がいのある人への相談窓口を充実させること	障がいのある人が、企業などで働けるように支援すること	障がいのある人が安心して医療を受けられるようにすること	地震や台風などの災害時の情報提供や安全対策を充実すること	自立して暮らせるように、グループホームやひとり暮らしを体験できる場があること	グループホームやアパートなどで自立して暮らせるようにすること	道路や公共施設などを障がいのある人にも使いやすくすること	市のWebサイトの情報を充実させること	バスや鉄道などの交通機関をバリアフリーにすること	ホームヘルプサービスを充実させること	通所施設やデイケア施設を充実させること	一人ひとりの個性を生かした保育や教育を進めること	日中一時支援や移動支援を充実させること	スポーツ、レクリエーション、文化活動に参加しやすくすること	重度の障がいがあっても、地域の中で通える場所(日中活動の場)を確保すること	重度の人のための入所施設や短期入所を整備すること	手話、要約筆記、点字などコミュニケーションの支援を充実すること
全体		1,327	46.9	46.0	41.4	40.2	39.3	38.9	32.0	29.6	29.4	29.2	23.7	23.7	22.1	21.7	20.9	20.0	17.8	15.7	14.8	10.8
性別	男性	651	45.8	44.5	39.6	38.6	37.6	35.6	28.9	29.5	30.4	26.1	23.3	19.8	20.3	23.5	19.0	19.2	18.3	16.3	15.2	9.2
	女性	642	47.8	48.0	42.5	40.8	40.5	42.2	35.4	29.0	27.6	32.6	23.8	27.9	23.8	19.6	22.4	20.7	17.3	15.1	14.3	12.1
年齢	20歳未満	24	50.0	45.8	33.3	37.5	45.8	25.0	16.7	54.2	58.3	16.7	20.8	25.0	20.8	33.3	25.0	37.5	29.2	12.5	12.5	12.5
	20代	179	52.0	36.3	47.5	43.6	44.1	36.3	26.3	40.2	42.5	24.0	24.0	17.3	15.1	21.8	30.2	15.1	16.2	15.6	15.1	11.2
	30代	226	55.8	43.8	44.7	42.0	45.6	39.8	31.9	36.7	37.6	25.7	24.3	23.0	21.7	23.9	26.5	23.5	19.0	17.3	14.6	10.6
	40代	253	46.6	47.4	44.7	37.5	40.3	41.5	34.0	29.2	26.1	25.7	24.9	20.6	19.0	21.7	20.9	19.4	19.0	20.2	17.8	9.1
	50代	435	40.9	47.8	36.8	40.0	38.4	40.0	31.5	24.6	22.1	31.5	25.1	25.5	24.4	18.4	17.7	17.0	17.2	12.0	11.3	10.3
	60代	196	45.9	53.1	38.3	38.3	27.6	36.2	37.8	20.4	24.5	38.8	18.4	29.6	28.6	25.0	12.2	25.0	15.8	16.3	18.9	12.8
手帳の種類	身体障がい	379	39.1	46.4	30.3	31.9	32.7	37.5	31.1	20.1	20.3	41.7	24.0	30.3	20.6	18.2	13.2	20.8	15.6	15.3	15.3	13.2
	知的障がい	258	60.9	65.9	53.5	51.2	36.4	45.3	34.9	55.8	54.3	27.5	15.5	22.1	30.6	38.0	24.4	34.5	23.6	24.4	28.3	12.0
	精神障がい	650	50.6	44.3	47.2	47.1	48.6	41.4	33.4	28.8	28.9	23.5	26.5	21.7	21.2	20.9	25.8	15.7	18.5	14.5	11.1	9.7
	難病	166	34.3	38.6	32.5	28.9	29.5	40.4	29.5	25.3	20.5	33.7	22.9	27.1	22.3	18.7	17.5	21.7	14.5	14.5	18.1	11.4

問36 あなたが障がいのある方への取り組みとして、今後、三鷹市に新たに取り組んでほしいことや特に充実してほしいことを教えてください。(自由回答)

■福祉・相談支援

- 障害福祉の充実 (60代・精神)
- 経済的な支援 (60代・身体, 難病)
- 気軽に相談できる環境 (50代・知的)
- 難病患者向けの相談窓口 (50代・難病)
- 訪問者ごとに相談したい。(40代・精神)
- 就職入力向けての支援の拡大 (40代・精神)
- 精神障がい者への支援の充実 (50代・身体)
- お金の支援ががんばってください (20代・難病)
- 相談体制の充実 (20代・いずれも持っていない)
- 金銭的支援を受けられたらいい。(30代・精神)
- 生活保護とは独立した経済的支援。(50代・身体)
- 精神障害への支援を充実してほしい。(40代・精神)
- 家事代行サービスを充実させてほしい (50代・精神)
- 受けられるサービスの定期的な情報提供 (50代・精神)
- 福祉に関する専門家の方による定期巡回 (60代・知的)
- 障がいのある方とその家族への経済的支援 (30代・精神)
- 一人暮らしの手助けサービスがあってほしい (20代・難病)
- 訪問美容サービスの利用者対象の拡大。(30代・知的, 精神)
- 本人が色々相談話し相手になって訪問してほしい (60代・知的)
- 困った事があれば相談しますのでよろしくお願いします。(30代・身体)
- 市の手厚い支援に感謝しています。ありがとうございます。(50代・精神)
- ・福祉サービスからこぼれ落ちてしまう人たちへのサポート (40代・難病)
- 生活保護と支援、今後高齢者が増えていくので高齢者へのサポート。(50代・精神)
- 障害者と健常者の共存に関する活動や支援に対する全体的な底上げ。(20代・難病)
- 相談できる人、提案できる人、安心して最期まで暮らせる場所 (60代・身体, 知的)
- 三鷹市の福祉サービスは充実していると思うので、まんぞくしています。(50代・精神)
- 親亡き後に、生活支援してくれるサポートしてくれるところがほしいです。(30代・身体)
- 福祉タクシーを、月3回までの補助でなくて、もう少し増やしてください (60代・身体, 精神)
- 自立支援受給者証や精神しょう害手帳などの書類の交付スピードを上げて頂きたい (50代・精神)
- 1人暮らしの老人、障がい者の生活の見守りや、サポートについての公的サービスの充実 (50代・身体)
- 自分が一時に熱が出て買えない時に買う代理的なサービスが受けられる様なサービス希望。(50代・精神)
- 特に現在は具体的に思いつかない。今後も充実した支援のとりくみ、期待しております。(40代・精神)
- 親亡き後も安心して生活出来る場 (グループホーム等) の増設に公的支援を充実させること。(40代・知的)
- ・住まいの確保は、障害有るときびしいので相談出来るシステムが有れば教えて欲しいです。(40代・精神)
- 障がいのある人がひとりで暮らさなくてはいけない状況になった時の支援を充実してほしいです。(50代・身体)
- ・障害者の親の介護について (タクシー券の補充) ・相続などが相談できる窓口 (親、本人、子) (50代・知的)
- 等級が低いと(3級)対象外のサービスが多いと感じる。国の基準を超えるサービス枠の拡大を求める。(30代・知的)
- 障害者となった場合 どういう支援制度があるのか具体的に教えて欲しい自分で調べないとわからない (60代・身体, 精神)
- 障害の種類、程度に応じて受けられる支援があるのか無いのかを簡単に調べられるサイトがあると嬉しいです。(40代・身体)
- 将来、老々介護になってしまった時に、気軽に相談したりすることの出来るシステム作りを充実してほしいです。(60代・身体)
- 障害者の等級が低い方への支援、控除、助成など、生活をしていくにあたっての不安を少しでも減らして欲しいです。(40代・身体)
- 障害年金などの手続きをするのが、大変なので、手伝いやアドバイスが欲しい。金銭面が不安なので、相談をしたい。(40代・身体)

- 市役所障がい支援課の方は、対応も早く、とても親切、丁寧でいつもよくしてもらっています。ありがとうございます。(50代・知的)
- 市政窓口での手続き対応。福祉関連の申請等を平日日中の市役所だけでなく、平日夜や土曜日に市政窓口でも対応して欲しい。(50代・精神)
- グループホームや短期入所施設の増設障害者の支援の為にヘルパーの充実学校卒業後にも通所できる方デイのような施設の充実(20歳未満・精神)
- 障がい者支援や自立支援の申請書類の簡素化や有効期限の延長及び手続きの電子化。障がい者が生活しやすく働きやすい環境の整備。(20代・精神)
- 各種サービスや認定などを受ける時、書類・手続きの量が多い 支援者がいないので今後どこまで自力で行えるのか心配です。(50代・身体、難病)
- 自立支援と障害者手帳を統合出来るようにしてほしい。自立支援(1割負担)の対象をカウンセリングや鍼灸なども対象に広げてほしい。(40代・難病)
- ひとりっ子です。親はいつか先に死んでしまうので、少しでも子が安心して暮らせる施設を見つけられるよう支援していただきたいです。(20歳未満・精神)
- ・思いやり教育の重視 ・相談する窓口を拡充 ・ヘルパーさんの高齢化などへの対応、報酬の見直し、又は市としての特別補助などの検討(60代・身体)
- 自立支援の更新で隔年の診断書提出を行うが、診断書発行料が高く、支援を受けるメリットが半減してしまう診断書発行料も支援対象にして欲しい(50代・身体)
- 自立支援や手帳の申請期間の延長。6月末失効で4/1に手続きしたのに6月末までに新しいものが届かず、暫く手帳や自立支援が使えませんでした。(40代・精神)
- ①困りごとが起きたとき、先ず最初に相談できる窓口を明確であること。②ルールや法律をわかりやすく説明出来る先があること。③経済的支援の拡充。(60代・精神)
- そもそも、どのようなサービスが受けられるのかわかりません。障害者手帳の説明書は読みましたが、それだけです。もっと広報を充実させてほしいです。(30代・身体)
- 難病も高次脳機能障害もあり、手帳申請中 いろいろな障害がひとつの身体にあるとき、総合的に相談できる人がいないので取り組んでもらえたらうれしい。(50代・身体)
- グループホームの充実親亡き後の財産、健康管理、親戚への連絡等の仕組みづくり。相談窓口、相談者の充実上記を市でできない場合、信頼できる機関や人の紹介(20代・身体)
- 精神障害ではないが、適応障害や不安障害の情報を充実させてほしい。気軽に相談できる機関を紹介してほしい。(以前どこで相談できるかわからず苦労したため)(30代・精神)
- 障害年金や障害者手帳が入手できない微妙な所にいる人にも何かしらの生活、経済支援があると家族に遠慮せず自分に使用できる少しでもお金があると助かる(50代・知的、精神)
- 市役所の相談員などが、精神障がいの知識の理解を研修などで増やすといいと思います。基本的には、三鷹は、福祉の努力が進んでいるので、とてもいい街だと思います。(20代・精神)
- 自分に適応される援助や福祉が全一覽からではわかりにくいので、せめてチャートなり枝分かれなりで「あなたが受けられる支援制度はコレ等」とわかりやすく「自分だけの一覧表示」が欲しい。(40代・精神)
- 市役所に電話しても、どこにかけていいかわからない。市役所の人もしゃべりやすい箇所につないでくれるかがわからない。税金のお知らせが来てもわかりにくい。自立支援証が言われた月にこない。(50代・精神)
- 今回、アンケートに関するハガキが郵送されてきましたが、障害福祉等の文言が、見える形で記載されていました。プライバシーに関わるため、他の人が見える形で郵便物を送らないでください。(20代・精神)
- 障がい者のための転職活動支援や、退職した方に対する支援などをわかりやすくしてほしいです。また、物価高にあたり、支援金などの充実をはかってほしいです。よろしく願いいたします。(30代・精神)
- ・高齢者福祉と障害者福祉等の共同化を進めてほしい(地域包括支援と相談支援の共同等) ・入所施設利用者のガイドヘル利用を可能として、外出機会の増加と地域生活支援の強化も図ってほしい(40代・身体、難病)
- 子供が発達障害を持っていますが、手帳が取れない級です。こうした福祉の隙間に入ってる人を助けてくれる場所があるとありがたいです。現在、一人に対応しています。(親戚にはたまに相談)(50代・いずれも持っていない)
- ・生きづらさを感じたりする人が集まって、安全な環境で話し合う場を提供する(当事者研究やオープンダイアログ的な) ・何か悩みのある人の問題解決に、ワンストップサービスで解決出来る部署の充実(30代・精神)
- 障がい者が、どのようなサービスを受けられるのかが何らかの形で明確に示されるといいなと思います。自分から探していくネット上などではなく、郵送などで定期的に教えてもらえるとありがたいなと思います。(30代・精神)
- 障がい者支援課など車椅子で相談に行く時、相談窓口の通路が狭いので、車椅子で窓口まで行けない時がある 通路を広くして、他の相談者に迷惑をかけないようにしてほしい。車椅子が通れる幅を確保してほしい(60代・知的)
- まだ多少見えていますがこの先普通に働くことが難しくなってきた際の支援、この体でも働ける所があれば嬉しい、一人暮らしなので住宅もあれば嬉しいですが公共住宅は駅から遠く使いづらいので充実すると嬉しい(50代・難病)
- 誰もが精神的、肉体的、経済的な最低限のゆとりを持って暮らしていけるように、住居や生活資金の支援をまずは充実させてほしいです。雇われて働く働き方だけでなく、多様な働き方への支援があると嬉しいです。(30代・精神)
- 親としての要望ですが、介護保険のケアマネさんの様な担当の方が決まっていれば、困った時に情報ももらえて、相談がしやすい。障害者支援は制度の詳細を知らないなので、どこまで対応してもらえるのかわからない。(30代・精神)

## A 障がい者調査 12. ご意見・ご要望等について

- 
- どのような事案の際に支援をしていただけるのかが分かりづらく行政サービスを分かりやすく広報をして頂けると助かります。広報誌をお届け頂くなど丁寧な対応をしていただいておりますが、活用できておりません。(50代・身体)
  - 広報などで、障がい者に対する取り組みなどもよくピックアップされており、しっかり取り組まれていると感じています。しかし、難病患者福祉手当などは、(減額された過去もあり、)金銭面の保証は低いと感じます。(40代・精神)
  - 世間には様々な困難を抱える障害者が多くいます。そういう人達が前向きな感情で生きて行ける社会になってほしいです。また、障害者支援に関わる補助金や助成金等の負担軽減策については、所得制限を無くしてほしいと思います。(20代・知的)
  - グループホーム等の充実 詐欺撲滅 タクシー券配布 幼・保・小学時代に重度施設の訪問、ふれあい、ボランティアなどを行いふつうのことととらえてほしい 精神障害への支援 特に夜中 いのちの電話などはあまり役に立たない…(50代・身体)
  - いつも支援をありがとうございます。家族としては十分と思っておりますが、立場が違えば様々な意見が集まるはずですので、それらに丁寧に対応していただけると助けになると思います。又、何かあれば協力させて下さい。保護者より(20歳未満・精神)
  - サービス時間の支給を一律にすることなく、ニーズを把握して必要量を支給してほしい。障害のある本人だけでなく、家族や兄弟の生活のために介護は家族がするものという考え方を見直し、親亡き後も地域で安心して暮らせるよう支援してほしい。(20代・難病)
  - 現在生活支援で掃除ヘルパーさんをお願いしていますが月2回で自費1万円弱です。年金から支払うのがとてもきびしく自立支援適応になると助かります 買い物等々その他受たいサービスも有りますが自費になります ふつうの生活がしたいです(50代・精神)
  - 今はほぼ健常者と同じ生活していますが、高齢独り暮らしになったときいざというときに SOS を求められるルートを民間サービス含め模索していきたいと思っていますがどこから手をつければベストなサービスを受けられるか、わからずにいます。(60代・精神)
  - 私は人と交流することがこわいです。現在、私のコミュニケーションの相手はペットの猫だけです。この猫が私のほじめての家族です。親はぎゃくたい、夫はDVだったので。猫にとっても助けられています。動物と生活できる支援があるとうれしいです。(60代・身体)
  - たくさんお世話になっていますが、経済的に困っているので、支援していただけるようなことを希望しています。また、手帳を持っていてもあまり得をすることがないので、何か変わってくれたら、助かります。何が無料で利用できるかなど、知りたいです。(40代・知的)
  - 希死念慮を持った人間と臨床心理士のコミュニティや、精神疾患の発症のきっかけにもなりうる性的マイノリティと臨床心理士の人間のコミュニティを作してほしい。チャットで完結する相談窓口や、自殺衝動が高まった時に繋がる窓口やチャット先がほしい。(20代・精神)
  - 日常生活や就業は基本的に自立しており、困っていることもないが、車椅子利用のため電気の付け替えやエアコンの掃除など、高い位置で行う物事ができない。その場合に受けられる支援があるのかわからない。支援を受けられる場合、補助をしてほしい。(20代・身体、難病)
  - 障がいがあっても、たとえ認知症の人を相手でも、年下が年上にタメ口をきくな。バカにしてるのか。障害者を。お金がなくても、体が不自由でも、無職でも、年上に対し、見下したようなタメ口を使うな。とくに、福祉科の職員は改めてほしい。(50代・いずれも持っていない)
  - 現在、息子は府中療育センターに長期入所しています。お陰様で体調も落ちついて、生活させてもらっています。これまで三鷹市障がい支援課にはお世話になってきました。ありがとうございます。これからもどうぞ、よろしくお願いいたします。〇〇(母)(50代・精神)
  - 自立支援受給者証の有効期間が現在1年となっているが、これを障害者手帳の有効期間と合わせて2年とするよう国その他の関係機関に働きかけてほしい。当該受給者証の更新手続きが頻繁であり、また受給者証交付までの時間が数カ月かかるため、使いにくい制度となっている。(50代・精神)
  - 通所福祉施設の専門的、知識を充実してほしい。家族が安心して預けられる、ショートステイ所をもっと作ってほしい。入所施設も。ヘルパーも全くいないので、利用出来ず、家族の休むひまがなく、生きづらい。本当に市には障がい者が安心して過ごせる施設を増やしてほしい。(20代・身体)
  - 障害のある人の世話をする家族の負担を軽減することと、障害のある人が自身で生活費を稼ぐ手段を増やすことが私の思う課題です。とはいえ、三鷹市には日頃から大変手厚く支援していただいていると感じています。普段からの取り組み・ご支援にこの場を借りて感謝申し上げます。(30代・精神)
  - 現在、賃借住宅に入居しており、今後身体の状態によって転居する際、障害がある事で賃借物件が借りられなくなるのではないかと不安がある為、そういう場合にどこに相談したら良いのか、又高齢者にもなっていくので、安心して住める場所の提供を充実していただけたらと思います(50代・精神)
  - 社会保障の金額や消費税をいくら上げても構わないので、その分、サービスの質を上げてもらいたいです。例えば、給付金の値段と回数の頻度を上げてもらいたいです。障害はどのようなものか、理解と好感がないのが、普通なので、今後も障害者の偏見は消えないままでいいです。(30代・精神)
  - これまで住んでいた所で三鷹市が一番親切心があり、情報開示が多い。これをずっと引き継いでいってほしい。三鷹市ではなかったが、生活保護から社会復帰への段階が難しく、一番支援が必要に思う。内容として、保護からステップアップの練習があると良い。もしなければお願いします。(30代・精神)
  - 障がい者の高齢化が進む中、“障がい福祉”と“高齢福祉”に対する行政組織、制度が縦割りになっているためのバリエーションを除いて欲しい。現在、私(障がい者)が50歳、同居の父親が81歳、両者が一緒に入居できる老人ホーム、グループホーム等が見つからないでいます。(50代・いずれも持っていない)
-

- ・タクシーチケットの金額と利用できる範囲の拡大 ・物価高に対応した手当ての値上げ ・介助をしてくれる家族に対する支援（控除項目の拡大等） ・エレベーター、エスカレーターの増設 ・車いすレンタル（役所に行かず、近くで借りられる） ・障がい年金をもらえるようにお願いします。（50代・難病）
- ・どのような福祉サービスを設けるべきか、多様なメンバーで話し合う機会づくりです。 ・過剰ではない、自立を目指した取り組みであってほしい ・サービスを受ける人、介護をする人、医師などの関係者がコミュニケーションを学ぶ場が必要だと思います。 ・将来世代の意見を取り入れたいです。（50代・知的）
- ・ほぼ健常者と変わらない鬱や心の障害の際は自己完結できる事が多いので、インターネット上から制度の情報を得られたり利用する方法（メンタルカウンセリングについての情報がほぼない）を増やして頂ければ幸いです。生活保護の担当者さんは自分より重篤な方について忙しい事が多く、相談しづらいです。（40代・難病）
- ・細かい相談に乗ってくれる、障がい理解のある保健師さん、カウンセラーさんをふやしてほしい。「困りごとがあったらこちらへ」という案内を定期的に郵便等で連絡していただけたら、相談しやすいと思います。急にこちらからアクションをとるのは、どうしても二の足をふんでしまい、ハードルが高いです。（50代・精神）
- ・福祉の現場で働く方々の給与待遇を充実させる事で、人手不足を解消してほしいです。ケアをして下さる方々の様々な面が充実すれば、その施設やサービスを利用する障がいを持つ人達にとって良い環境が整っていくのではないかと思います。また、三鷹市の子が通える特別支援学校があったらいいなと思います。（20代・身体、難病）
- ・障がいのある人への支援というより、誰でも安心して暮らせる社会になるように、と発想を変えていかないとあちらの人が優遇されている、損だ、得だ、という話しかないのではないかと不安である。そもそも誰もが尊重され、自由に生きられる、誰にも損なわれない、という人権啓発の取り組みが必要ではないかと考えます（40代・難病）
- ・私は平日頃、三鷹は他の地域にくらべて福祉が支援がいきとどいていてと思っています。その取りくみには感心してしまいます。市長さんが福祉に対しての考え方が深いからなのではないかと有難い思いが致します。弱者に優しい世の中に一人一人がそう思える日本になってくれたら生きづらさを感じずに生活できると思います。（60代・精神）
- ・以前、ゆーあいにTELをしたが非常に不誠実な対応を受けた。電話口は男性。ウェルビーも利用し、就職したことについては感謝しているが、その後はフォローバックアップもなく孤独を感じる。だからこそゆーあいのような施設にはしっかりしていただきたい。相対的に三鷹市の障害者支援は非常に遅れている印象をもっている。（40代・身体）
- ・グループホームへの支援、ありがとうございます。この後も安心して地域で暮らせるように御支援お願いいたします。支援員の確保が難しく、市でも小さなハローワークの様な御紹介して頂けるような、お口添え頂けるようなシステム（個人でも）があると、一歩踏み出せる方もいるのかなと思います。市の支援、大変感謝しております。災害がこないことを祈っています。（40代・身体）
- ・重度や精神や知的など、目立つ障害者の影に、軽度の身体障害者が生活に苦しんでいる事実にも着目していただきたい。軽度の身体障害者は軽度の支援しかされず（当たり前だが）、毎日働けないが、障害年金は一時金だけ、正社員にもなれず、この先の生活は不安でしかない。今は身内の支援でどうにか生かさせてもらっているが、それがなくなれば終わりと思っている。（40代・身体、難病）
- ・井の頭の担当者の対応や案内が非情にぞんざいで残念だった。案内された福祉サービスの電話番金が誤っていて、大変困りました。お一人でご判断せず、市内の同担当者の方々と情報交換や、それぞれのケースについてミーティング等をして欲しいと思いました。障がい者は、市の福祉の案内を頼りにしておりますので、本当に、どうか、正確な情報と案内、対応をお願いいたします。（50代・精神）
- ・市営住宅の充実（障害者グループホーム、1人暮らしの見守り、高齢家族との同居など様々なケースでの利用）福祉避難所（様々な障害などに対応 特別支援学校の教室などで親が集まり自主運営する事は不可能でしょうか 通常の避難所で他者へ迷惑を掛けないという事は難しい障害者が沢山います。皆さんなるべく自宅に居たいと希望しても家がなくなれば、行かざるを得ません。）（20代・知的）
- ・知的障害者支援施設に入所しているが、マイナンバーカードを作るにあたり、他の市は施設に役所の人に来て、写真やカード作成の手続きを、本人ならびに家族に代わりやってくれたが、三鷹市は対応外で作ってはくれなかった要は自分たちでやってくれとこういう事1つ取っても、三鷹市は福祉に関しては臨機応変だが、他の市に比べたら劣るもう少し柔軟な対応をしてくれるよう求めます（50代・知的、精神）
- ・障害者が高齢の母または父を介護をする事になるとケアマネジャーとかに相談するのだが、公機関で電話などで公平な意見が聞きたい時がある。ケアマネジャーも会社に所属しているのでお話を聞きすぎるとよけいな事までケアをする場合がある 気を付けているので今ところは大丈夫なのだがなれない人なんかは大変だと思います。障害者という弱さもあるのでなんとかなるといいなあとと思う（50代・身体）
- ・障がいのある人が支援だったり無料でうけられるサービスをHPに書いてほしい。きっと孤独な人でなやんでる人がいるのでいつでも相談できてみんなで自分の体験とか話せる場所がふえて社会的に楽になっただけいいと思う。いつもありがとうございます。これからもよろしくおねがいします。障がいがない人も働きやすくすしやすい日にどんどんなっていくと思うので手助けをおねがいします。（30代・難病）
- ・福祉は人の優しさ・ボランティア精神によって支えられていると思います。素晴らしい事ですが、綺麗事でもありません。支える人々（介護職、保育職など）のお給料は少なく、資格や知識を持つ専門職なのに、時給は学生アルバイト並みです。そのため人手不足で多忙、施設の改善や受け入れ人数を増やせないなどの問題があると思います。まずは受け入れる側の整備・補償が必要なのではないでしょうか。（40代・身体）
- ・本人は家が大好きです。（たとえば観葉植物を育てるのが趣味の一つ）（グループホームに持っていけない）家（自宅）で生活できる様に、ヘルパーや困った時に相談にのってもらえる体勢ができることを切望します。 ・本人は高次脳機能障害があり、失語症（特に読み障害）理解力低下がある。（調布市には、すでに障害者の多様な意志疎通に関する条例が出来ている）三鷹市も導入されることを望みます。（40代・身体）
- ・三鷹市は調布や府中の障がい者さんのサービスに比べていろいろなものが不充実だと感じています。住所を変えられれば調布のサービスを受けられるのに…と生活する場所をかえた方が良いのかと悩むことも沢山ありました。もっと障がい者さんの本人、家族のことを考えて利用できる施設、サービスを充実させて欲しいです。調布府中において下さい！！本人の将来が不安です。よろしくお願いします。（母）（20歳未満・精神）

## A 障がい者調査 12. ご意見・ご要望等について

- 今は家族と暮らしていますが、今後 1 人になった時のことが不安です。障がい者年金で一人暮らし(団地やアパート)するのに保証人がいないなど。行く末を計画するのに手助け、アドバイスしていただける窓口等がありましたらとても助かります。(40代にならないと介護保険が使えないから包括はまだ使えないと言われ、30代でも包括のようなサービスを受けられたらと思います)どうぞよろしくお願ひ致します。(30代・難病)
- 最近 YouTube で、知的障害者で自閉症の子供が支援学校を出た後の手続きに忙殺され、自分自身の身のまわりのことができなくなり、自宅をゴミ屋敷にしてしまったという事例をみました。この種の手続きのデジタル化、ワンストップ化を推進して、当事者のみならず、家族の負担も減らすべきではないでしょうか。このアンケートにはスマホで答えています、戻って回答を訂正するのが面倒です。(50代・いずれも持っていない)
- 月8万円ほどの収入で住民税で7千円、保険でも7千円、年金はもう見れません。6万に減ってしまいます。何回か電話で相談していますが助けてくれません。もう限界です。物価が上がり補助金がでているようですが私の家には連絡がありません。ギリギリで対象から外れてしまっているようです。ギリギリで何とか自立しようとしている人に一パン負担が多い税金どうかしてください。社会が憎いです。人が憎いです。(40代・身体)
- ①福祉がどうの、というより、都政や国政にもっとお金を出してもらって、公的に公務員や、職員を増やして、部署や、役所サービスを増やして、みんなが困らないようにしてもらいたい!! ②福祉のサービスだけでなく、訪問介護、看護、弁当、その他の民間の、子供食堂など含む団体だけでなく、個人商店や、個人まで調べて有資(あげる)、貸すのでは無い。あげるのです。これは塾や学童、保育なども、また商売している人にも、都政(50代・精神)
- このような問をする前に、私が弟(くも膜下出血で左半身まひ)の家の相談をしに行ったときに、はっきりいってなにも、参考にはならないし、本当にミタカにひっこすならその時に考えましようみたいなことを言われました。そもそもこういったさきを考えない人が市役所にいることがもんだいだと思います。とりくみ、じゅうじつげんに、あなたたちの障がい者、もしくは困っている人への対応をかんがえるべきじゃないでしょうか。(40代・身体)
- 自分自身が障害を抱えているが、将来的に子育てをしたいという気持ちがあり、そのために生活力をつけようと家事援助を受けたり、手帳を取得して支援を受けやすいようにしたり、その他体力・メンタルの改善や友人の子育てにかかわるなどさまざまに取り組んでいる。障害を持っていても、さまざまな人生を送れるようなサポートがほしい。具体的にはメンタルヘルス等に課題のある母親へのサポートやインクルーシブ教育の推進をしてほしい。(20代・精神)
- 物価高に対応できません。ケースワーカーは「クーラーはありますか?」とたずねてきますがクーラーがあっても電気代が払えなくなるので、使うかどうかは別の話です。仕方ない事だけど、聞き方や個人の尊厳をふみにじる発言は控えてほしいです。虐待の話はやめてほしいです。このようなアンケートも長すぎたり細かすぎると負担です。窓口で話している時にこちらの病症や受けている支援を大きな声で話す職員の方にも、少し気を遣ってほしいです。(40代・知的)
- 私が一番困っていることは、病を経て個立してしまい、気軽に何回でも、相談できる人か、話し相手になってくれる人があまりいないことです。話し相手はむずかしいかもしれませんが、無料の相談所、日々の中の悩みを聞いてくださる方が欲しいと思ったことは、何度かありました。今回送られてきた資料の中に、相談所らしきものの情報が乗っていたので、相談させていただけるか、問い合わせてみたいと思います。いろいろ考えてくださり、本当に感謝しています。(20代・精神)
- 健常者が働きやすく暮らしやすくなった結果として福祉が可能だと思おうので、障害者に対する予算の割合は税収に対して固定するなどし、不足があるのであれば障害者側が負担するべきだと思う。負担できないのであれば我慢するか、福祉の利用ができないことも受け入れるしかないと思う。福祉も重要であることは間違いないが、健常者の大きな負担の上で成り立っていることを理解するべきだと考えるし、権利を主張するのであればそれ相応の義務を果たすべきであると思う。(50代・精神)
- 三鷹市の障害支援課では継続したサポートが受けられない。誰が何を担当しているのかも分からない。保健師が全ての相談を一手に引き受けているからか、余裕がなく不親切な対応を受ける(知識不足)ことがある。もっと人員を配置して専門性の高い人材を育成してほしい。困りごとについてサービスを案内するだけで直接つなげてくれない。金銭的補助を充実させてほしい。アンケートにある相談支援専門員やケアマネジャーにはどうやってつながればいいのか?何を指すのか分かりません。質問項目に説明を入れてください。(30代・知的)
- 物価高が毎月圧迫され、年金を受けとれば良いですが、受けとれずとなると、生活苦しいです。三鷹の支援を注目してもらうにも、手帳全員に、毎月支援金あっても安心するの、信頼されるのではないのでしょうか…。住民費をお支払いしていると思うので、その免除でも良いかとは思いますが…。偏見は多分なくならないし、ヘルプマークの認識も、人それぞれだと思います。見える支援と、裏から支える支援両方をお願いいたします。ここまでお疲れ様でした。また無作意に選んで当方の意見きいて下さりありがとうございました。(20代・難病)
- 発達障害と精神障害の掛け合わせ当事者です。自ら情報収集をする力も弱く、受けることができていることが対象外になってから気付かされることが多いです。全ての母親、その中でも障害のある子もしくはグレーの子の母親には特に親身になってほしいです。健診、相談でマニュアル回答だったことを鮮明に覚えています。マニュアル回答をするぐらいなら、専門のカウセリング等に繋げてください。私は自力で繋がる前に潰れ、自分も子どもも使えるはずの支援が受けられませんでした。これ以上私のような母親を増やさないでほしいです。(30代・精神)
- 福祉タクシー利用券が300円と100円になって、全額使えるようになって良かったです。今回の分は5ヶ月で使い終わりました。GOアプリ(タクシー)でタクシー券を使って支払うと100円手数料がこれらに掛かる事になります。クレジットカード決済だと100円手数料がかりません。なので、タクシー券じゃなくて現金でもらうか、クレジットカード決済口座に振込してもらおうか、だとタクシーに1回分くらい多く乗れてうれしいです。本当にタクシーに乗ったかどうかを30,000円以上の領収書を提出するというのは、どうでしょうか?(50代・身体)
- 受けられる制度・支援の周知、現在はどこから入手すれば良いのかわからず、ネットで自身で検索している状態。ワンストップの相談窓口があると良い。現在、近隣に親族もいないため、障害者手帳や自立支援の申請・更新時はいつも苦労している。(市役所は平日日中しか開いていないため)。私のような状況で一人で自立して頑張っている人もいますので、週末や夜間の相談窓口も考えてほしい。現在は大丈夫だが状態が悪化し現状を継続できなくなった時(一人で自立して経済的にも自立でいなくなった時)相談できる窓口を常に知っておきたい。(50代・精神)
- 関東に言うことですが、公共機関のシステムが関西(大阪)より遅れているように感じました。例えば、電車の切符を買うとき、手帳を駅員に確認していただかないといけないうえ、みどりの窓口に並ぶので時間がかかるのですが、



人)というのをご理解いただきたい。そういう人に向けた「会社員以外」の人もうけられるような、相談窓口をつかって「どんな制度なら自分がもう少し生きやすくなるのか?申請できるのか?」を教えてください。申請できるような窓口、コールセンターなどを開設してもらえたらうれしい。(30代・身体、精神)

- 家族と離れたくても保護者が拒んでいない場合に受け入れてくれるグループホームが少ないこと(距離を一時的に置いた方がいい場合に逃げ込む先なども欲しい、特に若者や子供)。グループホームの利用者内で障害の程度が違ったり(精神的負担が大きくなりがち)、プライバシーが尊重されない場所(他の利用者に凸されたりなどの話も聞く)などばかりで、良くなるものも良くならないのでは?と思う場所が多い。(もちろん場合にはよります)支援を受けつつ回復に務める為の場が欲しいし、あったらもっと助かった。今後の若者や親と確執のある子供の為にもそういった安心して休める場所があって欲しい。精神的に疲弊する人達が増えていく中で回復する為の場所があまり無く、カウンセリングなども含めて回復出来る人を回復させる場は必要だと思う。今の制度ではどうしても、我慢できる人、我慢してしまう人が助けを求められない状態になっている。回復したら社会に戻りやすいそういった働く意欲が本来ある人達を助ける為の根本的な支援が欲しい。子供の頃からそういった時にいざとなったら、辛くなる前にどうしたらいいのか。どんな風に自分を大切にしたらいいのかを教えたりなど、自分を守る大人になれる教育の場が必要だと強く思います。(20代・難病)

- 初診日の要件によって障害年金の受給を断念せざるを得ない障害者が、現在も多く存在していることに強い懸念を抱いております。三鷹市においても、障害年金の受給者が数千人規模でいる一方、その「すき間」にいる方々は実態が把握されておらず、生活の苦しさを声に出せないままになっています。受給できている方には物価スライドによる年金額の補填が適用され続ける一方で、非受給の方々は物価高騰の直撃を受け、「生活の苦しき」を増すばかりです。こうした層は行政的にも統計上も「アンビジュアルな存在」とされ、放置されれば深刻な事態を招きかねません。そこで強く要望申し上げます。以下の施策を通じ、制度のすき間にいる障害者の生活を、市としても積極的に支えていただきたく存じます。要望事項 1. 障害年金受給非対象者の実態把握 受給できない理由(初診日の要件、書類不足など)の分類と、対象者数の調査を実施してください。2. デジタル商品券など即応的な経済支援 以前の「みたかデジタル商品券」が好評でしたが、このような仕組みを用いることで、障害年金受給非対象者に対し定期的に支援券を配布する制度の創設を希望します。3. 物価スライド相当の補填支援 障害年金を受給できない層には、生活費インフレ率相当の生活支援を底上げできる仕組みを導入していただけると、生活の安定性が大きく改善します。(40代・身体)

- 身体や知的とくらべて精神障害者が使えるサービスがまだまだ少ない。・重度の自閉症者の場合、通所や入所などの集団生活がなじまない。安心して暮らせる自宅でのサービスを充実させてほしい。相談、訓練、支援など自宅で受けてたい。同居する親が介護状態になった時には、子と一緒に自宅で支援を受けたい。他区のような親子で入れるグループホームなどもあったら良いと思う。・公共機関での外出はトラブルになりがちなので福祉タクシー券の配布がもう少し多ければ外出しやすくなると思う。一方、タクシー運転手によっては福祉タクシー券を使う障害者のことを理解していない。(特に個人タクシー)まず「タクシー福祉券を使えますか?」と聞くと露骨に嫌な顔をしたり、「チケット交換がめんどうかい」と断られたりする。降りる時「領収書を下さい」と言う。「福祉タクシー券を使うと領収書が出せない」と言われた。(本当なのでしょうか?)福祉タクシー券を出すのに時間がかかっているのは申し訳ないとは思いますが「早くしろ!ずいぶん待ってんだけど!!」などと怒鳴られる。紙のチケットではなくスイカなどにチャージできないでしょうか?タクシー会社への啓蒙をお願いします。・親の入院時などに安心して預けられる所があればと思う。親がコロナで緊急入院となった際、保健所が子の安否確認のみ電話でしてくれたものの食物もなく退院してきたら家の中が大変な状態になっていた。(20代・精神)

- 発達障害の大人、子供問わず個性を生かして偏見の無い世界になってほしい。その為の放課後等デイサービスなどが増えれば嬉しいですが。また勉強会などあっても楽しいです。うちは知的障害の無い発達障害の子供もいるのですが、放課後等デイサービスに行くとか知的の子もいるので(偏見などではなく)俺って何か人と違うの?と誤ってしまいます。親も支援をしたいですが難しい年頃やお友達にもカミングアウト出来ずにいるので、(身体、知的障害、ダウン症、知的に遅れの少ない)普通級で頑張っている発達障害の子達のデイサービスを使っても良いと思います。お金があれば私も作ろうとしたくらいです。逆に静かだけど身体やダウン症の子達はより支援が必要な事もあるのに衝動性の強い子達に先生が取られてしまうと聞いた事もありました。三鷹市はいつもいち早く動いてくれるのでこれを機に発達障害の人達が生きやすく、住みやすい環境を作って頂ければ嬉しいです。特に三鷹市の支援級は知的境界の子から受け入れる?知的では無い子は通級へといった感じとですが常に空きがなく、1年縛りなので足りないと思います。うちのクラスにもおそろく...という子は何人かいるのもっと受け皿や親が知る機会があれば良いと思いました。我が家は最初から分かっている密にやっていますが、学級崩壊の予防、発達障害の子達の自己肯定感を下げない為の支援をよろしくをお願いします。こういった子達は好きな事はとことん突き詰める子が多く上手く支援できればこれからの社会にとっても重宝される人材にもなるかと思えます。(30代・いずれも持っていない)

- 障がい者の利用出来る事がそもそも何なのか、不透明。ケアマネ、訪問看護、ヘルパーが毎週来るが、これが受けられますよという話はこれまで(色んなケアマネ訪問看護ヘルパーを利用)1度もない。こちらから、こんなあるみたいなのですか?と聞けば教えてはくれるし、とても困って何度も何度も相談すれば、教えてくれる事も、ある。ホームページ見ればわかるといわれても、なかなかホームページ開かないのが実情だと思うし、障がい者が利用すると少し安くなるバリアフリーの宿の事は、他の障がい者に、聞いて初めて知った。ホームページは文字苦手な人や私の様に理解が難しかったり時間かかる人は、開かないのでケアマネ、訪問看護、ヘルパー事務所とか、身近に、よくくる人たちから、使える制度を、全部、教えて欲しい。新たにではないし、日本全国の話だが、バリアフリーの徹底化をお願いしたい健常者が思うバリアフリーと、障がい者の思うバリアフリーに、大きな隔りがある。自転車道の為に歩道に乗り上げる為のなだらかに少している所も5センチ位の段差は、ほぼどこにも、あり、健常者からしたらスロープになってるだろ、と思うだろうが(自転車でもたまにそこで横滑りして転倒する人多いですよね)車椅子だと、かなりの段差とを感じる。まっすぐ突っ込むと登れない場合も多く、少し斜めに、そしてゆっくり通過しないことで、それでも痛み強い箇所に、ガツンと衝撃がくる。先にも書いているが、歩道の真ん中よりに電信柱が生えている場所もとても多く、全く通れない箇所すら存在する。多くの歩道は、狭く、電信柱は、通れるが、すってしてしまう事がとても多いし歩道が、15度位かな?傾斜が激しく、しかも車道へ向いていると場所も多くて、実際是非、車椅子でそこを通過して欲しい!車道へ車椅子が倒れそうになりとても危険で怖い。個人店舗は仕方ないがスーパーはせめて、通路は絶対通れる様にして欲しいし、レジも通過できない店舗もあるので、なんとかして欲しい。市役所のお手洗いの扉、特殊で戸感います。引っ越してきた時、市役所の障がい者の担当みたいな人がきてくれて大変ですなとは言ってくれたが何もしてくれず何のために来たのかわからないまま。2年に1度、聞き取り?みたいので市役所からくるけれどほぼ家事とか出来ないのも見て、家のごみ屋敷状態も見てののに家事のヘルパー頼む時間が全く増えないので、ごみ屋敷はどんどん加速する。時間増やして欲しいし、ボランティアや、市からの援助で例えばシルバー

人材程度の金額で定期的に家事援助とか色々頼める制度があったら皆助かります。本当は、きっとまだまだあるが、今、これを書くとき、思い出さないだけ。日々暮らしたり、ちょっとだけ外に出た時、色々思うが、日本だし、お、も、て、な、し、の心なんて、微塵も感じない人たちが殆どの国だから、諦めてしまう。本当は、諦めたらダメなんだろうと思う。障がい者は、例えばヘルパーさんとかも、やっていただいて、申し訳ない、という気持ちの人たちが多いと思う。お金お支払しているのに、まるでボランティアでやっていただいているかのように感じて、色々嫌な事をされたり、言ったとおりにまったやってくれなくても、なかなか言えない。そんなのおかしい！勿論、ありがとうとは思っているし、感謝するのは当然だが、色んなヘルパーや、ヘルパー事務所、ケアマネ、訪問看護がいて、何度も嫌な思いをしてきている。お金払って、嫌な思いをするのはやはりおかしい。そこには、障がい者の私たちも自分たちは劣っていると思われ育ち、そう思う健常者がいて、だから、差別が生まれる。幼児教育からなんとかするべきなのだろう。とは思いますが、とりあえずは、障がい者でも健常者と同じように、出掛けたり出来る世の中を！（50代・いづれも持っていない）

## ■施設・居場所

- ・通所施設の新設（50代・精神）
- ・通所施設 入所施設 グループホーム等充実してほしい（50代・身体,知的）
- ・地方ではなく、地域に入所施設希望 ・緊急一時保護の充実（30代・精神）
- ・駅前「ぴあ」のような緊急時の宿泊施設を、増やして欲しいと思います。（30代・精神）
- ・グループホームに入ることを目標にしています。施設の情報が欲しいです。（30代・知的）
- ・市内のグループホーム拡充（親の近くで生活） ・市内の通所施設の拡充（20代・精神）
- ・アンケートは施設入所している者が解答する項目が殆んどなくほぼ無解答になりました。施設入所対照のアンケートをお願いします。（50代・精神）
- ・障がい者が高齢になって、一人になったとき（親が病気、要介護等で面倒がみれなくなったとき）生活できる施設（老人ホーム等）がほしい（40代・精神）
- ・いろいろ回答しましたが、現状充分満足しています（本人）お年寄りばかりでなく、若い身体障がい者用の施設があればいいと思います（妻）（50代・精神）
- ・親元離れて安心して暮らせる入所施設を作してほしい。・緊急一時預かりやショートステイを使いたいときに確実に使えるようにしてほしい。（30代・身体,知的）
- ・通所施設・グループホーム共に介助職員が圧倒的に不足している為、利用が困難な事もあり、介護職員の充実を市としても力を入れていただきたい。（30代・知的）
- ・グループホーム、通所施設、デイケア施設を充実させてほしい 入所施設、短期入所が三鷹に無い 調布に行くなど、近隣に頼っている状態が長く続いている現状をどうにかして欲しい（30代・知的）
- ・ガソリン助成に加えてタクシー券も選べる様にしてほしい。（愛の手帳2度の障がい者に対して） 短期入所施設、入居施設（行動障害向け）の増設、行動援護事業ヘルパー不足の解消（60代・難病）
- ・調布には親元を離れての生活を体験する場があり、友人などは積極的に利用して、グループホーム移行までこぎつけた例もあります。ショートステイを含め、そのような体験施設の拡充を求めます。（30代・精神）
- ・全ての障害者のグループホーム、入所施設などを充実させることは困難だと思うので、一人暮らしを選んでも日常の見回りや掃除、洗濯、食事、病気のことなどを見守ってもらう体制を充実してもらいたいです。（50代・知的）
- ・強度行動障害者の通所先が限られているため、来年度開所予定の「こもれび」の三鷹市枠が1名程度と知り、ショックでした。施設の間取りなど環境調整を含め、考慮された「こもれび」のような環境があればとても有難いです。（30代・知的）
- ・そちらの通所施設へ見学に伺った方から聞いた話であり私自身が経験したことでないですが、精神障害者を受け入れている通所施設の一部では利用者さんに対して酷い暴言を言うこともあるそうで、そのような場所への指導に取り組んで頂きたいです。（20代・精神）
- ・①現在三鷹の施設の大沢にじの里への最大の協力を市長自ら働いてほしい。本人と家族を安心させて下さい ②いつまでも入所できる（大沢にじの里）にして下さい ③いままでの市長の考え方が素晴らしいと思いましたので、今後も大沢にじの里に金額と人的な協力をして下さい（40代・難病）
- ・世田谷区の歯科医師会がやっている口腔衛生センターのような障害者を治療してくれる施設がほしいです。ベッド型の治療台で、ネットをかけて動かないようにしてくれます。30年近く梅ヶ丘まで通っていますが、三鷹市内であれば近くで助かります。（先生方は交代で週1回担当なさっているようです。）（30代・身体）
- ・災害時など、一人で困っている時にサポートして下さる人がいるとありがたいです。サポートに興味がある方々に講習会を開くなど障がい者に対し心のバリアフリーの輪が少しでも広がると嬉しいです。・グループホームや入所施設を増やしてほしいです。トライアルも利用しやすくしてほしいです。・ガイドヘルパーを増やしてほしいです。（20代・身体）
- ・親がいなくなっても、障害者はひとりで生活していける様なグループホーム、自宅にいて生活援助がうけられる様、希望したい。お金が足りないから入所できない。三鷹市に寄付金がしてないから入所できない。ではなく、障害者の年金で生活していける様、お願いしたいです。現在の施設等の（特徴・空き具合等）みたか市報などで公表することはできないものなのでしょうか？（30代・身体）
- ・三鷹市役所隣の文化ホール？の入口やお手洗いはバリアフリー化されてないので、障害のある方にとっては不便な施設になってるような気がします。立地が立地なのと、災害時の活用などを考えると、対策が必要に見えました。近くに体育館がありますが、障害や病気を抱えていると、そこに行くのも遠い道のりに感じます。何かしらテコ入れや案内周知の計画など、準備していて欲しいなどと思いました。（30代・身体）

## A 障がい者調査 12. ご意見・ご要望等について

- ・新しくオープンする店や施設は、ユニバーサルデザインで、誰もが、使いやすい設計する取り決めあったらいいと思う。・誰でもトイレのように、名称や表記の仕方に問題を感じる。一般的なトイレの利用がむずかしい人を優先するような仕組みや名称にしてほしい。・エレベーターも同様に、他のもの（階段やエスカレーター）で行けるようにアナウンスで促すとか、表記を考えたり、エレベーターしか使えない人優先だとありがたい。（40代・身体）
- ・世の中、高齢社会だけど、障害者は、見えない所で、辛い思いをしてる。だからと言って政治家は、障害者のためになる事、一切しない。1人で、解決出来ない事もある。年を重ねるに連れて体の事もあるし施設通っていて自分は、この先どうなるか？心配、持病も増え趣味も思うように進まない。もっと、障害者のためになる事をして下さい。三鷹は、老人ホームばかり増えるけど？障害者グループホーム空いて無くて都心から離れると聞いて私は、みんなが、待っているから今の所を離れたくない。家庭も生活保護受けていてニュースを見てると生活保護受けていて高級な車やキャンプやってるのが、多く三鷹市も知らない所で、悪いのもいるので、考えて下さい。障害者の虐待を無くするようにして下さい。よろしく願いいたします。（50代・難病）
- ・前頁に記してしまいましたが、娘は今年で60才の還暦となりました。身体は小さいので周りからはとてもこの年には見えないと言われついで母親も年より若く見られていて感謝していますが、現実にはやはり80才を超えたらやはり今迄のようなわけには行かず歯科通院にこの一年頭をなやませました。結果的にはろう学校高校の時代に東京都が設立した飯田橋の口腔センターでお世話になったのですが、やはり地域にと言うことになりいろいろ探しましたが、調布市も青梅市にもダメで結局又もとの口腔センターでこの年末にかけて2ヶ月かけて2回手術が出来ることになりました。レントゲンの結果は虫歯が7本に増えてました！三鷹市にも是非一日も早く重度歯科通院施設をお願いする次第です。（60代・精神）
- ・世の中、高齢社会だけど、障害者は、見えない所で、辛い思いをしてる。だからと言って政治家は、障害者のためになる事、一切しない。1人で、解決出来ない事もある。年を重ねるに連れて体の事もあるし施設通っていて自分は、この先どうなるか？心配、持病も増え趣味も思うように進まない。もっと、障害者のためになる事をして下さい。三鷹は、老人ホームばかり増えるけど？障害者グループホーム空いて無くて都心から離れると聞いて私は、みんなが、待っているから今の所を離れたくない。家庭も生活保護受けていてニュースを見てると生活保護受けていて高級な車やキャンプやってるのが、多く三鷹市も知らない所で、悪いのもいるので、考えて下さい。障害者の虐待を無くするようにして下さい。よろしく願いいたします。（50代・難病）
- ・私は世間に関してとても未熟者ですので判った風には云えませんが、例えばですが、もしも自分ももっと若くに何かしらの病を経て自力で歩行が出来なくなり、車いす生活になったとしたならば、明るい内の庭園も素的ですが、夜になってからの庭園も（月明かりがあれば尚好し）趣があった素的な事、周りの静けさや虫の鳴く声、月の中のうさぎ、星座探し等…。夜には夜の好きがたーくさんいますので、夜間限定の施設が在っても好いのではないかなあ…と思ってみたりします。（※①）（夜しか開いていないので、夜空を見上げるきっかけにもなるように思います。）三鷹市には天文台が在りますので、星座ごとの反射光シールを作って（本のしおり大～図鑑サイズまで）（夜にならないと見えないふしぎな本（仮）等）三鷹市内限定販売とし、観行での三鷹市のお土産物にする。売上げの一部を病気の研究や補助機具の開発費用にし、病気とは何なのか、と云う確たる原因を探究する機関や学者さんの進歩を信じ、絶望せず、いつか必ず実を結ぶ日が来るのだと希望を持って、様々な取り組みをしてみるのも好いのではないかなーと思っております。私自身も頑張らねばとこれを記しながら思いました。（※①）障がいのある方が夜間でも楽しく過ごせる空間のこと。夜間は暗いから…とか夜道は危ないから等、「心配し過ぎず」に行ける場所。（50代・難病）

### ■移動・交通

- ・交通費の無料化（50代・精神）
- ・交通安全の充実：交差点での音声案内の整備（50代・精神）
- ・年齢に関係なく障害がある人への交通費の援助等（60代・知的）
- ・バスなどの乗り降りのもっと簡便化されると良いと思います（60代・精神）
- ・バスの運賃に割引を設けてほしい。都営バスが通っていないため（30代・知的）
- ・公共交通機関の充実 Cーバスの路線廃止の復活 車イス貸出の充実（50代・知的）
- ・障害者は立っていることも、大変疲れてしまうため、バスの本数を増やして欲しい。（40代・精神）
- ・バス、タクシー、電車など移動手段の費用軽減を障がい者が軽くとも拡充して欲しいです。（50代・不明）
- ・市内で移動する手段を充実させてはどうでしょうか？移動に苦勞するケースが多いのではないのでしょうか？（50代・精神）
- ・三鷹台からバスで市役所に行けるようにして欲しいです。不便で大変困っています。宜しくお願い致します。（50代・知的）
- ・障害者の親ですが愛の手帳2度ー3度の違いがありすぎ医療費とか交通費等の差が余りにも大きすぎ負担が多いです。（40代・身体）
- ・道路の段差解消 路面平らにして欲しい スライドドアの充実 障がいがある人もない人も思いやりをもった生活 偏見をなくしたい（40代・知的）
- ・移動支援の更なる充実・通所施設の更なる充実・障害のある人への差別、偏見を無くすこと・障害のある人が安心して医療を受けられる様に更なる充実（20代・身体）
- ・歩道の拡張タクシーチケット、もしくはバスのチケット等を拡充してもらえると嬉しいですが（障害者向けで、シルバーバスのようなものはないのでしょうか？）（50代・身体）
- ・私の住んでいる場所は都営で、高齢者が多くバス停が少し遠いのでコミュニティバスなど近くに走っていただければ便利かなと思います。（都営前バス停）←停車場など。（40代・精神）
- ・災害時、特定原材料8品目不使用の食物の提供などをしてほしい。三鷹シティバスの三鷹台ルートの午前中の便は大変混雑するため、せめて1時間に2便に増やしてほしい。（40代・知的）

- ・図書館の本予約システムを充実して欲しいです。肢体障害の為、移動が難しいので指定された期間に受け取りに行けなかったりします。天候なども移動する時には影響するので。(40代・難病)
- ・歩行者用の通路を、ゆっくり歩いても大丈夫だと思えるような道路づくりやマナーの啓蒙が必要だと思います。自転車との接触を常時気にしながら移動するのは大変だと思うからです。(60代・精神)
- ・知的と違い、発達への支援は少なく不登校への支援や生活支援が圧倒的に足りない。見た目に分かりにくいのが、支援が必要なのは明らかなので、移動支援の範囲(登校支援等)の検討や居宅支援を増やしてほしい(40代・知的)
- ・自転車のマナーが悪く、歩道を歩いても危険でぶつかる。歩道を自転車専用と勘違いしてるのか、スピードが出て危ない。歩道は狭いので、車道の左側に自転車レーンが書かれている道路は取り締まって欲しい。(40代・精神)
- ・私の世代も含めた高齢化社会が近づき車椅子使用者の増加が見込まれているにもかかわらず、多くの歩行者道路が狭い事、路肩内に電柱がある事等で車椅子での移動に限られたものになっている事が改善されたら良いなと思っています(50代・身体,知的)
- ・“うつ病などの精神障害は本人の甘えではなく誰にでもかかる可能性がある”ということの周知・市営住宅(シルバーピア・障害者住宅)を増やしてほしい(交通の便のいいところ、スーパー・病院の近い所に)切実な問題です(60代・身体)
- ・障がい者だけではなく、お年寄など移動に不安がある人が役所まで行かなければ手続きができない、ということが少なくなしてほしい。ネットや郵送での手続きがもっとできるようにならないと、気力や体力がない人から取り残されていくことになるので。(30代・精神)
- ・さらなる生活費用の軽減。助成、給付、控除、生活費・交通費の補助・心臓手術後の心臓リハビリができる医療施設紹介等、相談できる場所・ひと。高齢者ではない内部障害者のために、孤独からの解放・自宅バリアフリー化の工事費助成(非高齢者向けも)(50代・身体)
- ・福祉医療 障がい者が治療を受けやすい、三鷹市内の理解ある病院リスト(眼科、歯科、内科など) 障がい者支援課の担当職員が忙しく窓口に行っても電話しても、なかなか会えない、色々相談したい事が出来ない。相談窓口の充実を希望します。自転車専用道路を拡充。(40代・難病)
- ・治療のために外に運動しに行っても、体調が悪くなったときの帰りを考えると外出しづらいです。そのため、バス代をもっと割引してほしいです。また、三鷹は家賃も高く、病院代を考えるとひとり暮らしが始めづらいので、ひとり暮らしの支援もしていただくと嬉しいです。(20代・精神)
- ・お年寄りやインターネット操作に疎いので市報など紙面での情報提供が多いと伝わりやすいと感じます。まれに電動車椅子を操作して移動している方が、歩道が狭く段差移動がしづらいのか車道の左側を走行している事があるので、そのあたりの何かの改善があるとより良いかもしれません。(40代・精神)
- ・私は三鷹台駅を利用しています。歩道ができ歩きやすくなりましたが歩道白線のみのもともまだあります。歩道を充実して頂けるとありがたいです。交通機関、コミュニティバスなども充実させてほしい。webけんさくが得意でないのでできましたら紙の広報などのお知らせを充実させてほしいです。(50代・身体,精神)
- ・三鷹市の端の方でも平等に福祉を受けられるようにして下さい。ヘルパーさんから、遠いから行きたくないと言われることが多いので何か対策をしてほしいです。オンデマンド交通は、自宅内に停車スペースがあるのでそこまで来てほしいです。降車ポイントじゃなくてもおろしてほしい。そうでないと使えない(50代・身体,精神)
- ・現在交通機関(電車)の利用が出来ず、移動が困難な為、自転車などで移動出来る範囲での職場を探す上で、支援をしていただくと大変ありがたいです。また非常時、災害時(大地震など)において、自宅で一人である時、自宅から移動が出来なくなった場合本人と安否を確認できるような支援をお願いしたいです。(30代・精神)
- ・自閉症の特性なのか調子の良い時期ととても悪い時期が交互になってくる状態ですが、市の障害福祉課の職員さんも相談に乗っていただきながら生活しています。親の高齢化に伴って移動支援のサービスの充実や、本人が高齢化した時の生活の場を作ってほしいと思います。簡単な運動など体を動かせる場所や機会を充実させてほしいです。(30代・難病)
- ・軽度でてんかんを持っており自立支援制度を活用している。移動手段等の制限がかかるのに対し、福祉手帳の対象外のため、一般人と同じ生活をしているが、受給者証の提示で受けられるサービスや割引が少しでも増えると、とてもありがたい。当事者にしか分からない不便さやコンプレックス、差別などがあるので、少しでも気持ちに寄り添ってくれと幸いです。(30代・知的)
- ・障害のある方が市役所に手続きに行く時の交通費を助成していただくと助かります。また、市役所に行かなくても手続きができる方法などを検討していただくと助かります。障害者専用のWebサイトなどを運営していただき、その中で各障害者毎に必要な情報が見れたり手続きが行えたりできるとより快適になるのではないかと思います。難しいこともあるかと思いますが可能なことからよろしく願いいたします。(50代・精神)
- ・軽度だから声を上げられない。サポートしてほしいと言えない環境であることを知ってほしい。毎日ではなく、月に数度動けない時がある。他の人はもっと大変と思うと、声を上げられない。避難用サポートの有無の確認も、1年で状況は変わるので、確認してほしい。自転車に乗ってはいけないとドクターに言われ、バスにしているが10月からさらに値上がされるのは痛いので、バス便を増やしてくれたら、一人で行動できる。(50代・身体)
- ・日本はこれから急激に少子高齢化社会に突入してゆくと思われるので今まで車を主体に作られていたと思われる街づくり道路事情を自転車歩行者、車イスなどのウエイトを増やしてゆく必要があると思われます。あと私も年を重ねるにつれ、バス停までの移動もおっくうになってきている時があるのでもう既にAIデマンド交通など便利なものが出来てきているようですが、これからはこういうシステムをもっと充実してゆくと助かります。(60代・知的)
- ・他の市町村に比べて、公共交通機関が使いづらい。コミュニティバスをもっと武蔵野市のようにすみずみまで行き来させてほしい。運賃も他市に比べると、一般バスと同額で、補助とかないのか?と感じる(他市は一般市民でも割安に気軽に利用できる)三鷹市独自の市民(特に障害者)への公共的サービスがあってもよいのではないかと思います。先ほどのコミュニティバスにしても、路線廃止などあったが、使用していたので残念で仕方ない。(60代・身体,精神)

## A 障がい者調査 12. ご意見・ご要望等について

- ・歩道が狭かったり、途中で車道のみになってしまう道路がいくつかあり（連雀通り等）、危険なところがあるので、点検して直して欲しいです。医療費受給者証の更新が毎年あるが、webでの更新や書類の簡略化を検討してほしいです。（マイナ保険証に変わり、資格確認が複雑でした。マイナポータル非対応のスマートフォンだったためですが、高齢の方など、マイナポータルが使えない方も多いかと思しますので、工夫してほしいと思いました。）（40代・精神）
- ・災害時に遠距離の移動は無理なので、近くの施設等（一般の協力を含め）なるべく多く開放していただきたい。・現在、重度利用者のグループホームにいますが、やはり介護人不足で責任者の負担がとても大きく思います。親も高齢になってきていますし、何とかお願いしたいと思います。・移動支援サービスは、昨今の異常気象で身体の弱い者はとても利用しにくい。雪、台風、猛暑日などは施設で過ごす。タクシー、福祉タクシーを利用するなど柔軟な対応をしてほしい（40代・知的）
- ・将来親亡き後も安心して暮らせるようグループホーム等の整備が充実されるようにしてほしい（あるいは補助の増額）また、ホームと通所施設間の移動が難しい場合何らかの支援や助言があると良いと思う。・障害者の余暇活動は今現在もあるけれどもさらに種類が増えるとありがたい（例えば放課後デイの大人版のような感じのもの）。・必要な情報が必要な人に届くように（確実に）なると良いと思う。昨今の物価高・人不足等で厳しい状況だとは思いますが何卒宜しくお願い致します。（20代・精神）
- ・通所の時間が、学生時代より短かいので、成人も就業後通える日中一時支援の場を作って欲しい。移動支援サービスを利用することを市では勧められるが、居場所づくりが大切だと思います。・市内にショートステイできる場を増やして欲しい。又、一人暮らしやグループホームを体験できる施設も、市内にあると良いです。・「障がい」だけでなく、他の部門とも連携し、（例えばスポーツ、健康、芸術学習など）「障がい」という枠を超えた施策を実現していただくことを願っています。（20代・身体）
- 1 医療費助成 現在、医療費の助成は、東京都施策で実施している。しかし、対象が重度に限られており、対象外のものとの格差が生じている。 2 交通費や通信費の補助 障害者にとって社会参加や情報把握、他者とのコミュニケーションを意識することは健常者以上に大切なことである。しかし、人によっては移動費用や携帯電話などの維持が負担になっている。 3 行政手続きのオンライン化 行政の窓口に行かなくても、インターネットなどで手続きができるよう積極的に進めて欲しい。（50代・身体、難病）
- 私は現在パニック障害による広場恐怖症を患っているため、自宅から5分以上離れた場所に移動することができません。そのため体調が悪くても病院に通う事ができないため往診を受けたいのですが、市内では月に1~2度先生に通って頂く定期的な往診はあるものの単発で来ていただけるような往診がないため医療サービスを充実させて頂きたいです。また、食料調達や役所関係などについては両親にお願いしていますが、今後両親が高齢になり動けなくなった時に代わりに援助して頂けるような支援サービスなども整えて頂けると非常に助かります。（30代・精神）
- 路上喫煙、歩きタバコの規制を強化してほしいです。手にタバコを持ったまま歩道を歩き、下校中の児童に近くて冷や冷やします。バス停でバスを待っている間にタバコをすっている人がいます。バスが来ると、ポイ捨てします。タバコの煙、臭いで体調が悪くなります。「路上等喫煙禁止区域」とそうでない場所の違いが分かりづらいと思いますが、通学路で、まして小学生の下校の時間に平然とタバコをすっている人がいても誰も注意できないのはおかしいです。（三鷹第三小学校入口バス停）通学路などは、看板などを設置していただきたくお願い致します。（60代・精神）
- 自分は三鷹市と調布市の境に在住。何かと行政的にも調布市のサービスや窓口の方が移動的に便利です。例えば、健康診断などで、必ず「三鷹市の病院」指定で受けられないため、遠くの三鷹市の、またはかかったことのない病院に出向いている。それも行くまでの道のりも遠くて困ります。市境の在住者には隣接している病院も可能としていただけたら、近くてかかりつけに健康診断もお願いでき、データもカルテとして残る。かかりつけなのに健康診断は「健康診断はよそでやってください」と毎年言われ、受けるのをやめようかとも思っている。柔軟に他市と連携してほしい。（50代・知的）
- ・日頃、車イスで外を移動する場面では歩道がデコボコで走りづらい。歩道→横断歩道→歩道に移る時にとても大きな段差や山なりの高さで急斜面な所があり、とてもこわいです。→歩道、道路の整備をお願いします。（例えば、東八道路の歩道） ・介護サービスのように障がいのサービスにも日中に過ごせる場所が近くにほしいです。送迎付きだと遠くても行けますのでぜひ送迎付きの作業所とかデイサービスのような場所を障害のある人たちにも作ってほしいです。・補装具の申請など効率化してもっとスムーズに早く補装具の作製や修理ができるとありがたいです。よろしくをお願いします。（60代・精神）
- シニアカーを置ける所が少ない。道路も急にせまく、段差も多い。これは車イスの方も同様かと思う。シニアカーが歩行者と同様という認識も少ない。私は片マヒで普段は杖歩行が主だが、ちょっとした所にイスやベンチなどがあると助かる。作業療法などを学べるサークルがあったり、フレイブル予防の体操教室、ボッチャなど（例えるならば）のサークルなど、運動ができる場がほしい。具体的な状態、例えば片マヒならば、片手で使えるツメ切りや包丁やマネ板。便利グッズなど、日常の工夫やグッズ、克服法など閲覧や情報交換のできる冊子やサイトなど、よくある問題に対し、交換会などがあっても良いかと思う。（物・事などに対し）（50代・精神）
- ・音響信号の充実 ・病院、薬局等でマイナンバーカード保険証の認証が液晶のため、1人では受付できないので、対策してほしい。 ・白杖についての認知、理解教育を拡充してほしい（白杖＝全盲という誤った認識の改善） ・視覚障がい者支援アプリやアクセシビリティが充実しているスマホ（I・Phone等）はいまや視覚障がい者にとって生活必需品となっているが現在は補装具費の支給対象外となっているので対象となるように改善してほしい。 ・ヘルプマークが外国人観光客に悪用されているため、改善策を講じてほしい。偏見の眼がこわくて使用することができなくなった。 ・三鷹市民もよく利用する仙川駅から甲州街道の小田急バス乗り場までの点字ブロックの設置（調布市と連携）（60代・知的）
- 今は状態が安定しているので、不自由なく暮らせている。市内を自転車で移動するときに車道走行するのに、道幅が狭く（人見街道とか）危険を感じる。電信柱の地中下を願う。時々電動車椅子の方も自転車よりもゆっくりで、幅を要するので渋滞にもなり、そのプレッシャーも気の毒でならない。災害時は健康な方でもそうだが、すぐ医療に繋がられるかが大きな課題だと思う。そのような時は一般的な薬の配給はあっても難病の人が使用する薬は遅くなるのではと想像する。地方のように余剰の土地が多くなく、家屋崩壊等による廃棄物処理の時などどこに持って行くのだろうかなど、大規模火災時にどのような展開になっていくのか全くイメージできない。最低限の準備はしているがやはり薬の供給が心配。またもし災害になった時は、支援して下さる皆さんも共に被災者であり、身障者との寄り添

いではないが、支援される人、支援してくれる人共に励まし合いたい。これからもよろしく願います。(50代・身体)

- 長谷川HPがあるからか、精神疾患の対応ばかり検討されている感じがする。「障害」とひと言で言っても難病(外から解らないタイプ)や「障害」とまでいかなくとも(認定されずとも)外出できない重篤レベルで生活している人間もいる。その立場で発言させて頂くと、大沢地区は人間らしい生活ができるレベルにない不便さで、現在は勿論、今後を考えても不安で不眠になるほどである。又、大気汚染(川沿いの草刈り機の排ガス、長谷川HP利用者&スタッフの車の排ガス、高排ガスのバイクが多い)、騒音(川沿い草刈り機は年の1/3で朝7~18or19まで1日中)、夜中までうるさい集団バイクの音、調布市の味スタ音(スポーツ観戦、ライブ→雨戸をしめても浴室まで音が入ってくる)、調布花火大会の音と震動→(新築から数年なのに家がゆれるレベル)が頻回、早朝・夜間でも大声で会話をする老人や野鳥カンサツの人たち…全く気持ちの休まる日がない。安眠できた日がない。心臓にも重篤心疾があり、その度に動悸や他、難病症状にひびき、毎日がひどいストレスです。「大沢は自然が多くてすばらしい」などと言っているが利点はほんのわずかもない。野鳥やのら猫に毎日無責任にエサをやりながら回っている老男性(2~3人)がおり、そのせいで発情期のネコの鳴き声で眠れなかったり、庭をあらされたり、カラスも増え、非常に迷惑している。こういうことのとおりしまりも全くしておらず困っている!(↑動物愛護法違反で刑対象ですよ!)きちんとやってほしい。とにかく・大気汚染・騒音対策・生活レベルの改善(スーパー増設、郵便局、市政センター設置、バス増便(「市役所内」へ直通ルートつくって下さい!)今すぐどうにかしてほしい、きちんと行って下さい!![同市内の新川に住んだこともあったが、生活はもっと便利で静かだった。同じ市内でもあまりに違いすぎる。格差なくしてほしい!](40代・精神)

## ■就労・雇用

- 就労している方の給与の増加。(50代・身体)
- 隙間時間など障害者の柔軟な雇用。(40代・精神)
- 障害者の就労支援を充実してほしい(40代・精神)
- 仕事を探しやすくしてほしいでしょう(50代・精神)
- 就労、通勤時の介護(重度訪問介護)の充実(30代・精神)
- B型就労で働らいていますが、時給を上げてほしいです。(30代・身体)
- 就労支援やリワーク等への通所に対する交通費や昼食費の補助(30代・身体)
- 障害者向けの求人・仕事の充実を願っています。(50代・いずれも持っていない)
- 就労移行支援の利用内容の拡充。就労移行支援の利用期間の増加。(20代・精神)
- ハローワークなどと連携して、面接会などの就労支援策を実施してほしい。(40代・身体)
- 市役所の相談窓口を充実させてほしい。サービスやお金、仕事、生活のこと(50代・知的)
- 発達障害の人が、企業で働けるように支援すること。引きこもり家庭への支援。(40代・精神)
- 障害者雇用枠の拡充(65歳まで採用して欲しい)。年齢制限を撤廃して欲しい。(50代・身体)
- 就職機会や企業実習を受けられる機会のあっせん等を増やして頂けるとありがたいです。(30代・精神)
- 障害者雇用の働き口の増加、職場への障害理解の強化、相談しやすい窓口増加、障害者割引(20代・精神)
- 同じ病気を持っている人の就労だけでなく結婚や出産に関する事例などを身近に知ることができる機会が欲しい。(20代・身体)
- 会社などの雇用主への障がいの偏見をなくすよう、お金の給付ではなく、対面セミナー等を検討してほしい。(40代・身体、精神)
- 自立支援の更新申請書の交付してもらおうのももう少し駅前などでできると仕事の帰りに申請できたりしてもらえると助かります。(50代・身体)
- 就労継続支援事業B型に通っていますが、次に行くためにA型に通いたいのですが三鷹市にもあったらいいなと思っています。(40代・知的、精神)
- 就職先が広がり、受け入れをしてくれる企業の従業員みなさんが障がいへの理解してくれるような機会を作っていただけたら良い。(40代・身体、難病)
- 障害者雇用でお仕事させていただいてますがお給料が少なく障害者手帳が3級になり、障害年金がもらえなくなってしまってお金に不安があります。(30代・精神)
- 就労支援業所を増やしてほしい。中原に住んでいるので三鷹駅前や大沢など、行きづらい所が多い。利用できる施設は何ヶ所か市内に複数設けてほしい。(40代・難病)
- 雇用の充実。一般企業で働ける枠が増えること。病状が悪化しても、雇用が安定していること。所有している資格を生かした求人が少なく、相談対応してもらえるとありがたいです。(40代・身体)
- 今57才で企業に勤務していますが、60才定年後の就職先を相談する場所を教えてください母が高齢のため二世帯住宅で姉は居ますが食事の心配があるのでそれも相談する場所を知りたいです(50代・知的)
- 障がいのある方の生活、仕事について家族に頼ることが多いのですが、障がいのある方が高齢化すると、家族では難しいことがあります。行政として、支援を充実していただきたいと思えます。(30代・精神)
- 働いて稼ぎたいと思うものの、思ったより体力が無くて労働が出来ないことを実感。体力を使わなくても出来る仕事の斡旋や、どうしても収入減少にならざるを得ない部分の補助をお願いしたい。(50代・身体)

## A 障がい者調査 12. ご意見・ご要望等について

- 私は難病ですが身体的にまだ支援は必要としていない為、よく分かりません。(身体的に不自由な面も多少ありますが) これからも治療はずっと必要になりますがまだ仕事も出来てありがたいです。(60代・知的)
- 自立した生活が出来るように、居所の確保、就労支援に積極的に介入する事企業側も、障害者を雇い、定着させる為に必要な事を模索している(当事者が健常者であるがゆえに理解しづらい事がある)(40代・精神)
- 土日でも福祉相談ができる場所。福祉利用をしたくても仕事を休まないと平日だけだと行けない。給与が安い分、休んでまで行けないので、福祉支援が受けられない。手続を土日祝どちらかで対応してくれるところが欲しい。(60代・身体、難病)
- 障害者雇用を促進して欲しい。特に公共機関(市役所や図書館、児童館など)で働ける機会を増やして欲しい。オリイ研究所の分身ロボット OriHime は、三鷹が発祥の地です。是非、遠隔就労モデルの先駆者になって頂きたいです。(50代・精神)
- ・車椅子ユーザーが安心して一人暮らしできるように、住居のバリアフリー環境を充実させてほしい。・障がい者が多様な選択をして生活できるように、就労や生活をする上で必要な福祉サービスの制度を気軽に利用できるように工夫してほしい。(20代・精神)
- 障害者が働くときの賃金を上げること、特にうつ病などで働けない人はお金の困りやすいので、短時間でも働けて、きちんと収入が得られるようにしてほしい。障害者だと低賃金で簡単な仕事しかないの、スキルが活かせるハイエンド人材の雇用も創出してほしい。(50代・精神)
- 障がいがあってもいづれは仕事をしたいが、健康な人より体力・精神力が弱いので、多方面でサポートをお願いしたい。例えば、仕事先を探す、仕事内容・勤務時間を体調に合わせて変えられると、安心して就労できると思うので、会社と本人の間の手助けをして下さい。(30代・身体)
- 就労移行支援も継続支援 A も私のような中途障害 50 歳代が扱いにくいようで居場所が無い辛さがあった、高齢者、障害者をまとめないで、細分化した対応が欲しいです。支援者のスキルのアップをお願いします、O.T.PT. S.T からダメで、助かったのは社労士だけでした。(50代・精神)
- 特に障害支援担当者に真剣に真面目に仕事してほしい。税金で給料を貰っているという公僕の自覚をしっかり持ってほしい、このアンケートの動きが遅くておかしい。選択した内容と違う選択肢が反映されて正確な回答ができない。選択内容が全て正しいとは思わないで下さい。(60代・身体、知的)
- 今転職活動しているが、年齢的に壁があるようで書類選考が通らない事例が続いている。録画面談を実施している企業があり、聴覚障害者にとってあまりコミュニケーションが出来ないことがあった。転職活動を容易にできるようサポートするところがあればいい。(ハローワークを紹介するという問題ではない)(50代・身体)
- 精神疾患がある場合、仕事に制限がかかり収入がとて少ないことから一人暮らしが経済的に厳しく、都営住宅の単身も少なく入居もできなく今後の不安しかありません。国民年金も高すぎて払えない時があります。払わないと年金額が低く年金じゃ生活も出来ないと聞くのでとにかく不安でしかありません。(40代・身体、精神)
- ・重度障害者への在宅就労の推進・夜間巡回ヘルパー事業所(人員)を増やす・都営住宅や UR などの住宅を重度障害者でも住みやすく改修できるように、制度面の推進(玄関ドアの引き戸化など)・飲食店のテーブルを4つ足のタイプに改修することを推進する制度(車いすがきちんとテーブルの下に入っていけるように)(50代・精神)
- ヘルプマークつけている方が多いが、何の障がいなのか確認できない。窓口、あるいは企業によってうまく対応できないことが多いのもっと知ってほしい。筆談をお願いすることがあるが、通販などほとんど電話のみしか受けられないようだ。せめてメールアドレス、ネットで問合せできるように配慮してほしい。(←これ特に強く要望)(60代・精神)
- 2024.2月~1年間 B 型就労支援を利用して働く試みをしました。しかし主人の所得があるため「利用料」の支払いが必要となり、結果 工賃を貰っても半額程度しか手元に残らず、モチベーションの低下をとなりました。就労支援の場で、このような個人負担がかかる現状をなんとかして欲しいです。納得できずに働いた1年間でした。(50代・身体)
- 福祉施設 A 型事業所、働ける場所を、愛の手帳、ハンデをかかえる人達の大事な場所を、潰すというようなことをしないでほしい。雇用が何人いないとだめだとか、お金を減らされ、身分を削り落とす、そんな酷い事をして何になるんですか？ハンデがある人達の働く場所に、無理難題を押しつけるのはどうかと…。もっと考えた方がいい。(40代・精神)
- 障がい者の民間企業での所得は、障害などの配慮で時間が制約されているため、給与自体が低い(住民税非課税世帯)。家賃などを支払う賃貸住宅では家賃の金額が一人暮らしでも高い状態があるため、所得による家賃補助などの制度が必要、難病指定の意見書(臨床調査個人票)に対する補助金(精神障がい者手帳の診断書の助成金の難病指定バージョン)が必要。(40代・身体)
- 市内で障がい枠で一般企業や特例子会社などに就職した人は勤務先が 23 区内であることが多いと思います。私もですが、通勤時間が長時間になることが多く、疲れがたまりやすいです。帰りに行政の手続きなどをしたいときにも窓口が閉まっていることが多いのが残念です。土日祝日や夜間 21 時位まで手続きができる窓口をもっと市内に増やしてほしいと思います。(40代・身体)
- 今の私は、前回のパワハラ(2社でパワハラ経験あり)で退職に追い込まれた結果、うつ病にもなったし、履歴書もボロボロ、高年齢、貯金もつきて生保申請、と「仕事イヤ人生イヤ」状態にあり、未来に希望が持てません。長年就活ばかりしてもううんざりです。もし気力を取り戻す事が有るならば…フルタイムで高収入で働きたいです…三鷹市か、近辺で…。(40代・身体、難病)
- 他県、他市のように障害平等研修 DET を市役所をはじめ、あらゆる機関、施設、学校、企業ほかに毎年取り入れ実施し、市内の小学生以上から高齢者まで、誰もが DET を経験し、できる提案をし、町が良くなるために行動実行され続ける三鷹市になってください。また、そのために難病障害を持つ市民が DET ファシリテーターになり活躍できる後押しをしてください。(20代・身体)
- 私は、地域のコミュニティ活動に参加し、町会にも入って現在は二期目の班長もしております。そのせいか、仕事について聞かれると特に心苦しいです。家にいる時は、健常者の 1 / 10 も動けていませんので。やたら他人の仕事や

プライベートを聞いてくる風潮がなくなれば(仕事や家族=個人の価値とする風潮)ひきこもりの人も、外に出やすい世界になると思います。(50代・身体,知的)

- 障がい者の私が、軽度認知症の親の介護をしています。私が健常者ならできる介護なのでしょうが障がい者の私にとっては大変なことがたくさんあります。介護者が障がい者などの場合は、デイサービスの受け入れ枠を緩やかにしてほしい。週1回半日だけでは仕事もしながら介護するのはとても大変です。せめて半日ではなく1日。出来れば利用できる日も増やしてほしいです。(60代・精神)
- ①整形外科とは別に「リハビリ施設」があるととても有難いです。PT(理学療法士)の方に運動相談をしたり(自宅で出来る事を含め)したいです。②市民プールで(障害者枠)利用出来る様にしてほしいです。その際指導者は整形外科医、又はPTの方になっていただきたいです。ちなみに私は以前練馬区に在勤、在住してました時は仕事終わりにその様な環境で泳ぐことが出来ていました。(60代・知的)
- 障害を障がいと表記せず、障害の社会モデルに則った取り組みをしてほしい。発達性トラウマのためカウンセリングに通っているが、一時間一万円近くする。保険適応のカウンセリングはほとんどなく、あっても予約が取れない。そのため、カウンセリングを受ければ働けるようになる人も、お金が足りずにカウンセリングを受けられず、就労の機会を逃している。保険適応外のカウンセリング料金に、三鷹市から補助を出してほしい。(20代・知的,精神)
- 三鷹市に移り住み25年程になります。コミセン祭り等大人も子ども達もたのしめるイベントが定期的に行なわれているのは、とても良いことだと感じています。精神障がいのある人は、身体の方に比べ見た目では解かりにくいのです。職場での人間関係においても必要以上のストレスを感じ心身も病んでしまいます。精神障がいのある多くの人達が働きやすい職場環境が増えることを願っています。雇用する側の人達に障がいのある人達の理解を深めて欲しいです。(50代・精神)
- 重度の障がいを抱えた人の為の入所施設の充実を望みます。施設に入所することによって本人が安全に暮らせることは勿論ですが、四六時中お世話をする家族の方の肉体的・精神的疲弊や経済不安の解消も望めます。介護の時間を確保するために離職をしたり非正規雇用に就いたりしなければならなくなり、経済的に不安定になる世帯も少なくないと聞きます。本人が入所でできれば家族が安定した就労ができる可能性も高くなり、広い目で見れば三鷹市の税収増につながると考えます(40代・知的)
- 私は自立支援医療を受けています。今の会社は、精神科の事を理解してくれていますが、もし転職しても精神科に通院している事を理解してくれる企業が普通に沢山あるといいですね。お薬を飲んでいれば、何の問題も無く普通の方のように働いています。今の自立支援医療は、お薬が6種類までと決まっています。前は制限が無かったのに…足りないお薬は、内科の先生にお願いしています。前の様に、お薬の制限が無いととても助かります。お薬がジェネリックが無い物が困っています。どうかよろしく願います。(50代・身体)
- 精神障害者は、障害者向けの求人に応募しても落とされてしまいます。一般就労するしかないという困っている方に向けて、精神障害者のための求人があるといいと思います。もしくは在宅で働けるための支援があると良いと思います。就労移行支援などのスタッフは高圧的な方が多いです。(3ヶ所見ましたが、全ておかしいな、と思う方が一人はいらっしゃいます。)支援者が差別的であることが一番障害者の負担になると思いますので、サービスを行う方への教育、研修などを充実させることが最も重要なことだと思います。(30代・知的)
- 私は現在、うつ病、強迫神経症、慢性心不全、睡眠時無呼吸症候群、甲状腺機能低下症、高血圧症、下肢静脈瘤と多くの病気をかかえています。で仕事はしていません。独身で高齢の人と姉と住んでいますがもし一人になった時に、無職なので年金ももらえるか心配、一人高齢で寝たきりや介護が必要となった時、1人だとどうにもなりません。自殺したくはないがそうゆう人への相談・支援を取り組んでいただけたらいいと思います。そうゆう窓口を作って相談・支援を受けないと生きてゆけないと思いますのでそうゆう支援を充実して頂きたいです(50代・身体)
- B型作業所から支援してもらった身としては、毎月の工賃の低さがネックだった。貯金に回せるだけの余裕がなく、欲しい物も何ヶ月か我慢して、買った事がある。もう少し市の支援で、作業所に通い働く人たちの生活に、余裕が持てる賃金の向上をお願いしたい。あと障害者の就労支援を、もっと充実させて欲しい。就職活動をして、障害者に対する企業の雇用の狭さを感じた。障害者というだけで、出来る事が限られた業務内容や、障害に対する企業側の理解の足りなさを思い知らされた。雇用率は上がったというが、まだまだ偏見を感じる。市と支援事業所と企業の連携が、もっと進まないといけないと思う。以上です。(50代・精神)
- 色々不満を言っているのは、現状、受ける支援は非常に役に立っており助かる事も多い。ただ、誰も彼もが社会参画や就労したがっているような空気を作り、否応なしに組み込まうとしているのはどうかと思う。私は実家がどうしようもないので自立せざるを得ないから働いているが、やはり無職の時の方が生きていて非常に楽しかったし希死念慮もある程度は抑え込めた。今はまたぶり返えあるが...とは言え、予算も無尽蔵にある訳でもないのも理解している。社会参加しない選択肢を作る、は無理だとは思っている。現実的に考えるならば、バスや鉄道の料金が今よりもう少し安くなる制度ができれば嬉しいなど常々思っている。(20代・身体,難病)
- 障がいがあるからこそ、障がいがない人との隔たりはどうしてもあるもので、実際に数年前におとずれた職場体験先で小心すぎる余り脅す事で障がいのある人を抑え込む人に会った事があります。口論になった際、その人が「感情的にならない」と言ってにらみつけて来たので、「この人とは話し合いが出来ない」と思い、早い段階から体験先の就職を諦めました。後にその人が就労支援に関する所の人と知り、体験先のその後が心配になりました。(あの職場には障がいのある人が働いて、皆異様に静かでした)支援の人であっても障がいのある人を理解出来るとは限らないという事をこの一件で知り、だからこそ「障がい理解出来る人」が増えるきっかけが充実してほしいと思います。(30代・身体,難病)
- 障がい手帳がない方が就労不安にならないようにしてください。就労に向けての訓練、研修を充実してほしい。私の場合3才で交通事故に合ったのもあって小学生になってから話ができるようになったので、現在でも話がにがてです。市役所に就労の相談に行きましたが、就職する所がない!施設で働くことはできて、手帳がない人は、長くは働けないと言われました。面接してくれるのは、工事現場だけしかなくて、頭、テンカン、自律神経失調症だったので、工事現場は死ぬのを覚悟で働かないとならないと思ったので、給料が無く、食事にこまらない、ヤマギンジムに約9年テンカンが治るまで行くことにしました。就労する所があれば地方に行かないで生活できました。自立支援も東京に帰ってから初めて知りました。年金も少ないので、将来は不安です。仕事ができなくなったらおわりです!(60代・精神)
- 私はメンタルクリニックに通っています。数年前9ヶ月の休職を経て、復職し今もなんとか会社で働き続けています。復職の際、クリニックのリワークの精度で自律訓練法(グループ瞑想の一種)を行い、とても精神が安定し、その

## A 障がい者調査 12. ご意見・ご要望等について

効果を実感しました。復職と共にリワークも終了し、瞑想する機会も徐々に減ってしまいました。日々仕事や育児に忙殺され、あまりそのような余裕が持てない為です。最近、たまたま私の尊敬する映画監督の故デヴィッド・リンチ氏が超越瞑想(TM)の実践者である事を知り、再び瞑想に興味を持ちはじめました。それができる機関などを調べておりましたが、まさにこの三鷹市内でも TM のコーチングをされていることがわかったのですが、それなりに料金が高く、なかなか敷居の高いものでした。今回たまたまアンケートの機会をいただけたので、試しにお願いなのですが三鷹市主催で TM が体験できる場を設けてくださればありがたいなと思いました。精神面の病気や障害に悩まれている方も、そうでない方も参加することができ多幸感や自己肯定感が湧いてくるような、そういった訓練やサポートになるかと思うので、何卒ご協力願えればと思つた次第です。やや自分勝手なお願いですが、多くの方が興味を持たれるのでは?と思います。よろしくお願ひ致します。(30代・精神)

- いつもご対応ありがとうございます。服薬や体調の関係で、安定的な就業、生活が難しい者です。上記の理由から公共交通機関が私にとって移動の大動脈ですが、障害の程度の問題で料金が減免にならないことも多く、かといって収入もごく限られている状況のため、配偶者がいなくなったら生活はとくに破綻していたと思います。財政状況から大変難しいことは重々承知しておりますが、経済的に負担の少ない(軽くなる)取組を望みます。(就労支援ももちろん有難いのですが、まずそこまでたどりつける体調になるまで貯金がありません。上記とは内容が異なりますが、2点意見としてお納めください。①ヘルプカード配布について 窓口での配布の開始ありがとうございます。自分で申し出る前提ではあるのですが、手続きで窓口を訪れた際に申し出やすいよう、何か表示があると助かります。(自立支援医療制度のカバー見本のようなもので充分です)手続きに追われて言いそびれ、未だにもらいそびれています。②手帳再交付時の証明について 精神の場合、手帳の再交付中の証明書はないと聞いています。身体に比較して他者から分かりにくいぶん、証明書があると助かります。認知、意識の障害のため紛失しやすいのが現状と思われるその期間中、サービスが受けられないことは経済的な負担が大きいです(30代・精神)
- 高齢者は高齢者の窓口、障害者は障害者の窓口という市役所独特の縦割りの弊害が市民に皺寄せが来てしまい、三鷹市役所内の窓口間での横の連係が取れていない様に感じ、8050 問題に対する支援サービスが圧倒的に不足している足りなさ過ぎだ。障害者や老障介護等々の世帯に対しては個別に合わせたきめ細やかな対応が必要だ。普段の日常生活においても自分達の発達障害の事だけで精一杯なのにもかかわらず、親の介護問題となるとケアマネや市役所等々の方達から『貴方達の親でしょ?』とか完璧ばかり求めてくるのには強い不快感を覚えた。発達障害者の特性としてマルチタスクが苦手つまり複数同時に物事をこなすのが苦手だったりするのでそこを無理矢理矯正する方向に持っていくのではなく、親の介護問題では極力負担を避けるのが一番望ましい解決策だ。親の特養入所等導入の際に健常者世帯のただ仕事が忙しい人や遠距離介護世帯の人達だけをサービス支援の中で優遇するのは大変不公平だ。かけはしでお世話になっていた際に強い違和感を覚えた点は当時の所長の堀内さんや高橋さん達は私が何か話すと必ず頭ごなしに否定する等の上から目線の対応がなされつつあったからそれだったらかけはしには相談に行かない方がよいと当時は思った。障害者に対する支援というものはお仕着せテンプレート対応でなく、否定する事なく障害者本人の言う事に耳を傾けて欲しい。障害者本人の意思や自己決定権を最優先とし最大限の配慮が最も必要である。(50代・身体)

### ■理解促進・啓発

- 相互理解への取り組み(40代・身体)
- 理解し合える環境があることが一番だと思います。(30代・難病)
- 既に大人は手遅れだから、子供に障害者への理解が進む教育をお願いします。(40代・精神)
- 障がいの方とのふれあいの場を作って頂き色々な方に個々の個性を理解してもらいたい(30代・精神)
- 手話や点字などを基本的に理解できる環境を構築する教育が義務教育で取り入れられたら良いと思います。(60代・身体、精神)
- 学校で障がい者理解の教育を行ってほしい。ボランティアやパラアスリート講演など身近で障害者と接し、理解が進むと良いと思います。(60代・知的)
- 細すぎる歩道でツエについて歩くのは大変なので歩きやすい道を作ってほしい。内部障害への理解を拡げてほしい(身体的には普通に見えてしまうので)。(30代・精神)
- 歩道や公共施設のバリアフリー化など。インクルーシブ教育。子どもの頃から障がいのある人とない人が接する機会が多い方が、共生社会に近づける気がします。(30代・精神)
- 障害のある方との交流や理解を深められるようなイベントなどを増やしていくことで、多くの人たちがいろいろな障害について知る機会をつくることは大事なのかなと思う。(30代・精神)
- 勤務先などに、どのような障害があり、どのような場面で対応が難しいかなど、行政の側から伝達を、更に深く伝えていただく周囲の理解が少しは得られるのではないかと望んでいます(40代・精神)
- 同性愛者やトランスジェンダーの方への差別や偏見の無い三鷹市にしてほしい。同性愛のパートナーシップを導入し、市民、職員共に性的少数者への理解を深めてほしい。武蔵野市のように。(30代・精神)
- まずは市役所の方々が障がいある方に対して理解できているのでしょうか。見ためではわからない色々な人がいます。障がい者に対してどんな対応すれば良いのかそして市役所は健常者にもっと教えてあげるといいのではと思います。(30代・精神)
- 「障がいのある方の取り組み」と言う言い方ではなく障がいのある・なし関係ない理解してもらえるような取り組みが先ではないでしょうか?こういうアンケートも必要だと思いますが、おたがいに知れるようなイベントとかをやってみた方がいいのかなあ?と思います。イベントをもっともっとやりたいです。(40代・身体)
- お互いを紹介できる広場があつていいと思います。広場公園の活用へ。名札や最寄りの連絡先を首にぶらさげる等工夫する。コミュニケーションに時間を要すると思うので環境に理解のある人を増やす。普通に会話を楽しめますように安全を願います。三鷹市に明るい人で会話が普通にできる人なお手話のできる人ならつき合つてみたいです。(50代・精神)

- ・今もなお、三鷹市のみではなく障がい者「ひとりひとり」を理解をするひとが少ないことが問題に見えます。時間や労力が足りないことも理解できますが、理解してもらえない障がい者本人からすると「差別」していることと同じです。これは市役所の皆さんだけでは難しいことと思いますが、障がい者とのふれあいの場をもう少し充実させてください。(30代・精神)
- ・障害があるために働くことが出来ません。アルバイトの面接に受かってでも障害のせいにされたり、自分的に苦しいかんきょうで(理解の部分)(みたくはふつうにしてみえる)長く働くことも出来ず、収入でこまっています。もし出来たら、障害者の手当を増してほしいです。ふつうに見えても頭の中や、体の障害の理解が増えても収入がないと心の余裕もありません。(20代・知的, 精神)
- ・Dayケアは府中で受け入れたことがある。三鷹は対応がない。ずさんな対応にはおどろきます。少しは障害からのがれられずにいる多くの人々に対する理解と予算の確保を他人の親ばかりに期待せずに実践して行ってください。まっくらな日々を一人で送っている人が、少しでも明るいあしたを迎えられるように、地域全体が少しずつでも歩んでいかなければ、事態は変わらないので。(50代・身体)
- ・〈一人の人間として認めてくれる社会〉誰もが広く見たらなにかしら障がいと思える所を持っているものです。互いに認めあったら、互いに身になることがあります。障がい者を持って初めて感ずること、それには長い時間が必要でした。それを普通に生活している人達に理解してもらうにはもっともっと時がかかるでしょう(今は普通がどこなのか思ってしまう)でもそうなるとうれしく思います。(50代・身体)
- ・軽度、重度に拘わらず、対応の比較的単純で容易な障害者は作業所もグループホームも受け入れて貰い易い。一方、重複障害者や対応の難しい障害者は手が掛るために、なかなか受入れて貰えない。親も頑張れる内は、いくらでも頑張るが年を取り過ぎて、自分の事も、難しくなってくると、どう頑張っても、もう無理。行政は理解してくれても事業所に頼む立場にはないとのこと。実際のところ両側の戸を閉められた状態で悶々とし、1日1日親の自分が年を取ることさえ恐怖です。本人はそうした状況を理解できる力はありません。(障害者の親の立場で)(50代・身体)

## ■医療体制

- ・医療費の補助公衆トイレの充実(50代・精神)
- ・医療機関での付き添いを行ってほしい。(30代・知的)
- ・グループホームと優しくみてる病院(20代・身体, 精神)
- ・障がいに理解のある医療機関を充実してもらいたいです(20代・知的, 精神)
- ・住居確保や医療に関して、適時な情報提供・将来に対する不安感の解消(60代・知的, 難病)
- ・医療費の支払い上限金額を、年収で判断されます。子育て中でお金がかかるので、そこも考慮してほしいです。(40代・知的)
- ・日本の精神科医療にも、オルタナティブの考えかたを取り入れてほしい。現在は、薬物療法に、頼りすぎです。(50代・難病)
- ・自立支援医療の手続きがもっと簡素化されると助かります。施設への入所手続きも同様に簡素化してほしいです。(40代・身体)
- ・マイナ保険証を出した時に薬の情報や既往歴を見られるのが嫌なので、資格確認証でスムーズに医療が受けられるクリニック等を一覧にして欲しい(20代・難病)
- ・日中起きれば活動が夕方から夜になってしまうので夜間でも対応してくれる窓口の設立。生活保護の医療券をインターネット上で申請できるようにしてほしい(20代・身体)
- ・自立支援医療だけの活用のため、対面での相談頻度は以前より少なくなりました。物価高騰もあり、休職、リワークを利用していますが不安がつきないと感じます。(40代・身体)
- ・医療費が高額なので、助成金などを増やしていただくと助かります。病気のためにもう少し働きたいとおもっていても、シフトを増やすと体調を崩してしまうため、悩んでいるところです。(40代・知的)
- ・難病医療費助成(東京都)、手当(三鷹市)を受けていて非常に助かっています。助成があるゆえに高額な薬の投与を受け、病状が安定しています。財政は厳しいでしょうが難病手当をなくさないで欲しいです。(50代・知的)
- ・本人が重度の障害のため、今後も病院での看護、介護が必要な状況です。病院が神奈川県下にある為、東京都、三鷹市の皆さまには、事務手続き上、大変お手数をお掛けしておりますが、引き続き、よろしく願い申し上げます。本人の父：大野信行(40代・精神)
- ・身の回りに案外精神的な障害を持っている(そう診断された)人が多いと感じているので、病気になる前に早期発見できるような機会の創出・自立支援制度が病院では「任意」な形で特にそういった制度があることすら伝えられる機会がないので、自立支援制度の認知の拡大(20代・知的)
- ・特定疾患(難病)手当(市)の増額・所得等の制限の引き上げ手取り収入が増えても、医療費の自己負担上限が大きく上がるため、生活の苦しさは改善されません。実態に合った支援のためには、所得等の制限を引き上げ、より多くの人が医療費助成を受けられるようにしていただきたいです。(20代・身体)
- ・本人(33才自閉症)は現在、千葉県にあるグループホームで生活していますが、遠いので病院にも連れていけず、そして不衛生な生活をしていても注意してやれずいます。心配で心配でなりません。どうか親子で暮らせる施設を作ってほしいです。そして安心して死をむかえたいと思います。(母)(30代・難病)
- ・今は家族と生活しています。老いてから一人になる事が不安です。グループホーム等は考えられませんが、支援等は平等に受けたいです。家族と生活している事で不理になる事も多いと思います。障がいにおいても、医療費は普通と同じという事も納得がいけないですね。重度も軽度でも障がい者は同じだと思います。(30代・知的)
- ・自立支援を利用しているが手続きから手元に届くまで時間がかかりすぎ、病院や薬局に手間をかけてしまう。もう少しスムーズに発行してほしい。こちらから申請に行かないと期限がきれていても気づかずに過ぎてしまう事がある。できればハガキなどで期限が近づいたら知らせて欲しい。LINEやメールを利用しても良い。(50代・精神)

## A 障がい者調査 12. ご意見・ご要望等について

- 担当のケースワーカーが、保健所の女性職員同席の面談などでは自宅に来訪されるのに、平時に居所の困り事などを聞いてもらったことがない。体幹障害があると説明しても、医療費でコンタクトレンズを買うことは許可出来ない、という返答をされる等、職員の障害者への理解がないと思うので研修などの機会を設けていただきたい。(30代・精神)
- 現在84才の母親が57才の子供をすべてみている状態です。本来なら母親を介護する子供でしょう。うちでは全く逆です。一度市役所で相談した時は窓口が違うとかでそれきりでした。高齢の親が子供を面倒みる逆の場合何とかならないのか、毎日病院まで迎えに行くのが、何とかならないか、オムツ代が大変です。これも何とかならないか。(50代・知的)
- 制度について知る機会がない。自立支援医療の件でたまたま窓口へ行った際、収入がないので自己負担が0になるとのお話があり、手続きをした。その際に担当の方に「(収入のないことが)早く分かっていたら、もっと前から対象だった。」と言われた。ですが、そんなことはどうすれば制度があると分かって窓口へ行くのでしょうか。教えて欲しいです。(50代・精神)
- 金銭的余裕がないので給付金などがあつたら良いと思います。また自立支援医療を(精神通院)だけではなく他の病院・病気にもつかえるようにしてほしい。医療費だけでもかなりかかってしまい病院に行きたくてもやめてしまうことがある。婦人科系の病気もすぐには治らず通院するのが長くなるので家計に響くのももし可能なら新たに取り組んでほしいことがあります。(20代・知的)
- 障害者をひとくくりにしたこのアンケートをすぐにやめるべきであると考えます。医療者として、障害者を理解しておらず、そして、設問したいが、障害者を理解していない方が作成しているようにしか思えず、大変、不快です。もう一度、障害者福祉のあり方を学ぶ必要があると考えます。こちらのアンケートが、データ化されて、市民へ報告されることを願います。(40代・身体)
- 障がい者支援課の方々が、いつもとても親身になって相談にのってくださり感謝しています。本人の親が亡き後、姉妹で面倒を見ていますが一緒に年をとっていくので、今後のことがとても心配です。(自分の子供に面倒を見させるわけにはいかないと考えています。今は成人した子供たちも手伝ってくれていますが)高齢になった後の居場所(医療機関も)作りをぜひお願いしたいです。(50代・身体、難病)
- 現在身体3級ですが毎月4千円の手当です、4級以上の近隣の市の手当に比べ三鷹市は月4千円と少ないです。正直外出自体ほとんどできないのでタクシー券や、ガソリン補助など使う頻度もあまりないです。最初から医療代や生活費に回しやすいように手当の金額をあげてほしいです。武蔵野市 4級以上なら月11,000円、国分寺月5,400円、調布月6,000円、府中月7,500円(50代・精神)
- 子供が成人すると親が定年を迎えたり、祖父・祖母の介護が必要になってきたりします。重度の知的障害を持つ人には、日中活動・送迎・医療・住居ができれば包括的にカバーできる様な支援が必要だと思えます。予約を取るのに数ヶ月前に準備をしたり(回答待ち)、数ヶ所の事業所に連絡を取らなければいけなかったりするのは利用しづらいと思えます。緊急のステイ先も確保できたら良いと思えます。(30代・精神)
- ・手話通訳設置する時は文字の設置もセットでイベント内容を伝える(伝えることで興味をもち、参加しやすくなる) ・市内飲食店、スーパー等接客業、病院薬局では音声認識ツールのディスプレイ設置があると、会計時は安心できる ・広報、冊子に載せる店舗、施設情報や載せる際のTELしか原稿に載せてない場合、必ずメール、FAXのチェックをして頂きたい。記載するよう公の指導して下さい(50代・身体、知的、精神)
- 私は重度の障がいも難病でもありませんが、ささいな病気がいくつもあると日々一般的に健康な人に比べたらしんどくつらいことも多々あります。がんばらなきゃ同じにならない軽度の自立支援や難病助成受けてる人ももう少しだけ働らくことや生活への配慮や支援があるとありがたいです。その情報は今のところないように思えます。しかし、難病助成で市からの補助金はかかりすぎる医療費に大変有難く使用させていただいています。ありがとうございます。(40代・身体)
- 障害を抱えてから障害者手帳を取得するまでが長く、その間に無理解な差別を受けたり、支援を利用できず大変こまっていたので、まだ認定を受けていなくても代替措置(医師の証明など)で公的支援を受けられる制度が必要ではないかと思えます。また、慢性的な症状を抱える疾患では医療費が多くかかりますので、湿布や痛み止めは引き続き保険適用していただきたいですし、障害の等級や難病指定の有無にかかわらず、必要とあらば身体面でも自立支援のような医療費支援制度がほしいです。(20代・知的)
- 特別支援学校を卒業してから19歳、20歳、それ以降は、健康保険、年金等の手続きが必要なことが沢山ありますが、通院する病院を移行しなければならない、通所施設に慣れさせる等、親も取り組むことが多く大変な時期でもあります。本人が20歳になったとき、親が働く間は扶養であると勘違いし、医療の受給者証の手続きを見落としました。市役所の窓口は、福祉・健康保険・年金も別々でわかりづらいので、年齢別の手続きチェックシートとかあつたら、見落としもなくなるのではと考えます。(20代・精神)
- 三鷹市職員様方たちには、感謝しきりです。厚生労働省もしかりです。東京都が、何をやっていらっしゃるかを、三鷹市職員様方たちから、柔軟に、優しく、易しく、伝えて頂きたいです。三鷹市の医療・福祉・介護・保健・人権の取り組みは、だいたい、もう出来るところまでやっていらっしゃるのではないのでしょうか。三鷹市職員様方たちの負担を減らす時代、とゆうのは、見識違いなのかなあ?敢えて言えば、住宅供給を障害者・健康者の区別なく、勧めます。宜しくお願ひします。お読み頂き、ありがとうございます。(50代・身体)
- 軽度の精神障害がある家族のケアや通院つきそいをお願いしたくて、三鷹市から紹介された団体の人に来てもらったが、全く配慮がなく、コミュニケーションに問題のある人が派遣されてきた。家族を間違った病院につれて行き、「時間だから」とそこに置き去りにして帰ってしまった。たまたまなのかもしれないが、紹介する団体の内容について、もう少し把握して欲しい。できれば、老人介護のように、精神障害にもコーディネイトしてくれるケアマネさんのような知識のある人を市から紹介してもらえる制度があるとありがたい。(60代・知的、精神)
- 85才の母が、ごく初期の認知症の可能性があると判断された。身体は健康で要介護はついていないが、会話がかみあわずコミュニケーションが取りづらくなってきている。又、記憶力の低下も見られ、気分の落ち込みも激しい。どの医療機関に診てもらえば良いのかわからない。認知症の検査をした病院に訊いても、適切な答えを教えてくれなかった。母の場合、『障がい』ではないが、大変困っている。地域包括支援センターでも、具体的な病院の紹介はしてくれなかった。中立な立場として紹介はしない(できない)という方針なのだろうか?(50代・精神)

- 本人も親も年を取っていきます。いつかは別々の人生を歩む事になるのでしょう。ただ、今は様々な人の援助を受けながら自宅で家族と共に暮らしている息子（本人）が、とても幸せなのではと思っています。入所施設の充実は大切な事です。今後のためにも是非、医療ケアのある人たちにも居心地の良い施設が多く作られることを望んでいます。しかし今、私が願うのはギリギリまで自宅で一緒に暮らしたい。帰ってきたら、リラックスして自宅でくつろいでほしい。そんな生活を送れるように、障がい者も老人も地域で暮らし続けられるシステムを作っていただきたいと思っています。（30代・精神）
- 自立支援制度を心療内科の方に教えていただいてから、医療費と薬代が大幅におさえられて本当に感謝しています。学部生の時は、大学と提携している病院だったため大学の保険が使えたのですが、他大学の大学院へ進学したため医療費がはね上がり、受診できなくなってしまうのでは、と不安でした。当時はカウンセリングも一緒に受けており、医療費（医師の診察）+薬代がおさえられたおかげでカウンセリングも引き続き受けることができました。学部時代から3～4年カウンセリングにお世話になりましたが、最近はなくても大丈夫なくらい回復しました。診察や服用は続けていますが、何かあってもしっかりつけの医者がいるから大丈夫だろうと支えられています。（20代・服用）
- ①市内のGホームの充実（重度知的障害、ぜん息アレルギー、強いこだわり、対応できる） ②23年間医療と食育、生活指導をしていただいた重度障害者の基幹病院が縮小したため町のクリニックを複数診療科目ごとにお伺いを毎回して受診せざるを得ないのが大変です。（例：呼吸器は田無、耳鼻科は吉祥寺、皮フ科は東小金井、歯科は飯田橋、整形は未定、精神科主治医は小平（2ヶ月に1回予約制）日常的に診てくれるかかりつけ医（総合科目）が希望です。障害者にも日常的に医療サポートがほしいです。特に親がインフルエンザやコロナで病床中は医療サポート（看護師など医師と話せる方）がほしいです。親が高齢になってきているので、障害者支援課と地域包括支援センター、権利擁護センターと協力し合って重層的にサポートして下さい。他の自治体に立地するGHや施設に当事者が居る場合は対象外になるのだから？いつもありがとうございます。（30代・精神）
- 件名指定難病福祉手当の支給額見直しのお願い 要望内容支給額が制定当初から据え置かれている現状本手当は制定以来、月額が固定されており、物価上昇や光熱費・食費の増加を反映していません。近年の消費者物価指数（CPI）の上昇により、現行金額では生活実態を十分に支えることが困難です。生活支援の理念に基づく手当の意義指定難病福祉手当は、制定当初から、医療費の負担軽減だけでなく、日常生活の安定や生活の質（QOL）の向上を目的として創設されました。単なる医療費補助にとどまらず、患者・家族の生活全般を支える理念が手当には込められています。先天性疾患・生活支援の必要性指定難病には先天性のものもあり、誰でも発症する可能性があります。また、生活保護を受給する精神的ハードルは高く、現行の支援制度だけでは日常生活の維持が困難な場合があります。手当額が据え置かれたままでは、制定当初の理念に沿った十分な生活支援を提供できていません。要望事項現行支給額の見直し・増額の検討物価や生活費の上昇を考慮した定期的な支給額見直し制度の導入手当の増額により、指定難病患者とその家族の生活の安定・安心が図られることを強く希望します。（30代・身体）
- P15. 2.1 その他にも書きましたが、日常生活や困った時、費用かからず相談できる所を増やしてほしいです。市役所の障害者支援課に、TELや対面等で相談できる人がいて、手帳、自立支援手続きのついでに相談したりTELや対面予約で相談できたら良いです。保健センターの保健師が精神病や障害理解なくて保健センター栄養相談・体以外でも、心の病気や障害の方が相談できる窓口やTELできたり理解が進んでほしいです。こころの相談室（女性向け）女性交流室が回数制限5回までで終わったあとが困ります。月一回無料で話せて対人関係主、障害・心の病気、日常生活困り事月一回無料で近くで一年通して相談できる場があると良いと思います。身近な家族に理解なくて、困ったり、辛かったり、現実が嫌だったり、気力わかなかったり大変だったり、辛さをやわらげるようなサポートを増やしてもらいたいです。日常の家事等もあって、こちらのアンケートなかなかかけず少し負担、アンケートの量も多いと大変です。よろしくお願ひします。発達障害診断受けてませんが、コミュニケーション苦手です。本借りました。トスかにTELしたり、病院の先生ない言いますが、診断高そう高いお金払えない。自分の考え言葉する難しい、空気読んだ発言難しい、人の気持ちわからない改善不明。身近夫モラハラ、自分の母きついなど困り助けになる人・所がほしいです。（40代・身体、精神）

## ■その他

- 家賃補助（50代・身体）
- 制度の周知（30代・精神）
- 市民税の低減（20代・身体）
- 生活充実してほしい（60代・精神）
- ヘルプカードの所持（60代・精神）
- 障害のことば 行動（50代・精神）
- webでの情報の充実（60代・身体）
- 障がい者の家族へのケア（50代・精神）
- 文化的な生活をしたい。（50代・身体）
- 作業所を充実させてほしい（30代・身体）
- 市役所前の道の歩道の拡充（60代・身体）
- フルフレックス制度の促進（20代・難病）
- 自動タクシーの導入（30代・身体、難病）
- 普通に接してほしい。（20代・難病）
- アサーティブトレーニング、（50代・精神）
- バリアフリー化 音声の文字化（20代・身体）
- 潔癖症の克服の仕方教えてほしい（20代・身体）
- 障害者年金を、増額して欲しい。（50代・精神）

## A 障がい者調査 12. ご意見・ご要望等について

- おきづかいありがとうございます (60代・精神)
- 障害者の働ける場所の選択肢の増加 (50代・身体)
- 今の取り組みで充分だと思います。 (20代・難病)
- 将来1人でも安心して暮らせる社会 (40代・知的)
- 三鷹市は充実している方だと思います。 (50代・精神)
- 視覚障害者にも適切に家を貸してほしい (50代・身体)
- もっと住みやすい三鷹にしてほしい。 (20代・身体)
- 予算を増やして障害者に還元してほしい。 (50代・身体)
- 今のままが一番いいと思う。 (50代・身体, 精神, 難病)
- 国民健康保険料をもっと安くして下さい。 (20代・精神)
- 災害時に透析できる場所を確保してほしい (50代・精神)
- 一般障がい手当(市)の金額を上げてほしい (20代・精神)
- 充分にして頂いているので特には有りません (60代・精神)
- 井口ランド一般の開放してほしいです (40代・知的, 精神)
- 生活保護費をへらさないで充実させて下さい。 (50代・精神)
- もっと障がい者の住める所を増やしてほしい。 (30代・精神)
- まだ高校三年生なので、実感が湧きません。 (20歳未満・身体)
- アンケートのなかで答えました (30代・いずれも持っていない)
- パソコンやスマホがないので自分は困ってます (50代・知的)
- 生活する上での補助金を増やしてほしいです。 (20歳未満・精神)
- ・障がい者の家族に負担が偏らないような仕組み。 (40代・身体)
- 公共のトイレを増やしてもらえたらうれしいです。 (30代・精神)
- みたかTV(ケーブル)に手話通訳をつけてほしい (60代・精神)
- 歩道が狭いのを出来るだけで良いので改善してほしい (20代・身体)
- ありがとうございます。安心して暮らせることです。 (50代・精神)
- 経済的な心配がない生活ができるようにしてほしい。 (50代・精神)
- 視覚障がい者が使い易いトイレを増設してほしいです。 (50代・知的)
- 障がい者が選挙に投票する時の支援(全投票所で) (50代・精神)
- 三鷹駅南口付近の歩道が狭い箇所を広く整備してほしい。 (40代・身体)
- 全体的に充実していると思います。特に困っていません。 (40代・精神)
- 手帳の更新など、オンラインでできるようになれば良い。 (30代・精神)
- 出来れば個性として働き口を充実していただきたいです。 (20代・身体)
- エレベーターの無い店が多いので、ふやしてほしいです。 (60代・精神)
- AIデマンドタクシーの乗り場をさくらハイツにいれる事 (50代・精神)
- このようなアンケートを分かりやすくしてほしい。 (60代・身体, 知的)
- グループホームなど自立して住める場所が沢山ある事 (30代・精神, 難病)
- 特にありません。とても良くやって頂いていると思います。 (40代・知的)
- ・市内にグループホームを増やしてもらいたい。 (20歳未満・身体, 難病)
- 現状私の立場で不足していると感じることは特にありません。 (30代・難病)
- 軽度の精神障害者でも参加しやすいコミュニティがあると良い (60代・精神)
- 障がい者が働ける場、安心して暮らせるサポートを強化してほしい (20代・精神)
- 少しでもお金が稼げるようにサポートいただけたら有難いです。 (40代・知的)
- 特にありません。今まで通りに取り組んでいただけたら満足です。 (60代・身体)
- 市役所や手帳で普段はとても助かっています。ありがとうございます。 (40代・知的)
- 障がいのある方へ、今まで以上にサポートする体制を望んでいます。 (40代・精神)
- 障がいがある人ない人差別、偏見なく暮らせるようにしていただきたい。 (50代・精神)
- 親がいなくなった後、安心して生活できる様な生活サポート全般 (20代・身体, 精神)
- 対人関係が苦手なのでそういう人も暮らしやすい街づくりをして欲しい。 (30代・精神)
- いざというときの金銭的援助や補助。障がいがあっても働ける環境の構築 (40代・身体)
- 障害3級以上の方に聞かれた方がいいのでは、と思います。 (60代・身体, 知的, 精神)
- 都営をもっとふやして、障がい者が入れるようにしてほしいです。 (50代・精神, 難病)

- 僕知的障害者なので病気をしない取り組みと健康に充実がしてほしいです (50代・知的)
- 何も望んでいない。当てにしていない。弱者虐めの三鷹市に望むことはない (50代・精神)
- 精神障害の人が病気の事について、つどい学びの場をもうけてほしいです。 (60代・精神)
- 災害があった場合の避難のしかたを詳しく広報みたく等で、説明してほしい。 (60代・精神)
- 障がいのある子供たちとその家族の方へのサポートを手厚くしてあげてほしい。 (50代・精神)
- 高等学校を卒業したあと、どのように毎日をすごしていけばよいのか不安です。 (20代・精神)
- グループホームが少ないので選べるようにしてほしい。市内につくってほしい。 (40代・知的)
- 物価高騰で経済的に苦しいので、ゴミ袋の値下げもしくはクーポンが欲しいです。 (30代・身体)
- 障がい者用駐車場を自転車やバイクにも適用してほしい。よろしくお願いします。 (60代・精神)
- 一人暮らしができるように、障がいがある人用のアパートがあればいいと思った。 (20代・精神)
- 三鷹市はよくやっていると思います。年をとっても働けるように、なりたいです。 (60代・精神)
- 災害などが実際に起きた時の為に、市役所としての備蓄品を準備しておいて欲しい。 (50代・精神)
- どんな人でもきちんと生活が出来る。住む所、生活費を確保出来る様にして欲しい！ (50代・精神)
- 窓口での笑顔での対応。他に受けられる事をこちらから聞かなくても教えて欲しい。 (50代・身体)
- もう少し生活保護費をふやしてほしいです。高齢になるとお金がかかるから。 (60代・知的, 精神)
- 歩道がせますぎて車いすが安心して通れない (特に傘礼) 安全な歩道を確保してほしい (50代・難病)
- タクシーチケットの助成が欲しい。これまで住んでいた他の自治体にはあったので。 (30代・精神)
- ゆー・あいが入所している建物が老朽化がひどいので、なんとかしてください。 (40代・知的, 難病)
- マイナンバーの内容がわかりません。使用方ほうがわかりません (マイナンバー) (40代・精神)
- 更新などの手続きを市役所だけでなく、駅前の主張所とかでもできるようにしてほしい。 (40代・身体)
- 精神障害者のコミュニティが欲しい私はパニック障害なので、パニック障害の自助会など (50代・知的)
- 本人や家族が肩身の狭い思いをしながら暮らさなくてもいい三鷹市になって欲しいです。 (20代・知的)
- 障害とかそうじゃないとか気かけなくても良い世の中であることが大事だと思いました。 (50代・精神)
- 安心して歩ける歩道の整備障がいのある人が参加しやすい余暇活動の場グループホームの設置 (30代・身体)
- 特にございけません。いつもお世話になっております。引き続きよろしくお願いいたします。 (50代・精神, 難病)
- 事故、事件に子供たちがまきこまれないようにしてほしい。もう少し歩道を広くしてほしい。 (30代・精神)
- グループホーム等自立して生活出来る様になりたい。グループホームの設立に力を入れて頂きたい。 (50代・精神)
- 家族(親)が高齢になって、面倒を見るのが大変になってきた時のサポートを充実させてほしい。 (30代・難病)
- 都営住宅の新設。直接的に関係ないかもしれないが、農地の保全。わずかに点在するしかないが、 (40代・身体)
- 将来の住生活に不安を感じています。市営住宅や都営住宅に応募続けていますが当たらないので (60代・身体, 精神)
- 差別や偏見という言葉を拡大して便利な言葉にしない取り組みをしてください当事者の肩身が狭くなります (40代・知的)
- ・金銭的なケア等を充実させてほしい。 ・いろいろな手続き等をもっと簡単にわかりやすくしてほしい。 (50代・身体)
- 横断歩道を渡る際(車イスで)、歩道から降りる&上る時に段差があって進めないで、改善してほしい。 (60代・身体)
- 三鷹ひまわり第三共同作業所に週3日通所しています。市に作業所への関心を深めていただくと助かります。 (60代・精神)
- 防災放送がちゃんと聞こえるようにしてほしい。何を言っているのかわからないと、かえって不安になります。 (50代・精神)
- 窓口を訪れた際などに職員の方々にはいつも丁寧に対応いただいて、安心して生活できています。感謝いたします。 (50代・精神)
- 東京都パートナーシップ宣誓制度を武蔵野市のように、三鷹市独自に制度として導入し、それをアピールして欲しいです (60代・知的)
- ・お弁当: 栄養バランスが良いもの分配してほしい (有料) ・障がい者に関係がある情報→本人に知らせてほしいです。 (50代・身体)
- 生活保護や精神障害を持っている立場でも、安心して、家を借りることが出来る社会の実現を、よろしくお願い致します。 (40代・身体)
- もちろん皆様に助けられていることを感謝でもなるべく自分でできる事は自分でやりたいそのためにサポートお願いします (60代・精神)
- 東京都の政策で、水道料金の基本料金を無料にすることはいいことだと思う。水は生活に必須なので。夏場は非常に助かる。 (40代・不明)
- 街灯を明るくしてほしい。特に三鷹駅南口のデッキの周辺は暗すぎて視覚障害者には歩きづらく、人とぶつかってしまいます。 (50代・精神)

## A 障がい者調査 12. ご意見・ご要望等について

- いつも市役所の窓口の方がとても優しく心より感謝しております。精神障がいでも働ける三鷹市内の事業所が知りたいです。(30代・精神)
- 市民に障害がどのようなものかということを知ってもらいたい。無意味にこわがったりする事はお互いに良くないと思っています。(50代・精神)
- 災害時等に孤立することがないように訪問や安否確認のシステムを構築すること。出来ないことを確認しサポートすること。(60代・身体、難病)
- 高齢者(60才以上とか)の無料スマホ教室のような、中年(40才以上)のスマホ無料教室を開いていただくとありがたいです。(40代・身体)
- 障がいは人による多様ですが、そうした中でQOLの向上と生活の多面的なセーフティー確保に目を向けてもらえると嬉しいです。(30代・知的)
- 日常生活を助けてくれるメンタルフレンドのような人や、ホームヘルパーの人がたりていないと思うのでふやしてほしい。(30代・いずれも持っていない)
- 市役所の障害課に連絡すると、細かくていねいに説明して下さい、とても感謝しています。これからも、説明して下さいとありがたいです。(30代・精神)
- 障がいのある方の声をひろい上げて困り事を迅速に解消できるよう実現してほしい(私自身はこれといった差しこまった困り事はありません)(60代・知的)
- いろいろな種類のデイケアを作ってほしい。お茶を飲みながら歌を歌ったり、映画を観られるような所があれば通いたいです。(看護師代筆)(50代・知的)
- 一点疑問に感じていますが、手帳の写真の更新は無いのでしょうか?十年以上経つと様子や手帳自体も古くなり、それで良いのか?と感じます。(50代・精神)
- 未来に向かって障がいのある方々をよろしく願います。ありがとうございます。 ※弟はわからないことはパニックになりかけます。(50代・知的、精神)
- 手話教室の定期開催、コースではなく単発でも受けられて、よければコースで受けられる様になってほしい。字幕が増えてほしい(30代・いずれも持っていない)
- ヘルプマークの中身(?)を知らないので広報などでとりあげてくれたら良い。使い方…持っているとうとうふうに良いのかよく知らない。(40代・精神)
- 役所の人は温度差があって対応がまちまちなので、同じレベルの対応をして欲しいです。親身になってくれる人もいるけど、そうでない人もいます。(40代・身体)
- 車イスで入れる飲食店がすくない。車イスで外出時犬のフンが多くてこわい。このあいだは犬を散歩している犬にこまれた、たいしたことはなかった。(60代・精神)
- ケースワーカーが変わると担当が誰なのかかわからずこちらから連絡しても留守の事が多く、連絡がとれない 何のためのケースワーカーなのか疑問に思う(40代・精神)
- 回答が遅くなり申し訳ございません。ぜひ、グループホームを増やしていただきたいです。高齢になった親と一緒に暮らせる場があれば更に良いです。(20歳未満・身体)
- タクシー券を頂いているのですが、100円券が多すぎて、払う時の枚数が多くなってしまふ。300円券をもっと増やしたり500円券も作って欲しい(50代・身体)
- 問35. を全て行ってほしいが、何もかも行う事は出来ないであろう。要望の多いものから順に手を付けて行く事となろうが、可能な限り実現して頂きたい。(60代・精神)
- 希望に満ちた未来を信じたい。細っていて難渋するのは辛い。辛いのはいやだ。この気持ちを判って下されば有難い。また、ひとり暮らしはやはりさびしい。(50代・知的)
- 望んで障がい者になったわけではない。自分も努力するが自立できる様に助けて欲しい。事業所も私達が法律だから言う事聞け、ではなく寄り添って欲しいです。(20代・身体)
- 更新手続きをして、手元に届くまで時間がかかり、手続きなどを機間でする際に困ることが多いため、スムーズに届くようにしてほしい。(30代・いずれも持っていない)
- 申請手続きなど市役所の窓口に行かなくても、ネット上で手続きできたり、オンライン窓口を設けたりしてほしい。その理由は、障害のため自力で行くことが難しいから。(50代・精神)
- ひとり暮らしの高齢者が住めるアパートが減っています。様々な事情があるのですが、もっとスムーズに探し、そして借りられるアパートが増えてほしいと思います。(60代・身体)
- 市役所の窓口での対応して下さい方はとても親切で、助かってます。駅前の方でも対応してもらえるようになると、もっと助かります いつもありがとうございます。(50代・身体、難病)
- 幼少期から精神障がいを患っていたのですが、それを診断されたのが成人後でした。私が病気を患っているかどうか分かる人が学校にいてくれたら良かったとは思っています。(30代・精神)
- しょうがないことですが、物価高騰もあり、経済的に厳しい、働きたくても体(病気)のこともあり中々たくさんは働けない。物価と給料が見合うように早くしてほしいと願います。(40代・知的)
- 障害者手帳を更新する際、必要な書類が簡潔に分かる様な説明が欲しいです。何度も行かなければいけない等の手間が省けるよう、図式の明確化などを推進してもらいたく存じます。(20代・精神)
- いじめをなくしてほしい。とくに性的な、女をいじめたり、立場のよわい人に対するいやがらせ。神仏をつかってのいじめ、そういう人だれかいる…人にわからないようにみえない方法で(50代・精神)
- 今、ヘルパーさんが私が、希望している時間と、曜日をお願いをしても(事業所)に見つからない。こまっています。もう半年、1年近く事業所の人、さがしてくれています。(40代・知的)

- 街にベンチやひと休みできる設備を増やしてほしい。歩いていて疲れ果てても全く休める場所が見つからない。武蔵野市はベンチがたくさんあるが三鷹市はほんとにベンチが少ないです。(50代・身体)
- More communication to the disability people and more care in affection the sick we have. (30代・知的,精神)
- 障害のある人と土日祝日などレクリエーションを共にしてくれる人を作りたいです。自立できるように経済面も注視してほしいです。当事者が市の取り組みに参加できる仕組みを作りたいです。(50代・精神)
- 障がいのある人が生活に困らないような資金を受けられる案内を通知等でおしえてほしい。聞かないと(しんせい等)しないと受け取れないのはわかっているが案内がなさすぎる→どこの市区町村も同じ(50代・不明)
- 緊急時にトイレがどこにあるか分からず困ったことがある。地図にあまりのっていない。公園などはっきり示してほしい。近所にある1人用のトイレも子供たちにイタズラされていたのかピチョピチョでした。(40代・精神)
- 障がいがあることを武器にして、そうでない人を責めたり負担を増やすのをやめてほしい。障がいがない人の幸せや安心も大事。化学物質過敏性は増えている。有害な洗剤類の注意喚起をお願いしたいです。(50代・知的,精神)
- 一人暮らしのできる。都営住居の倍率を下げて当る用にして頂きたい。一人暮らし生保の住居の家賃を5万3千7百円から7万円位に上げて頂きたい。生活費に物価高で困まっているので、お金の援助をもっとしてほしい。(60代・精神)
- 私は、現在、愛の手帳4度(ADHD)の精神障害者手帳3級の2枚所持しております。愛の手帳では4ヶ月に1度16000円だけですが、精神障害者手帳ではお金はいただけません。お金をいただければありがたいです。(30代・精神)
- 一人一人の障害に合ったサポート 例えば私は目も見にくくなってきており、届く書類読めません。読めても非常に時間を必要とする為、後回しとなります。どこへサポートを依頼すれば良いかわからず家族は対応してくれません。(50代・精神)
- 三鷹駅中の中央線にはエレベーターはありますがエスカレーターがないため、下肢が弱っている高齢の方や、障害のある方が階段を昇るのは辛いです。時間はかかるとは思いますが、エスカレーターがあるとすごく助かると思いました。(60代・身体)
- 歩行困難なので自動車で選挙に行きますが、指定先の小学校の前でいつも、駐車できないと押し問答になり、選挙できませんとまで言われる。歩行困難者用の表示もしているのに毎回トラブルになる。これでは選挙に行く事ができない(60代・精神)
- 難病でも見た目が健康そうに見えるので、調子が悪い時があってもヘルプマークの意味がないと思うことが多々あります。街でマークを見かけることは多くなりましたが、まだまだ認知度が低いと思うので知ってほしいと思います。(40代・身体)
- 市の備蓄品の中に、特定原材料8品目を使用していない非常食などもそろえてほしいです。どうしても、食物アレルギーのことは後回しにしがちです。食物アレルギーがあっても、温かいご飯が食べられると(カレーなど)ホッとできます。(40代・精神)
- むかしあったんですけど週に1回くらい、障がい者があつまって保健師さん、なんかとなんかやっていたんですけどあれなんかいいと思います 今は高齢の親の面倒を見たり家の事をいろいろやってるのでなんかやるひまはないんですけど(50代・身体)
- 親がいなくなり、1人になってしまった老後の暮らしが1番心配です。後見人制度について本当に為になる情報が得られる場所を知りたいです。広報みたかで障害のある人たちの為の活動がまとめてわかるようなページを作りたいです。(20代・身体,難病)
- ・障がいがあると働くのが難しくなるので、障がい者専用の求人サイト(正規社員・非正規社員 アルバイト・単発勤務を含む)をつくっていただきたい。・国や都と話し合いJR・私鉄・東京メトロの運賃を無料や割引にしていきたい。(50代・難病)
- 働きながら在宅で両親の介護をしている人達へのサポートが限定的で、もっと実情を良く知って、取り組みに活かしてほしいです。特に、50代の勤め人にとって、大きな問題(介護する人も、される人も、みんな倒れてしまう)だと感じています。(50代・難病)
- 生活保護では命の危険を感じるので早急に物価高への対応策を打ってほしい学習のための技術書や就職活動に掛かる費用を負担してほしい障害者の就職先やアルバイト先へのコネクションの拡大をしてほしい生活保護から天引きのような形で市による貯金管理をしてほしい(30代・知的)
- ピアサポートのような障害があつたけど社会とつながって手助けする側に立てる人、経験者が自身の経験に基づいてケアできる人材の育成に取り組んで、障害のある人が希望を持てる社会づくりをして欲しい。一度×(障害)がつくと社会復帰のハードルは非常に高いから。(50代・身体)
- 障がいがあるとは言われておりませんが、三鷹に住んだ文豪・太宰治も生きづらさを抱えて生きたかと存じます。そんな三鷹だからこそ、障がい・精神疾患などで生きづらさを持った方々の人権を尊重するような施策があれば、全国的にも進んだことができそうな気がします。(20代・知的)
- 市内自宅近所で、10年以上工事中で、通行ができず、いつになっても立入禁止になっており、早く通行できるようにしてほしいです。道の開通はいつになるのでしょうか。ヘルプマークなどどこで配布しているのか、両下肢不全で役所などに取に行くことが難しいので…(50代・身体,精神)
- 難病で通院のためにハンディキャブさんに20年以上お世話になっております。感謝しています。最近(2年前から)点滴治療が始まり半日以上かかり、夜までかかるので介護タクシーを利用しています。運賃が高額です。ハンディキャブさんがあと1時間延長してくださると助かります。(60代・精神)
- 勉強不足で、三鷹市の取り組みを殆ど知らないで、希望や要望は記入することができませんが、今は同居の家族の助けで生活しており、その家族がいなくなったら家などの住まいの確保や生活の手伝いを受けること等、色々なことが出来なくなってしまうので、未来への不安があります。(50代・知的)

## A 障がい者調査 12. ご意見・ご要望等について

- 一人で、外出した時にだれかにあとをつけられているようでこわい思いをした事があります。ヘルパーさんと一緒に出かけられれば安心ですが事業所にヘルパーをいらしても人がいないという理由でことわられてしまいますもっとガイドヘルパーやホームヘルパーがふえたらよいと思います。(60代・精神)
- 「新たに」ではないのですが、障害区分認定を受ける際、医師の意見書が必要でこれの取得に時間がかかるのはわかるのですが、ほぼ1年ぐらい待ちました。その間何の連絡もありませんでした。医師への督促は面倒な作業と思えますがひたすら待っている利用者のことも考慮いただきたく存じます。(50代・精神)
- ・井の頭のはじっこなので杉並区施設も使えたらいいのと思う ・生活すること自体がづらいのもうあまり生きて行きたくないと思う。 ・生活保護では余暇とかたまの少しのぜいたくももうできなくて、先にたのしみもないし健全の人と遊びにも行けない。 ・日本最初の安楽死しせつ希望。(50代・精神)
- 市役所担当窓口の女性(一部の方だと思います)に障害者手帳の申請で伺った時の対応が、悪気は無いと思いたいですが、とても配慮のない提案をいただきました。忙しかったのかも知れませんが、とても残念に思います。是非、市民目線に立ちサポートしていただきたいと思います。是非是非お願いします(60代・精神)
- サポートの情報を手紙などで詳しく教えていただきたいです。今回のアンケート作成ありがとうございます。ふりがながふってあったり、選択式で答えられたり、難しい言葉の説明が書いてあり、すぐく分かりやすいアンケートでした。どんな方でも、住みやすい三鷹市になっていく事を願っています。ありがとうございます。(20代・身体)
- ・歩きスマホが多いので、人、車、自転車のマナーがわるいのもう少し、きびしくしてほしいです。・防犯カメラの設置や横断歩道で人、自転車とまららないので、せめて看板かたれ幕をつけてもらえたい(2021~2025のあいだ危いことが多かった。失礼ですが警察にいても、事故にならないと動いてくれないので(60代・身体,精神)
- 私のかんがえ方として、国で障がい者は、障がい者のみ会社を国で作り、一般は一般の会社で、いつでも働き続けられるように国でそういう(制度)を作って国民が、働き、続けられるようにしてもらいたい。一般は一般のみで、働けるように( X ) 長く働き続けられていくために。障がい者(せんもん)の会社を、国で立ち上げてもらいたい。(50代・知的)
- パソコンやSNSでのツールで、わからない事をフォローして下さる窓口が欲しいです。アナログ人間も生きやすい方法(れんらく方法が困る場合に備えて)どの問い合わせ先にも、電話や対面、メールアドレスなどが、必ずあると助かります。デジタルのみのコミュニケーション方法だと、困る時が多々あります。←何かの応募や申し込みなども。(50代・知的)
- 以前他の市にある作業所に通っていましたがそこでは、行事をこなすことが一番で理不尽な事がかなりありました。中では市役所の担当者もいっしょになって理不尽な事を目をつむるというよりそのやり方を指導している様でした。通所者の為の作業所とはとても思えない事ばかりでした。もっと通所者ファーストになるような取り組みをしてほしい。(60代・精神)
- 障がいの有無にかかわらず近隣のトラブル対策を扱ってほしい。どの課でも現況扱っておらず近隣の御家庭に対し、独居や高齢者住いが増加傾向になる。そう言った事を扱う課を入れるべき。他人事だと思わず積極的に受け入れる、それがなっていない。トラブルにしろそうでないにしろ近隣の問題事を改善要請の課を早急に入れてほしい。両隣は独居と高齢家庭(50代・精神)
- 担当者によって差があるのも事実だが障害を強くうちだし担当者をこまらせる人も多くいることも事実です。納得いかないとおどす様な言葉をかける人もいたのを見たことがあります。出来ること、出来ないことをはっきりすることが重要だと思いました。又一部の人はよく知っており何でも使えるものは使うが知らない人は何も出来ていないのでその差も大きく感じました。(40代・精神)
- ☆現在のグループホームは画一的な集団共同生活型が殆んど。しかし、発達障害を持つ人の生活のあり方は千差万別。より一人暮らしの要素を折り込んだサテライト型のグループホームを増やしてほしい。☆高齢化し介護が必要になった時に生活できる場が現在本当にあるのか?将来に亘って確保する計画があるのか?その内に…と先延ばしにしてみました、一番の心配です。(50代・身体)
- 障害を持ちながら、老いていって生活することへの不安が大きいです。経済的な不安、家事がいつでもできるとは限らない不安、地域で孤立してしまいそうな不安。親が団塊の世代で、今40代、50代である、障害者に向けて、情報発信を積極的にしてほしいです。ネットの情報にアクセスするのが苦手なので、広報誌などの紙媒体でも情報を入手できるようにしてほしいです。(40代・身体)
- 『都営住宅 1人入居用について』契約社員のため、賞与や退職金がありません。アパートの更新料の支払いのために日々切り詰めて生活しています。部屋の空気がないとは思っているので仕方ないことは承知しております。毎日の不安が少しでも解消できるような住居についての情報が欲しいです。障がいのことで困っている方々が多数おられるのに、このようなことで申し訳ございません。(60代・難病)
- 家庭の問題になるが、妻から離婚話を切り出された矢先に自分が倒れ障害者になってしまった。妻は、義務感だけで動いてくれているが、金銭的にも体力的にも精神的にも辛そうな姿を見ると、自分がサッサと死ねばいいだけの話なので心から申し訳ない気持ちになる。障害者本人だけでなく、支えてくれている家族にも何らかの見返り(金銭的なメリット、介助に要した時間に対して有休付与等)は必要と考える。(40代・身体)
- 減税や賃金の向上現在、最低賃金で働いているため、障害を理由に休暇を取得すると、生活が困難になるほど給与が減少してしまいます。そのため、無理をして働いていますが、結果として体調が悪化し、服薬量と休職期間が増加してしまいます。休職に関しても、会社の規約には上限があるようで、次休職すると上限を超え、解雇となる可能性があります。そのため、手取り額が増加すれば、無理をしなくなり、安定した治療に専念できると考えています。(30代・精神)
- 個人情報の徹底現在、障がい者手帳を保持しておりますが、税金面の控除は受けていません。会社に病名などをしれるのを恐れています。ですが、以前いた会社で年末調整後に、どこからどう情報が漏れるのかわかりませんが、経理より障害者手帳を保持していないか、税制度の控除を受けれるがどうすると話がありました。どこからどう話が会社に入ったかは不明ですが、普通に過ごしていきたいと思っている為、個人情報の徹底を希望します。何卒、よろしくお願ひ申し上げます。(40代・精神)
- 自閉症の孫を育てて来て、85才になった祖母は心配で死ぬ時どうしようといつも思っております。父親も60才多忙に働いて現在グループホームに入所しています。帰宅が何により楽しみにしています。体は元気なので助かってい

ます。費用、援助を市から受けているので感謝しています。これ以上の事を望むきはなく、主人も私も85才になって一度も介護保険はつかわないで、自閉症の孫のグループホームの費用、いつもありがたいと思っています。自閉症の子は言葉がなく、時々興奮してさわぎますが、近所の人も何もいません。今後共よろしく願います。(20代・精神)

- Person like me with disability, They should always priorities the needs of the people not only me. For all the people, that they should need medical attention with the Authorities. And also priority for the children need like, medical supplies, proper hygiene to Avoid illness Because children has low immune system. (50代・難病)
- 皆さま、いつもありがとうございます 障害者5級なので、特に困ることはありませんが、子供たちが、私より障害が重いのでとても心配です。世の中治安が悪くなってきていつ事件に会うか心配です。私が盲学校であん摩の免許をとりに行っていた時“視覚障害者の殺害予告”がありました。(20年前)そこで先生が言ったのは『よく注意して下さいね』でした 目が見えない(見にくい)者がどうやって注意するのでしょうか?(私は弱視で白杖を持ってません)視覚障害をかくす為に白杖を使うなという事でしょうか?女、子供、高齢者、障害者(弱者)が安心してくらせるように切に折っております。私の様なおぼさんの小言を最後まで読んでいただきありがとうございました。(50代・難病)
- 新たに取り組んでほしい事では以前用件があり、三鷹市役所に訪れた時の事。職員の方から愛の手帳の再確認に関する書類を渡されびっくりした。今、現在(24才)になるが、成人してから役所からその様な話は一度たりとも無かった。なのに、4年たった今になりいきなりその話をされとても困った。友人等からその様な事は聞いていたが、家にその様な書類が来なかったので、スルーしていた。普通こう言ったのは成人したタイミングで家に書類を送るべきでは無いのだろうか?もちろん、役所の人も忙しいのは分っているし自分の代にはコロナがあり成人式が無かったので何となく気持ちは分かるが、それでも4年越しにそんな事を言われても困る。しかも、場所は地元では無く、立川(?)で地味に遠いし予約もしなければならない。正直、喧嘩を売っている様にしか思えない。再更新が必要なのであれば早い内にその旨を伝えてほしかった。しかも、自分に関して言えば、一人暮らしをするので(地元から離れて)その事も考えていない様だった。申し訳ないがとても非常に不愉快な気持ちである事はお伝えしておきます。(これを読まれている方へ、長文かつ読みにくい文字であり、大変申し訳ございません。心より、深くお詫び申し上げます。)(20代・不明)

